

地域特産作物（工芸作物、薬用作物及び
和紙原料等）に関する資料
（令和5年産）



令和7年3月

公益財団法人日本特産農産物協会

利用にあたって

工芸作物や薬用作物、和紙原料等の地域特産作物は、農業の振興等を通じた地域経済の活性化のみならず、伝統文化の維持・継承にも重要な役割を果たしてきましたが、産地における生産者の高齢化や後継者不足等により減少傾向にあります。

しかしながら、近年では消費者の価値観が自然・本物志向に変化する中で、その役割が再評価され、国内での生産拡大が期待されています。一方で地域特産作物は極めて多種多様であり、既往の統計調査等では十分に把握されていないのが事情です。

このため、地域特産作物の栽培状況や生産体制、流通状況、さらには地域振興に向けた取組状況等の情報を収集して基礎データとして整備し、関係者に幅広く提供することによって産地育成等を支援することとしました。

本資料は令和6年6月に、農林水産省農産局、地方農政局等のご指導の下、都道府県に依頼して工芸作物、薬用作物（生薬）、薬用人参、和紙原料等の栽培状況、生産体制や流通の現状等に関する調査、また、「ホップ」については生産組織や産地の現地状況の把握を別途行い、その他、関連資料も収録して取りまとめたものです。

ここに、調査に当られました関係者の皆様に御礼申し上げるとともに、本資料が関係者に広く活用され、国内における地域特産作物の振興に繋がるよう祈念する次第です。

令和7年3月
公益財団法人日本特産農産物協会

【特記事項】

- 1 本調査は、都道府県を通じて協力依頼し、回答のあったものを取りまとめたものである。
- 2 工芸作物については、総括表に掲げた作物で原則として工芸用途の生産を対象としている。ただし、それ以外の作物でもその他工芸作物として報告のあったものは、原則として掲載している。収穫量は、総括表の備考欄に記載のとおりである。
- 3 薬用作物については、生薬原料以外にも、いわゆる健康食品等として用いられる場合も対象としている。また、薬用作物は、原則として乾燥重で示しているが、土根重、生重などで示してあるものも含まれている。
- 4 IからIVの表中の数値の欄で、以下の略語で補完してある。
非：非公表、非公開、社外秘
試：試験栽培
－：不明
0：未収穫、鳥獣害で出荷できなかった場合を含む
注：1)栽培戸数は、1組織、法人は1として、また、「概ね100戸」のように報告されている場合は100としてカウントしている。
2)薬用作物で自然採取等の場合には（ ）でその旨を附加している。
- 5 数値以外でも、非公開等の扱いにより掲載していない項目もある。
- 6 和紙原料作物の本資料における年度は原則として11月～10月である。
- 7 本資料を印刷後に修正・訂正がある場合もあることから、修正等があった場合は、協会ホームページの掲載版を修正するので、参照願います。

目次

頁

I 工芸作物

1 工芸作物の生産状況（令和5年産）	
(1) 総括表	1
(2) 作物別	2
2 い草の生産状況（令和5年産）	
(1) 総括表	9
(2) 都道府県別	10
(3) 品種別	11

II 薬用作物

1 生産状況（令和5年産）	
(1) 全国の推移	12
(2) 都道府県別生産状況	
①総括表	13
②都道府県別	14
(3) 種類別栽培状況	
①総括表	23
②都道府県別	27
2 薬用作物の出荷形態と出荷規格	37
3 薬用作物の輸出入の推移	
(1) 輸出	45
(2) 輸入	46
参考1 都道府県における栽培薬用作物（生薬）一覧	49
参考2 薬用作物等関係団体	52

III 薬用人参

1 生産状況（令和5年産）	
(1) 全国の推移	53
(2) 市町村別生産状況	54
(3) 年生別栽培面積	55
(4) 製品の種類別生産状況	55

(5) 製品の種別別仕向け別生産実績	55
2 国外の薬用人蔘事情	56

IV 和紙原料

1 生産状況（令和5年度実績）	
(1) 総括表	60
(2) 種別別年次別生産動向	
① こうぞ	60
② みつまた	61
③ とろろあおい	61
(3) 都道府県別生産状況	
① こうぞ	62
② みつまた	62
③ とろろあおい	63
④ その他	63
(4) 生産抄紙の種類	64

V 生産組織等の現状と今後の方向性（令和5年産）	66
--------------------------------	----

VI 地域活性化の取り組み（令和5年産）	82
----------------------------	----

VII ホップに関する現地情報	91
-----------------------	----

I 工芸作物

1 工芸作物の生産状況（令和5年産）

（1）総括表

工芸作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積 (a)	収穫量 (Kg)	備考
陸地棉	15	654.6	654.6	2,751.5	実綿
アジア棉	22	427.7	417.7	1,143.5	実綿
大麻（あさ）	12	661.4	661.4	745.0	精麻
ラミー	30	50.0	50.0	76.0	繊維
ほうきもろこし	22	221.0	71.0	963.0	乾茎
菊いも	197	2,147.7	2,031.5	172,003.0	土根
えごま	1,561	30,811.1	26,013.1	91,270.4	子実
ごま	486	19,901.0	19,200.4	35,648.6	子実
オリーブ	1,071	59,182.5	20,985.2	625,625.7	生実
ひまわり	81	9,608.8	7,395.2	16,602.0	子実
和種はっか	38	2,197.6	2,087.4	252.7	取卸油
ラベンダー	20	3,318.7	3,318.5	2,834.3	取卸油
藍	91	2,797.7	2,778.6	92,177.2	乾草
紅花	113	956.6	956.4	252.9	乾花
レッドキャベツ（染料用）	15	3,515.9	3,515.9	1,287,261.0	生葉
しそ（加工用）	183	22,321.9	22,320.1	1,308,167.4	—
ステビア	2	2.0	1.0	40.0	乾葉
ケナフ	1	60.0	60.0	21,000.0	繊維
ホップ	131	9,589.1	8,596.8	120,181.2	毬花（乾燥）
計	4,091	168,425.2	121,114.7	3,778,995.3	

注；その他工芸を除く。

(2) 作物別

作物名	都府県名	経営 体数 (戸)	栽培 面積 (a)	収穫 面積 (a)	収量 (kg/10a)	収穫量 (kg)	主産地 (市町村名)	主要品種名
陸地棉	宮城県	1	50.0	50.0	80.0	400.0	東松島市	
	栃木県	2	6.0	6.0	243.3	146.0	真岡市	
	山梨県	1	7.0	7.0	-	-	南アルプス市	アップランド他
	長野県	1	20.0	20.0	-	-	高山村	アップランド種ほか
	兵庫県	8	68.6	68.6	-	-	姫路市、丹波篠山市	
	奈良県	2	503.0	503.0	43.8	2,205.5	天理市、広陵町	
	合計	15	654.6	654.6	42.0	2,751.5		
アジア棉	福島県	17	200.0	200.0	25.0	500.0	いわき市	
	長野県	1	11.0	11.0	-	-	高山村	紫蘇ほか
	兵庫県	1	97.6	87.6	35.4	310.5	加古川市	
	奈良県	2	18.0	18.0	10.3	18.5	奈良市、天理市	
	鳥取県	1	101.1	101.1	31.1	314.5	境港市	伯州綿
	合計	22	427.7	417.7	27.4	1,143.5		
大麻(あさ)	岩手県	1	5.0	5.0	10.0	5.0	雫石町	
	栃木県	9	573.4	573.4	-	-	鹿沼市、大田原市	
	岐阜県	1	8.0	8.0	250.0	200.0	白川村	麻ガラ
	三重県	1	75.0	75.0	72.0	540.0	南伊勢町、松阪市、明和町	麻、麻種
合計	12	661.4	661.4	11.3	745.0			
ラミー(苧麻、青苧、かぶら、真麻)	福島県	30	50.0	50.0	15.2	76.0	昭和村	
ほうきもろこし	山形県	3	11.0	11.0	2.7	3.0	東根市	
	栃木県	1	20.0	20.0	40.0	80.0	栃木市	
	神奈川県	1	150.0	-	-	800.0	愛川町	
	長野県	17	40.0	40.0	20.0	80.0	飯山市	
	合計	22	221.0	71.0	135.6	963.0		
菊いも	北海道	1	20.0	-	-	-	ニセコ町	
	秋田県	16	95.0	95.0	228.7	2,173.0	秋田市、由利本荘市	
	山形県	6	86.5	56.5	1,610.4	9,099.0	最上町、長井市	
	福島県	5	100.0	60.0	200.0	1,200.0	二本松市、大玉村、棚倉町	
	茨城県	1	102.0	102.0	686.3	7,000.0	大子町	
	埼玉県	4	1.5	1.3	4,370.1	555.0	白岡市	
	山梨県	1	5.0	4.0	500.0	200.0	大月市	
	長野県	22	94.5	94.5	367.7	3,475.0	茅野市、信濃町、阿智村	不明(阿智村)
	静岡県	1	60.0	55.0	3,272.7	18,000.0	函南町	
	新潟県	27	12.1	12.1	1,978.5	2,394.0	新潟市、三条市、小千谷市、佐渡市	
	福井県	1	1.7	1.7	2,000.0	340.0	若狭町	
	滋賀県	2	10.5	10.5	1,500.0	1,575.0	高島市	
	兵庫県	10	40.1	40.1	1,900.2	7,620.0	西脇市	
	鳥取県	3	42.0	42.0	-	-	日南町	
	島根県	7	113.6	113.6	769.4	8,740.0	出雲市、益田市、雲南市、邑南町	
	広島県	7	29.5	29.5	-	-	東広島市	
	福岡県	17	600.7	600.7	700.0	42,049.0	築上町	
	佐賀県	7	146.8	146.8	666.4	9,783.0	唐津市、有田町、嬉野市	
	長崎県	1	31.0	31.0	193.5	600.0	波佐見町	
	熊本県	36	399.0	399.0	1,193.0	47,600.0	宇土市、菊池市、八代市	一部在来種
宮崎県	9	76.2	56.2	1,067.6	6,000.0	綾町、都城市		
鹿児島県	13	80.0	80.0	450.0	3,600.0	南さつま市		
合計	197	2,147.7	2,031.5	846.7	172,003.0			
えごま	北海道	5	3,700.5	-	-	-	滝川市、洞爺湖町、上ノ国町、士別市、更別村、幌加内町	黒タネ、白えごま

作物名	都府県名	経営 体数 (戸)	栽培 面積 (a)	収穫 面積 (a)	収量 (kg/10a)	収穫量 (kg)	主産地 (市町村名)	主要品種名
えごま	青森県	15	260.0	260.0	46.2	1,200.0	田子町、三戸町、 おいらせ町	
	岩手県	57	1,260.1	1,124.6	33.0	3,714.4	盛岡市(玉山)、 奥州市、一関市、 二戸市、一戸町、 軽米町	
	宮城県	75	2,262.9	2,235.9	46.2	10,326.0	色麻町、丸森町、 角田市、大和町	
	秋田県	5	83.2	81.7	37.1	303.0	上小阿仁村、大館 市、由利本荘市、 大仙市	
	山形県	12	951.4	941.4	25.1	2,363.0	尾花沢市、戸沢 村、鶴岡市、遊佐 町	
	福島県	272	4,762.0	4,747.1	32.0	15,192.0	二本松市、伊達 市、大玉村、田村 市、鏡石町、平田 村、三春町、白河 市、棚倉町、塙 町、鮫川村、西会 津町、柳津町、三 島町、金山町、会 津美里町、下郷 町、只見町、南会 津町、南相馬市、 川内村、浪江町、 葛尾村、飯舘村、 いわき市	・黒、白黒混合 (県南地域) ・西会津町(在来 種)、三島町(白 えごま・黒えご ま) ・在来種(只見 町) ・黒じゅうねん (いわき市)
	茨城県	35	225.0	205.0	48.1	985.7	常陸大宮市、石岡 市、龍ヶ崎市	
	栃木県	48	707.0	707.0	36.8	2,603.0	茂木町、小山市	
	群馬県	7	250.0	250.0	37.2	930.0	みなかみ町、上野 村	
	埼玉県	6	630.0	630.0	31.0	1,950.0	秩父市、小鹿野 町、美里町	
	千葉県	1	10.0	10.0	36.0	36.0	横芝光町	
	山梨県	6	83.7	79.5	17.0	135.0	北杜市、市川三郷 町、早川町	
	長野県	132	1,101.7	1,027.6	29.9	3,072.5	小諸市、佐久市、 長和町、茅野市、 辰野町、上松町、 南木曾町、木曾 町、木祖村、松本 市、大町市、長野 市、信濃町、小川 村	
	静岡県	104	505.0	441.9	30.4	1,344.0	吉田町、磐田市、 浜松市	
	新潟県	71	479.0	297.0	44.4	1,317.8	長岡市、三条市、 阿賀野市、魚沼 市、南魚沼市、聖 籠町、阿賀町	魚沼市：会津系黒 種
	富山県	42	2,384.9	2,303.6	29.9	6,877.0	滑川市、富山市、 砺波市、高岡市、小 矢部市	
	石川県	1	12.0	-	-	-	白山市	
	福井県	33	455.0	455.0	13.3	606.0	勝山市	
	岐阜県	159	1,461.3	1,461.3	29.5	4,314.0	関市、八百津町、 白川町、東白川 村、瑞浪市、下呂 市、高山市、飛騨 市	飛騨小坂おんたけ 1号(下呂市)
	愛知県	18	106.0	106.0	130.9	1,388.0	設楽町	名倉種
	三重県	50	285.0	285.0	15.3	437.0	松阪市、大台町	
	滋賀県	13	200.0	200.0	25.0	500.0	長浜市余呉町	
	京都府	4	28.4	-	-	-	福知山市	

作物名	都府県名	経営 体数 (戸)	栽培 面積 (a)	収穫 面積 (a)	収量 (kg/10a)	収穫量 (kg)	主産地 (市町村名)	主要品種名
えごま	兵庫県	31	77.8	77.8	21.1	164.0	新温泉町、朝来市	田村黒種(中生)
	奈良県	3	61.0	61.0	10.0	61.0	奈良市	
	鳥取県	40	394.3	394.3	60.4	2,382.0	倉吉市、日野町、南部町、若桜町	在来種、白川種
	島根県	145	4,488.4	4,488.4	23.8	10,669.0	浜田市 益田市 大田市 江津市 雲南市 奥出雲町 川本町	
	岡山県	29	364.5	30.0	-	-	津山市、美作市	
	広島県	88	1,612.0	1,612.0	39.5	6,368.0	東広島市、庄原市、安芸高田市、世羅町	
	佐賀県	12	644.0	644.0	124.3	8,003.0	神埼市、嬉野市	
	長崎県	1	29.0	20.0	19.0	38.0	新上五島町	
	熊本県	7	514.0	484.0	54.0	2,612.0	菊陽町、南阿蘇村、湯前町	白、金ごま
	大分県	28	90.0	90.0	68.8	619.0	臼杵市	
	宮崎県	4	182.0	182.0	36.3	660.0	綾町、高原町、西都市	
	鹿児島県	2	150.0	80.0	12.5	100.0	肝付町、志布志市	
	合計	1,561	30,811.1	26,013.1	35.1	91,270.4		
ごま	岩手県	4	12.0	12.0	81.7	98.0	一関市	
	茨城県	9	85.0	85.0	117.6	1,000.0	水戸市	
	栃木県	22	486.0	486.0	64.8	3,148.5	高根沢町、那須塩原市	
	群馬県	5	349.0	349.0	-	-	館林市、藤岡市	
	埼玉県	6	129.0	129.0	86.9	1,121.4	狭山市、熊谷市、吉見町	
	山梨県	1	5.2	4.8	-	-	北杜市	
	長野県	39	643.0	643.0	55.1	3,544.0	佐久市、駒ヶ根市、下條村、信濃町他	
	富山県	4	20.9	20.9	31.6	66.0	富山市	
	岐阜県	12	84.3	84.3	22.5	190.0	揖斐川町、白川町	金ごま(揖斐川町)
	三重県	18	498.0	422.0	23.0	970.0	津市、四日市市	真瀬金、にしきまる
	京都府	1	4.2	-	-	-	京丹後市	
	兵庫県	51	539.0	539.0	49.0	2,643.0	西脇市、多可町、たつの市、丹波市	黒ごま
	奈良県	2	11.0	11.0	62.0	68.2	宇陀市	
	鳥取県	1	58.2	58.2	17.9	104.0	倉吉市	
	愛媛県	10	30.0	非	非	非	上島町	
	長崎県	7	590.0	-	-	1,327.5	南島原市	
	熊本県	14	268.0	268.0	46.7	1,252.0	氷川町、合志市、湯前町	
	大分県	3	22.4	22.4	80.8	181.0	豊後大野市	
	宮崎県	7	175.0	175.0	48.6	850.0	三股町	まるひめ、まるえもん、真瀬金
	鹿児島県	270	15,890.8	15,890.8	12.0	19,085.0	いちき串木野市、南九州市、南さつま市、喜界町、伊仙町、和泊町	喜界在来、黒ごま、白ごま、金ごま
合計	486	19,901.0	19,200.4	18.6	35,648.6			
オリーブ	宮城県	6	840.0	840.0	26.9	2,257.0	石巻市	
	福島県	5	620.0	620.0	8.9	550.0	浪江町、いわき市	
	群馬県	8	1,323.9	850.0	13.5	1,150.0	太田市、館林市、甘楽町	
	埼玉県	3	90.0	5.0	200.0	100.0	川越市	
	千葉県	7	400.0	400.0	5.0	201.0	東金市	チプレッシーノ、ホジブランコほか
	神奈川県	77	1,936.2	220.2	667.7	14,705.0	小田原市、中井町、山北町、真鶴町、秦野市、二宮町、綾瀬市	
	山梨県	21	751.0	571.0	82.3	4,700.1	南アルプス市、笛吹市、大月市	ミッション、ルッカ、ネバディロ他

作物名	都府県名	経営 体数 (戸)	栽培 面積 (a)	収穫 面積 (a)	収量 (kg/10a)	収穫量 (kg)	主産地 (市町村名)	主要品種名
オリーブ	静岡県	183	5,590.1	2,513.2	120.0	30,161.5	東伊豆町、沼津市、伊東市、静岡市、川根本町、島田市、藤枝市、牧之原市、掛川市、磐田市、袋井市、森町、浜松市、湖西市	島田市：ルッカ、ミッション、ネバディロブランコ、セントキャサリン、シプレッシーノ、コラティーナ等 牧之原市：ルッカ、ミッション、マンザニコ、アルベキーナ、ネバディロブランコ、フラントイユ 浜松市：アルベキーナ、ルッカ、コロネイキ、ペンドリーノ、アイセブンセブン
	福井県	1	752.1	752.1	25.4	1,910.0	福井市三里浜地区	マンザニコ、I-77、アスコラーナ、ルッカ、ミッション、アルベキーナ、ネバディロ、ブランコ、シプレッシーノ、フラントイオ、レッチャーノ、ペンドリーノ、タジャスカ、マウリーノ、カニーノ、コラティーナ、カロレア
	三重県	8	235.0	135.0	11.6	157.0	鈴鹿市、志摩市	
	滋賀県	15	556.8	7.0	28.6	20.0	長浜市、高島市	
	京都府	42	1,311.1	1,243.0	17.5	2,171.0	宮津市、京丹後市	
	兵庫県	3	120.0	60.0	293.3	1,760.0	神戸市	ルッカ、マンザニコ、ミッション、ネバディロ・ブランコ
	奈良県	1	400.0	400.0	75.0	3,000.0	王寺町	
	島根県	1	580.0	580.0	34.5	2,000.0	出雲市	
	岡山県	4	1,400.0	1,100.0	103.0	11,330.0	備前市、瀬戸内市、総社市、浅口市	
	広島県	133	4,183.0	4,183.0	34.4	14,369.0	呉市、江田島市	
	山口県	1	5,000.0	-	-	-	萩市	
	香川県	267	22,400.0	-	-	507,000.0	小豆島町、土庄町、多度津町等	
	愛媛県	6	700.0	非	非	非	今治市	
	福岡県	22	820.0	250.0	80.0	2,000.0	うきは市	ミッション、ルッカ、マンザロニ外
	佐賀県	4	147.9	76.9	3.9	30.0	唐津市、基山町	
	長崎県	84	2,123.1	549.0	91.7	5,036.0	雲仙市、南島原市、長与町	
	熊本県	10	710.0	460.0	94.9	4,364.0	荒尾市、上天草市、菊陽町	
	大分県	33	3,700.0	3,700.0	32.4	11,985.0	国東市、豊後高田市	
	宮崎県	22	876.0	241.0	0.4	10.0	日南市、えびの市、日向市	フラントイオ、レッチャーノ、ダッジャスカ、ペンドリーノ
	鹿児島県	104	1,616.4	1,228.9	37.9	4,659.1	日置市、南さつま市、出水市	
合計	1,071	59,182.5	20,985.2	298.1	625,625.7			

作物名	都府県名	経営 体数 (戸)	栽培 面積 (a)	収穫 面積 (a)	収量 (kg/10a)	収穫量 (kg)	主産地 (市町村名)	主要品種名
ひまわり	北海道	2	640.0	570.0	168.4	9,600.0	北竜町	コバルトII
	岩手県	1	10.0	10.0	5.0	5.0	一関市	
	秋田県	7	31.1	31.1	7.2	22.4	小坂町	
	千葉県	1	30.0	0.0	0.0	0.0	白井市	63HE60
	山梨県	2	22.0	19.9	0.1	0.1	北杜市、大月市	
	長野県	11	153.1	153.1	35.6	545.0	佐久市、富士見町、辰野町	
	兵庫県	2	5.4	5.4	38.0	20.5	西脇市、多可町、たつの市	
	島根県	3	19.7	19.7	0.0	0.0	雲南市	
	香川県	9	758.0	-	-	2,274.0	まんのう町	油用4号
	佐賀県	5	34.5	0.0	0.0	0.0	武雄市	
	長崎県	14	1,258.0	0.0	0.0	0.0	雲仙市	
	熊本県	8	85.0	24.0	750.0	1,800.0	宇城市、南小国町	
	大分県	12	6,300.0	6,300.0	2.2	1,415.0	国東市、豊後高田市、臼杵市	
	徳島県	1	150.0	150.0	20.0	300.0	吉野川市	
鹿児島県	3	112.0	112.0	55.4	620.0	姪良市、肝付町		
合計	81	9,608.8	7,395.2	22.4	16,602.0			
和種はっか	北海道	5	460.0	350.0	7.1	247.7	滝上町	ほくと、JM23
	山梨県	1	1.0	0.8	62.5	5.0	大月市	
	石川県	1	8.0	8.0	-	-	白山市	不明
	兵庫県	31	1,728.6	1,728.6	0.0	0.0	佐用町	品種名 P63HE30
	合計	38	2,197.6	2,087.4	1.2	252.7		
ラベンダー	北海道	1	2,026.0	2,026.0	-	-	中富良野町	おかむらさき、濃紫早咲、はなもいわ
	埼玉県	1	650.0	650.0	15.4	1,000.0	嵐山町	
	山梨県	1	1.0	0.8	6.3	0.5	大月市	
	長野県	3	298.0	298.0	10.3	306.0	小諸市、池田町	
	石川県	1	40.0	40.0	-	-	津幡町	グロッソ
	兵庫県	9	256.7	256.7	55.9	1,433.8	多可町	
	鳥取県	4	47.0	47.0	20.0	94.0	鳥取市	
合計	20	3,318.7	3,318.5	8.5	2,834.3			
藍	北海道	1	400.0	400.0	300.0	12,000.0	伊達市	
	青森県	1	80.0	80.0	37.5	300.0	青森市	
	岩手県	1	3.7	3.7	13.5	5.0	西和賀町	
	宮城県	1	10.8	10.8	869.4	939.0	南三陸町	
	福島県	4	12.0	2.0	-	-	磐梯町、南会津町、大玉村	
	茨城県	1	41.5	41.5	96.4	400.0	鹿嶋市	
	栃木県	3	37.1	28.3	148.4	420.0	佐野市、足利市	
	山梨県	1	0.5	0.3	6.7	0.2	大月市	
	長野県	1	35.0	35.0	2.9	10.0	南木曾町	
	三重県	5	87.4	87.4	181.4	1,585.0	いなべ市、松阪市、志摩市	
	京都府	2	72.2	72.2	83.2	600.0	京都市(伏見区羽東師・久我・淀、西京区大原野)	
	兵庫県	1	142.0	142.0	465.0	6,603.0	西脇市	
	奈良県	1	35.0	35.0	242.9	850.0	奈良市	
	広島県	1	64.0	64.0	312.5	2,000.0	福山市	
	徳島県	44	1,534.0	1,534.0	415.0	63,655.0	徳島市、石井町、藍住町、上板町、阿波市、美馬市、東みよし町、海陽町	
	長崎県	1	1.0	1.0	900.0	90.0	雲仙市	
	大分県	1	50.0	50.0	100.0	500.0	竹田市	
沖縄県	21	191.5	191.5	115.9	2,220.0	本部町、大宜味村、南風原町	琉球藍	
合計	91	2,797.7	2,778.6	331.7	92,177.2			
紅花	山形県	110	951.2	951.2	2.7	252.7	山形市、天童市、山辺町、中山町、河北町、米沢市、白鷹町、酒田市	
	栃木県	2	5.0	5.0	-	1500本	那須塩原市	

作物名	都府県名	経営 体数 (戸)	栽培 面積 (a)	収穫 面積 (a)	収量 (kg/10a)	収穫量 (kg)	主産地 (市町村名)	主要品種名
紅花	山梨県	1	0.4	0.2	10.0	0.2	大月市	
	合計	113	956.6	956.4	2.6	252.9		
レッドキャベツ (染料用)	北海道	13	2,530.9	2,530.9	3,529.4	893,261.0	恵庭市、遠別町	RB-3A
	鹿児島県	2	985.0	985.0	4,000.0	394,000.0	枕崎市	
	合計	15	3,515.9	3,515.9	3,661.3	1,287,261.0		
しそ(加工用)	北海道	31	11,129.6	11,129.6	84.5	94,065.4	洞爺湖町、上富良野町、遠別町、北見市、佐呂間町、遠軽町、白糠町	北海第一号、チリメン青シソ、アカチリメン、赤しそ
	岩手県	21	957.0	957.0	1,430.2	136,866.0	宮古市、住田町	片面紫蘇(宮古市)
	福島県	1	20.0	20.0	50.0	100.0	二本松市	
	栃木県	18	34.6	34.6	201.2	696.0	市貝町、那須塩原市	
	山梨県	7	28.0	26.2	0.8	2.0	北杜市、大月市	
	静岡県	20	3,036.0	3,036.0	265.4	80,588.0	三島市、島田市、磐田市	三島市：紫香 島田市：赤丸葉大しそ、本赤ちりめん 磐田市：芳香
	福井県	15	69.2	69.2	609.5	4,218.0	福井市木田地区、若狭町	
	島根県	1	104.0	104.0	825.6	8,586.0	邑南町	
	徳島県	2	25.0	25.0	200.0	500.0	吉野川市	
	福岡県	11	520.0	520.0	853.8	44,400.0	北九州市、遠賀町	芳香
	佐賀県	2	75.0	75.0	506.7	3,800.0	太良町	
	熊本県	8	223.0	223.0	387.9	8,650.0	合志市、美里町、錦町	
	宮崎県	3	5,850.0	5,850.0	1,560.1	912,686.0	宮崎市、都城市、川南町	
	鹿児島県	5	50.5	50.5	843.0	4,257.0	南さつま市、姶良市	
	大阪府	25	150.0	150.0	100.0	1,500.0	茨木市	
	滋賀県	12	47.0	47.0	1,531.9	7,200.0	大津市、長浜市	
	山口県	1	3.0	3.0	176.7	53.0	柳井市	
合計	183	22,321.9	22,320.1	586.1	1,308,167.4			
ステビア	山梨県	2	2.0	1.0	400.0	40.0	大月市	
ケナフ	福島県	1	60.0	60.0	3,500.0	21,000.0	喜多方市	
ホップ	北海道	6	523.6	523.6	170.9	8,946.1	上富良野町、和寒町	カシミア、クリスタル、カスケード
	青森県	1	170.0	170.0	88.2	1,500.0	田子町	
	岩手県	33	3,987.8	3,767.8	122.0	45,969.4	遠野市、北上市、奥州市、軽米町	IBUKI(キリン2号、かいこがね)(遠野市)、Murakami 7(遠野市)
	秋田県	26	2,355.0	2,355.0	167.0	39,325.1	横手市、大館市	
	山形県	21	1,316.0	1,256.0	182.0	22,857.6	上山市、尾花沢市、米沢市、高島町、長井市、白鷹町	
	福島県	2	48.0	43.0	7.2	31.0	田村市都路町、いわき市	
	群馬県	1	6.0	6.0	40.0	24.0	みなかみ町	
	埼玉県	1	20.0	12.0	3.8	4.5	飯能市	
	神奈川県	1	20.0	-	-	-	平塚市	
	山梨県	11	284.9	165.0	15.3	252.0	甲府市、南アルプス市、北杜市、富士吉田市、忍野村	カスケード、カイコガネ
	長野県	3	64.0	62.0	90.3	560.0	安曇野市、高山村、山ノ内町	
	静岡県	1	30.0	20.0	10.0	20.0	島田市	カスケード
	新潟県	4	19.8	12.4	44.4	55.0	長岡市、小千谷市、十日町市	

作物名	都府県名	経営 体数 (戸)	栽培 面積 (a)	収穫 面積 (a)	収量 (kg/10a)	収穫量 (kg)	主産地 (市町村名)	主要品種名	
ホップ	富山県	1	3.0	3.0	36.7	11.0	立山町		
	京都府	9	145.0	143.0	31.6	451.3	京田辺市、与謝野町	コロンバス、カスケード	
	兵庫県	2	6.0	6.0	8.3	5.0	神戸市、朝来市	カスケード	
	和歌山県	1	10.0	10.0	40.0	40.0	高野町	カスケード、いぶき	
	岡山県	1	5.0	5.0	60.0	30.0	新庄村		
	愛媛県	1	538.0	非	非	非	久万高原町		
	大分県	3	17.0	17.0	14.1	24.0	竹田市		
	宮崎県	2	20.0	20.0	37.6	75.2	延岡市、五ヶ瀬町	カスケード	
合計	131	9,589.1	8,596.8	139.8	120,181.2				
その他工芸	亜麻	北海道	4	987.1	585.0	47.3	2,766.0	当別町、士別市、更別村	ブライトン
	色素とり用サツマイモ	北海道	1	16.4	16.4	959.8	1,574.0	遠別町	
	紫根(ムラサキ)	北海道	15	55.0	55.0	54.9	302.0	当別町	
		島根県	2	2.0	2.0	150.0	30.0	雲南市	
		大分県	1	11.0	11.0	27.3	30.0	竹田市	
		宮崎県	1	3.0	3.0	82.8	24.9	延岡市	
		合計	19	71.0	71.0	54.5	386.9		
	しめ縄用(稲わら)	山形県	2	4.5	4.5	888.9	400.0	村山市	
		栃木県	4	29.0	29.0	289.7	840.0	宇都宮市	
		合計	6	33.5	33.5	370.1	1,240.0		
	スゲ	山形県	9	81.0	81.0	72.8	590.0	飯豊町	
		富山県	10	63.6	15.3	-	-	高岡市	
		合計	19	144.6	96.3	61.3	590.0		
	日本茜	大阪府	1	50.0	12.0	333.3	400.0	岸和田市、和泉市	不明
	和からし	岩手県	3	12.0	12.0	15.0	18.0	平泉町	
	赤柿(串柿用)	富山県	6	400.0	200.0	975.0	19,500.0	氷見市	赤柿
	あおばな	滋賀県	7	24.0	19.0	-	-	草津市	在来種
	カレンデュラ	兵庫県	1	17.0	17.0	40.0	68.0	淡路市	
	カンピョウ	滋賀県	12	60.0	60.0	23.3	140.0	甲賀市	
	クワ	長崎県	1	20.0	20.0	32.0	64.0	五島市	
	クワメイシ(エビスグサ)	鳥取県	5	50.0	50.0	60.0	300.0	日野町	
	コーヒー	鹿児島県	44	1,007.0	620.0	20.7	1,284.0	奄美市、宇検村、伊仙町、天城町、与論町	
		沖縄県	32	1,348.7	1,263.2	20.0	2,527.0	国頭村、名護市、東村、恩納村、大宜味村、久米島町	ニューワールド、ティピカ、アラビカ種、不明
		合計	76	2,355.7	1,883.2	20.2	3,811.0		
	しょうが	島根県	5	227.0	227.0	352.4	8,000.0	出雲市	
	マコモ	鳥取県	5	24.9	24.9	-	-	江府町、日南町	
	もちきび	沖縄県	42	2,267.0	1,826.0	27.7	5,053.8	渡名喜村、粟国村、竹富町	
七島藺	大分県	7	48.0	48.0	1,210.4	5,810.0	国東市		
桜葉	静岡県	31	655.2	655.2	611.3	40,054.0	松崎町	大島桜	
菜種(油)	山形県	2	71.6	71.6	-	-	長井市		
バニラ	沖縄県	3	172.0	62.0	25.5	158.0	久米島町、北中城村、石垣市		
ヘナ	沖縄県	10	135.0	135.0	151.9	2,050.0	南風原町、南城市		
サルナシ	長野県	1	7.0	7.0	1,428.6	1,000.0	小谷村	サルナシ	
ナタマメ	鳥取県	5	28.4	28.0	203.9	570.9	智頭町		
カミツレ	岩手県	2	18.0	18.0	500.0	900.0	野田村		
	長野県	11	168.9	168.9	153.6	2,595.0	池田町、御代田町、佐久市	ジャーマンカモミール	
	合計	13	186.9	186.9	187.0	3,495.0			

※ラウンドのため合計数値は一致しない場合がある

2 い草の生産状況（令和5年産）

(1) 総括表

工芸作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	収穫量 (Kg)	生産都道府県	
			(a)			
い 草	あさなぎ	1	100.0	100.0	10,000.0	佐賀県
	せとなみ	2	50.0	50.0	5,000.0	広島県
	岡山3号・せとなみ・その他合計	2	270.0	270.0	34,200.0	高知県
	筑後みどり	3	150.0	150.0	17,800.0	福岡県
	ひのみどり	116	9,700.0	9,700.0	1,509,700.0	熊本県
	ビーグ	14	367.9	367.9	24,956.0	沖縄県
	涼風	185	17,800.0	17,800.0	2,755,900.0	熊本県
	夕風	36	2,600.0	2,600.0	404,550.0	熊本県
	ひのはるか	61	3,940.0	3,940.0	607,700.0	石川県、熊本県
	くご	1	2.1	2.1	314.0	青森県
	くまもと7号	1	53.0	53.0	-	沖縄県
	その他	12	1,247.4	1,210.0	185,450.0	広島県、福岡県、熊本県
	計	434	36,280.4	36,243.0	5,555,570.0	

※ ラウンドのため合計数値は一致しない場合がある

(2) 都道府県別

都道府県名	栽培戸数 (戸)	作付面積 (a)	10a当たり収量 (kg/10a)	収穫量 (kg)	生産市町村
青森県	1	2.1	1,495.2	314.0	弘前市
石川県	1	40.0	800.0	3,200.0	小松市
広島県	3	87.4	1,000.0	5,000.0	福山市、尾道市
高知県	2	270.0	1,266.7	34,200.0	土佐市
福岡県	4	260.0	1,319.2	34,300.0	大川市、柳川市、大木町
佐賀県	1	100.0	1,000.0	10,000.0	みやき町
熊本県	407	35,100.0	1,550.9	5,443,600.0	八代市、氷川町、宇城市
沖縄県	15	420.9	592.9	24,956.0	うるま市、国頭村
合 計	434	36,280.4	1,532.9	5,555,570.0	

※ラウンドのため合計数値は一致しない場合がある。
 熊本県の収穫量は農林水産省作物統計による

(3) 品種別

品種名	都道府県名	作付面積 (a)	10a当たり収量 (kg/10a)	収穫量 (kg)	生産市町村
あさなぎ	佐賀県	100.0	1,000.0	10,000.0	みやき町
せとなみ	広島県	50.0	1,000.0	5,000.0	福山市
岡山3号・ せとなみ・その 他合計	高知県	270.0	1,266.7	34,200.0	土佐市
筑後みどり	福岡県	150.0	1,186.7	17,800.0	柳川市、大木町
ひのみどり	熊本県	9,700.0	1,556.4	1,509,700.0	八代市、氷川町、宇城市
ビーグ	沖縄県	367.9	678.3	24,956.0	うるま市
涼風	熊本県	17,800.0	1,548.3	2,755,900.0	八代市、氷川町、宇城市
夕風	熊本県	2,600.0	1,556.0	404,550.0	八代市、氷川町、宇城市
ひのはるか	石川県	40.0	800.0	3,200.0	小松市
	熊本県	3,900.0	1,550.0	604,500.0	八代市、氷川町、宇城市
	小計	3,940.0	1,542.4	607,700.0	
くご	青森県	2.1	1,495.2	314.0	弘前市
くまもと7号	沖縄県	53.0	-	-	国頭村
その他	広島県	37.4	-	-	尾道市
	福岡県	110.0	1,500.0	16,500.0	大川市
	熊本県	1,100.0	1,535.9	168,950.0	八代市、氷川町、宇城市
	小計	1,247.4	1,532.6	185,450.0	
合計		36,280.4	1,532.9	5,555,570.0	

※ ラウンドのため合計数値は一致しない場合がある

Ⅱ 薬用作物

1 生産状況（令和5年産）

（1）全国の推移

年産	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (ha)	収穫面積	生産量 (t)
			(ha)	
昭和58年産	16,200	2,956	1,134	3,294
昭和59年産	19,200	2,452	1,200	3,986
昭和60年産	19,250	3,027	1,335	3,777
昭和61年産	20,841	3,650	1,879	4,881
昭和62年産	24,490	3,916	2,141	4,060
昭和63年産	26,108	3,737	1,829	3,470
平成元年産	21,058	3,448	2,050	5,123
平成2年産	20,469	3,443	1,851	5,840
平成3年産	18,187	2,990	1,669	6,582
平成4年産	16,094	2,834	1,750	10,809
平成5年産	14,181	2,559	1,513	10,326
平成6年産	13,728	2,623	1,611	14,947
平成7年産	12,873	2,581	1,586	15,628
平成8年産	12,333	1,913	1,442	9,841
平成9年産	11,446	1,666	1,241	11,514
平成10年産	10,418	1,655	1,015	12,432
平成11年産	8,863	1,237	791	10,883
平成12年産	8,635	1,061	673	9,556
平成13年産	6,806	1,297	731	10,000
平成14年産	6,368	1,235	719	12,587
平成15年産	5,981	1,291	802	9,847
平成16年産	6,118	1,188	687	6,138
平成17年産	6,098	1,138	743	5,689
平成18年産	6,192	1,143	857	7,931
平成19年産	6,290	1,497	1,129	7,845
平成20年産	6,938	1,839	1,238	9,312
平成21年産	6,372	1,728	1,305	5,162
平成22年産	5,585	1,956	1,576	12,983
平成23年産	5,963	1,819	1,553	6,534
平成24年産	5,958	1,448	1,136	4,440
平成25年産	4,580	1,650	1,309	3,786
平成26年産	5,270	1,679	1,292	2,972
平成27年産	5,308	2,119	1,651	12,066
平成28年産	5,341	2,128	1,761	10,794
平成29年産	5,899	2,277	1,857	10,936
平成30年産	5,404	2,538	1,960	13,145
令和元年産	5,185	2,271	1,956	10,378
令和2年産	4,895	2,490	2,132	13,536
令和3年産	4,654	2,683	2,287	13,755
令和4年産	4,443	2,321	2,034	13,315
令和5年産	4,098	2,418	2,170	11,798

(2) 都道府県別生産状況

① 総括表

都道府県	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	10a当たり		生産量 (Kg)
			収穫面積 (a)	収量 (kg)	
北海道	156	38,331	30,872	161.2	497,555
青森県	19	606	72	530.7	3,800
岩手県	87	2,160	1,807	93.4	16,876
宮城県	3	20	20	78.6	158
秋田県	79	3,088	222	177.9	3,954
山形県	8	353	351	285.3	10,004
福島県	14	1,804	1,354	65.2	8,821
茨城県	44	789	776	859.8	66,720
栃木県	26	10,160	10,002	161.9	161,904
群馬県	82	2,935	2,903	283.8	82,394
埼玉県	10	6	4	0.4	0
千葉県	9	169	169	1,603.0	27,090
東京都	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-
山梨県	101	1,892	1,740	258.9	45,035
長野県	46	927	920	631.5	58,067
静岡県	39	1,165	945	5,433.9	513,505
新潟県	91	1,141	760	248.5	18,876
富山県	133	26,829	26,206	95.0	249,002
石川県	38	1,605	1,255	154.7	19,411
福井県	13	1,801	74	99.6	740
岐阜県	208	858	858	283.2	24,308
愛知県	7	9	8	10.0	8
三重県	21	263	60	724.5	4,347
滋賀県	17	1,047	905	1,363.6	123,406
京都府	30	61	-	-	86
大阪府	-	-	-	-	-
兵庫県	46	452	443	195.6	8,662
奈良県	207	3,384	2,111	147.4	31,104
和歌山県	645	12,899	12,199	110.0	134,237
鳥取県	61	2,574	2,268	155.0	35,146
島根県	136	9,660	9,209	271.6	250,152
岡山県	29	231	108	788.9	8,489
広島県	23	79	74	61.6	453
山口県	5	415	225	420.4	9,464
徳島県	60	684	564	443.3	25,002
香川県	70	519	130	-	-
愛媛県	156	2,390	非	非	非
高知県	322	8,795	6,945	389.9	270,784
福岡県	35	1,798	1,798	1,429.3	256,980
佐賀県	25	459	459	391.2	17,948
長崎県	3	320	305	85.1	2,595
熊本県	155	8,732	7	571.4	400
大分県	208	31,922	31,922	1,198.5	3,825,874
宮崎県	50	16,405	15,908	1,287.9	2,048,878
鹿児島県	300	35,693	43,843	633.0	2,775,472
沖縄県	281	6,372	6,183	259.7	160,594
計	4,098	241,798	216,980	543.8	11,798,299

② 都道府県別

都道府県名	薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村名
				(a)			
北海道	オウギ	17	2,578.3	2,494.9	240.0	59,879.4	滝川市、様似町、小清水町、上士幌町、豊頃町
	カノコソウ	17	364.0	非	非	非	月形町、名寄市
	カンゾウ	2	1,030.0	非	非	非	池田町、下川町
	キハダ	1	1,361.0	非	非	非	夕張市
	ケール	1	300.0	300.0	200.0	6,000.0	千歳市
	ジオウ	1	15.0	15.0	191.3	287.0	新得町
	シソ	11	256.0	256.0	40.0	1,025.2	旭川市
	シャクヤク	1	10.0	10.0	2,758.0	2,758.0	新篠津村
	センキュウ	26	10,065.0	10,065.0	非	非	厚沢部町、網走市、帯広市、音更町、芽室町
	ダイオウ	5	1,078.0	非	非	非	池田町
	トウガラシ	1	0.1	-	-	3.0	森町
	トウキ	34	7,759.1	6,372.1	294.9	187,910.0	夕張市、滝川市、千歳市、苫小牧市、豊頃町、八雲町、網走市、帯広市、大樹町
	トリカブト	13	3,523.8	3,516.2	424.4	149,215.5	江別市、千歳市、豊浦町
	ニンニク	3	1,015.0	-	-	1,313.5	森町
	ハトムギ	18	8,204.3	7,755.0	100.9	78,283.0	八雲町、乙部町、旭川市、鷹栖町、剣淵町、幌加内町
	ホオノキ	1	683.0	非	非	非	夕張市
	ヤーコン	4	88.0	88.0	1,236.4	10,880.5	留寿都村、森町、置戸町
計	156	38,330.5	30,872.2	161.2	497,555.1		
青森県	カノコソウ	1	55.0	55.0	381.8	2,100.0	新郷村
	クワイモ	2	550.0	16.0	1,062.5	1,700.0	五所川原市
	シャクヤク	1	非	非	非	非	六戸町
	ムラサキ	15	0.6	0.6	-	-	十和田市
	計	19	605.6	71.6	530.7	3,800.0	
岩手県	アマチャ	14	350.0	350.0	42.9	1,500.0	九戸村
	カノコソウ	2	33.0	33.0	17.8	58.8	岩手町
	カララヨモギ	4	60.0	60.0	97.5	585.0	岩手町
	クロモジ	1	50.0	0.0	0.0	0.0	田野畑村
	シソ	8	168.5	168.5	190.3	3,206.0	岩手町、八幡平市
	シャクヤク	15	576.5	353.5	77.0	2,723.0	盛岡市、八幡平市、葛巻町、岩手町、矢巾町
	センキュウ	8	140.0	140.0	242.9	3,401.0	盛岡市、八幡平市、岩手町
	トウキ	6	45.0	45.0	209.8	944.0	盛岡市、八幡平市
	トリカブト (オク トリカブト、ハナ トリカブト)	7	79.0	79.0	339.1	2,679.0	盛岡市、岩手町
	マコモ	17	445.6	445.6	-	-	一関市
	モッコウ	3	162.0	82.0	151.6	1,243.0	岩手町
	ヨロイグサ	2	50.0	50.0	107.2	536.0	岩手町
計	87	2,159.6	1,806.6	93.4	16,875.8		
宮城県	トウキ	1	0.1	0.1	0.0	0.0	南三陸町
	ムラサキ	2	20.0	20.0	79.0	158.0	加美町
	計	3	20.1	20.1	78.6	158.0	
秋田県	ウド	1	1,054.0	非	-	3,318.0	北秋田市、能代市、藤里町
	ノイバラ (エイジ ツ)	8	76.5	27.7	21.7	60.0	美郷町
	カノコソウ	1	5.0	-	-	-	仙北市
	カミツレ	7	52.0	49.0	10.2	50.0	八峰町
	カンゾウ	2	12.4	-	-	-	美郷町
	キキョウ	29	321.3	145.5	36.1	525.5	八峰町、美郷町
	シャクヤク	24	1,511.0	-	-	-	仙北市
	センブリ	2	2.0	-	-	-	美郷町
	モッコウ	3	39.0	-	-	-	仙北市
ヨロイグサ	2	15.0	-	-	-	仙北市	

都道府県名	薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村名
				(a)			
秋田県	計	79	3,088.2	222.2	177.9	3,953.5	
山形県	カノコソウ	1	0.7	0.7	57.1	4.0	真室川町
	シヤクヤク	1	50.0	50.0	0.0	0.0	鮭川村
	トリカブト	1	2.0	0.0	-	-	寒河江市
	ヨモギ	5	300.0	300.0	333.3	10,000.0	鮭川村
	計	8	352.7	350.7	285.3	10,004.0	
福島県	クワイモ	1	25.0	25.0	1,480.0	3,700.0	田村市滝根町
	クワ	10	1,300.0	850.0	11.8	1,000.0	二本松市
	サフラン	1	10.0	10.0	0.3	0.3	喜多方市
	シヤクヤク	1	46.7	46.7	351.3	1,640.4	只見町
	ハトムギ	1	422.0	422.0	58.8	2,480.0	泉崎村
	計	14	1,803.7	1,353.7	65.2	8,820.7	
茨城県	ケール	4	200.0	200.0	2,000.0	40,000.0	つくば市
	シヤクヤク	1	3.0	0.0	0.0	0.0	常陸太田市
	タマサキツヅラフジ	19	270.0	270.0	729.6	19,700.0	石岡市
	トウキ	6	86.0	76.0	42.1	320.0	神栖市、鹿嶋市、行方市、石岡市
	ミシマサイコ(サイコ)	12	190.0	190.0	36.8	700.0	石岡市
	ヤーコン	2	40.0	40.0	1,500.0	6,000.0	常総市、阿見町
	計	44	789.0	776.0	859.8	66,720.0	
栃木県	クワイモ	1	200.0	50.0	165.0	825.0	那須町
	トウキ	4	114.0	106.0	73.0	774.0	益子町、壬生町
	ハトムギ	13	9,791.2	9,791.2	162.7	159,259.0	鹿沼市、小山市、佐野市
	マカ	7	5.0	5.0	164.3	82.5	鹿沼市
	ヨロイグサ	1	50.0	50.0	192.6	963.0	益子町
	計	26	10,160.2	10,002.2	161.9	161,903.5	
群馬県	ウコン	2	2.0	2.0	50.0	10.0	みなかみ町
	ウド(ドッカツ)	1	10.0	10.0	129.0	129.0	東吾妻町
	トウキ	75	2,848.0	2,816.0	291.8	82,184.1	みなかみ町、昭和村、沼田市、川場村、高山村、長野原町、東吾妻町、渋川市赤城町、中之条町
	ミシマサイコ	4	75.0	75.0	9.4	70.6	高山村
	計	82	2,935.0	2,903.0	283.8	82,393.7	
埼玉県	サフラン	8	3.6	3.6	0.4	0.1	鶴ヶ島市
	トウキ	1	1.0	0.0	0.0	0.0	飯能市
	マカ	1	1.0	0.0	0.0	0.0	飯能市
	計	10	5.6	3.6	0.4	0.1	
千葉県	ケール	1	95.0	95.0	1,000.0	9,500.0	八街市
	トウキ(生)	8	74.0	74.0	2,377.0	17,590.0	旭市、山武市、八街市、東庄町
	計	9	169.0	169.0	1,603.0	27,090.0	
山梨県	ウコン	4	7.5	6.2	2,822.6	1,750.0	大月市
	ウスベニアオイ(ブルーマロー)	1	1.0	0.8	125.0	10.0	大月市
	ウド	6	17.8	16.4	-	-	北杜市
	オウレン	1	1.0	0.9	11.1	1.0	大月市
	オオムギ	1	2.0	2.0	15.0	3.0	大月市
	カミツレ	2	2.0	2.0	100.0	20.0	大月市
	カリン	2	47.7	37.5	0.5	2.0	北杜市、大月市
	カンゾウ	1	2.0	2.0	-	-	笛吹市
	キク	2	8.4	5.7	-	-	北杜市
	クワイモ	1	5.0	4.0	500.0	200.0	大月市
	キビ	1	3.0	2.8	357.1	100.0	大月市
	クコ	1	1.0	1.0	22.0	2.2	大月市
	クワ	6	1,339.4	1,337.4	301.2	40,279.0	市川三郷町、甲斐市、大月市
	サフラン	1	10.0	10.0	0.5	0.5	甲府市
ショウガ	2	9.1	2.1	-	-	北杜市	

都道府県名	薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村名
				(a)			
山梨県	セネガ (ヒロハセネガ)	1	1.0	1.0	0.0	0.0	大月市
	トウガラシ	9	72.0	56.5	3.5	20.0	北杜市、大月市
	トウキ	1	1.0	0.9	111.1	10.0	大月市
	ドクダミ	1	0.1	0.1	5.0	0.1	大月市
	ナタマメ	4	4.0	4.0	240.0	96.0	大月市
	ニンニク	24	239.1	168.1	4.8	80.0	北杜市、大月市
	モモ	1	5.0	4.0	50.0	20.0	大月市
	モロヘイヤ	4	56.7	23.8	0.8	2.0	北杜市、大月市
	ヤーコン	20	50.3	45.0	537.8	2,420.0	北杜市、富士吉田市、大月市、 鳴沢村
	ルバーブ	1	1.0	1.0	20.0	2.0	大月市
	レモングラス	2	4.0	3.5	34.3	12.0	大月市
	ローズマリー	1	1.0	0.8	62.5	5.0	大月市
計	101	1,892.1	1,739.5	258.9	45,034.8		
長野県	アカザ	1	60.0	60.0	666.7	4,000.0	長野市
	イカリソウ	1	7.0	7.0	1.4	1.0	南木曾町
	カララケツメイ (ハブソウ)	9	80.0	80.0	681.4	5,451.0	小川村、長野市
	ククイモ	1	30.0	30.0	500.0	1,500.0	長野市
	キハダ	1	-	-	-	500.0	小谷村
	ケール	5	43.5	37.5	8,540.5	32,027.0	筑北村、大町市
	ジオウ	1	4.0	3.0	166.7	50.0	上田市
	シャクヤク	6	110.0	110.0	281.5	3,097.0	佐久市、東御市
	センブリ	4	23.0	23.0	47.0	108.2	青木村、原村
	ツルナ	8	80.0	80.0	562.5	4,500.0	長野市
	ナガイモ	1	15.0	15.0	1,666.7	2,500.0	長野市
	ナツメ	1	395.0	395.0	44.3	1,750.0	箕輪町、伊那市、岡谷市
	ボウフウ	1	39.0	39.0	19.2	75.0	南木曾町
	ヤーコン	5	20.0	20.0	254.0	508.0	長野市、信濃町
ヨモギ	1	20.0	20.0	1,000.0	2,000.0	長野市	
計	46	926.5	919.5	631.5	58,067.2		
静岡県	アロエ (キダチア ロエ)	-	668.0	668.0	7,679.6	513,000.0	西伊豆町、松崎町
	オウレン	1	5.0	2.0	150.0	30.0	富士宮市
	キジツ (アマナ ツ)	2	15.0	15.0	88.7	133.0	河津町
	キジツ (ダイダ イ)	1	10.0	10.0	212.0	212.0	河津町
	シソ	1	30.0	30.0	26.7	80.0	牧之原市
	ショウガ	6	32.0	0.0	0.0	0.0	川根本町
	シソ (種子)	1	30.0	30.0	-	-	試験栽培
	トウガラシ	1	5.0	0.0	0.0	0.0	川根本町
	トウキ	1	40.0	40.0	12.5	50.0	牧之原市
	トウキ (種子)	25	330.0	150.0	-	-	牧之原市、御前崎市、菊川市 袋井市、浜松市、森町、春野町
計	39	1,165.0	945.0	5,433.9	513,505.0		
新潟県	クロモジ	2	-	-	-	736.0	新発田市
	シャクヤク	23	414.3	34.9	800.6	2,794.0	新発田市、魚沼市
	トウキ	1	5.0	5.0	6.2	3.1	柏崎市
	ドクダミ	4	23.0	23.0	938.3	2,158.0	長岡市、十日町市、上越市
	トチュウ	19	140.0	140.0	107.1	1,500.0	胎内市
	ヨモギ	42	558.8	556.8	209.9	11,685.0	長岡市、小千谷市、糸魚川市、 上越市
	計	91	1,141.1	759.7	248.5	18,876.1	
富山県	オウレン	1	3.0	0.0	0.0	0.0	上市町
	キハダ	1	-	-	-	60.0	小矢部市
	シャクヤク	118	700.1	84.0	1,066.1	8,955.0	富山市、魚津市、氷見市、小矢 部市、南砺市、上市町、立山 町、入善町、朝日町

都道府県名	薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村名
				(a)			
	トウキ	5	19.6	15.8	101.3	160.0	小矢部市、舟橋村、上市町
富山県	トウキ(葉)	5	16.7	16.7	12.6	21.0	富山市、上市町
	ハトムギ	-	26,084.0	26,084.0	91.9	239,800.0	朝日町、上市町、小矢部市、高岡市、氷見市
	ミシマサイコ	3	6.0	5.5	10.9	6.0	小矢部市、舟橋村、上市町
	計	133	26,829.4	26,206.0	95.0	249,002.0	
石川県	トウキ	8	5.0	5.0	-	-	白山市
	ハトムギ	18	1,250.0	1,250.0	151.2	18,900.0	能美市、羽咋市、宝達志水町
	マオウ	1	350.0	-	-	-	志賀町
	ヨモギ	11	-	-	-	511.0	輪島市、穴水町
	計	38	1,605.0	1,255.0	154.7	19,411.0	
福井県	オウレン	12	1,800.0	74.0	100.0	740.0	大野市
	サフラン	1	0.5	0.3	1.4	0.04	鯖江市
	計	13	1,800.5	74.3	99.6	740.0	
岐阜県	イブキジャコウソウ	1	1.0	1.0	10.0	1.0	揖斐川町
	カキドオシ	6	1.0	1.0	170.0	17.0	揖斐川町
	カミツレ	7	426.0	426.0	182.7	7,784.0	大垣市
	カワラヨモギ	5	56.3	56.3	63.2	356.0	岐阜市
	キキョウ	1	24.9	24.9	4.4	11.0	岐阜市
	クワイモ	10	150.0	150.0	800.0	12,000.0	中津川市
	ゲンノショウコ	2	1.0	1.0	60.0	6.0	揖斐川町
	ジオウ	2	45.7	45.7	7.7	35.0	岐阜市
	トウキ	4	4.0	4.0	65.0	26.0	揖斐川町
	ドクダミ	10	5.0	5.0	84.0	42.0	揖斐川町
	ナンテン	74	-	-	-	127.0	郡上市
	ナンテン(生)	74	-	-	-	3,596.0	郡上市
	ハトムギ	1	84.7	84.7	11.2	95.0	岐阜市
	ミシマサイコ	1	18.7	18.7	6.4	12.0	岐阜市
ヨモギ	10	40.0	40.0	50.0	200.0	揖斐川町	
計	208	858.3	858.3	283.2	24,308.0		
愛知県	ヤーコン	6	6.0	6.0	-	-	碧南市
	ヨモギ	1	3.0	2.0	40.0	8.0	岡崎市
	計	7	9.0	8.0	10.0	8.0	
三重県	カノコソウ	8	17.7	15.2	30.7	46.7	いなべ市、多気町
	カンゾウ	1	20.0	0.0	0.0	0.0	鈴鹿市
	シャクヤク	3	200.0	20.0	2,000.0	4,000.0	鈴鹿市
	トウキ	1	20.0	20.0	150.0	300.0	鈴鹿市
	ミシマサイコ	8	4.8	4.8	-	-	松阪市
	計	21	262.5	60.0	724.5	4,346.7	
滋賀県	アシタバ	1	200.0	100.0	3,000.0	30,000.0	東近江市
	キキョウ	1	4.0	-	-	-	甲賀市
	クワ	1	600.0	600.0	1,000.0	60,000.0	東近江市
	ドクダミ	10	68.0	50.0	141.1	705.7	甲賀市
	トチュウ	1	40.0	20.0	250.0	500.0	東近江市
	モリンガ	1	100.0	100.0	3,000.0	30,000.0	東近江市
	ヨモギ	2	35.0	35.0	628.6	2,200.0	長浜市、東近江市
	計	17	1,047.0	905.0	1,363.6	123,405.7	
京都府	ケール	7	39.7	-	-	-	精華町
	ゲンノショウコ	4	-	-	-	11.1	福知山市
	サンショウ	5	3.0	-	-	5.0	精華町、福知山市
	ドクダミ	7	-	-	-	69.4	福知山市
	ニンニク	2	3.3	-	-	-	精華町
	モロヘイヤ	5	15.0	-	-	-	精華町
	計	30	60.9	-	-	85.5	
兵庫県	カンゾウ(ウラルカンゾウ)	1	20.0	20.0	-	-	香美町
	カワラケツメイ	5	15.1	15.1	-	-	宍粟市

都道府県名	薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村名
				(a)			
兵庫県	ゴマ (キンゴマ)	1	32.3	32.3	61.9	200.0	佐用町
	ショウガ	1	6.0	6.0	-	-	香美町
	セネガ	19	229.6	229.6	142.2	3,266.0	丹波市
	トウキ	16	92.7	83.3	71.6	596.4	丹波市
	ドクダミ	1	7.9	7.9	-	-	宍粟市
	バジル	2	48.7	48.7	944.6	4,600.0	佐用町
	計	46	452.3	442.9	195.6	8,662.4	
奈良県	アマチャ	5	105.0	105.0	24.3	255.0	奈良市、下市町
	アロエ	1	50.0	5.0	6,000.0	3,000.0	天理市
	カラハリスイカ	8	70.0	70.0	1,089.3	7,625.0	御所市
	カリン	4	18.0	18.0	549.4	989.0	下市町
	キハダ	7	908.0	20.2	263.0	530.0	山添村、曾爾村、天川村
	サンショウ	76	1,001.0	1,001.0	41.3	4,133.0	下市町
	シャクヤク	4	398.0	93.0	155.1	1,442.0	橿原市、明日香村、下市町
	セネガ	1	10.0	10.0	93.6	93.6	宇陀市
	トウキ	56	232.0	196.8	92.3	1,815.7	奈良市、宇陀市、橿原市、桜井市、高取市、明日香村、五條市、吉野町、下市町、下北山村
	ナンテン	28	458.0	458.0	100.2	4,589.0	下市町
	ハトムギ	1	20.0	20.0	100.0	200.0	天理市、奈良市
	ヨモギ	16	113.9	113.9	564.7	6,432.0	宇陀市、山添村、東吉野村、曾爾村、御杖村
計	207	3,383.9	2,110.9	147.4	31,104.3		
和歌山	キジツ	106	1,974.0	1,974.0	161.8	31,931.0	紀の川市、印南町
	サンショウ	537	10,900.0	10,200.0	99.9	101,906.1	海南市、紀美野町、有田川町
	トウキ (大和当帰)	2	25.0	25.0	160.0	400.0	高野町
	計	645	12,899.0	12,199.0	110.0	134,237.1	
鳥取県	アイ (タデアイ)	1	2.0	2.0	-	-	伯耆町
	アカネ (ニホンアカネ)	1	2.0	2.0	-	-	伯耆町
	エキナセア・アングスティフォリア	6	34.0	29.0	175.5	509.0	鳥取市、八頭町、琴浦町、大山町
	カラスビシャク	1	1.0	1.0	-	-	伯耆町
	カワラケツメイ	13	117.0	117.0	174.2	2,038.0	伯耆町、鳥取市、八頭町、琴浦町
	ククイモ	5	73.3	18.0	207.2	373.0	伯耆町、琴浦町、八頭町
	クワ	2	220.9	10.0	401.0	401.0	鳥取市、琴浦町
	ドクダミ	3	5.0	5.0	784.0	392.0	琴浦町、伯耆町
	ナタマメ	19	131.3	131.3	251.8	3,306.0	鳥取市、八頭町、智頭町、琴浦町、倉吉市
	ニンニク	1	24.2	-	-	-	鳥取市
	ハトムギ	5	1,943.0	1,943.0	144.7	28,120.0	鳥取市、八頭町
	ヒキオコシ (クロバナヒキオコシ)	1	1.0	1.0	-	-	伯耆町
	モリンガ	1	10.7	-	-	-	鳥取市
	ヤーコン	1	3.5	3.5	20.9	7.3	八頭町
	ヨモギ (カズサヨモギ)	1	5.0	5.0	-	-	伯耆町
計	58	2,564.9	2,258.8	155.6	35,146.3		
島根県	エゴマ	27	224.8	224.8	48.2	1,084.0	出雲市
	オオムギ	1	115.0	115.0	270.6	3,112.0	美郷町
	オオムギワカバ	2	647.0	647.0	762.6	49,343.0	江津市 美郷町
	カミツレ	6	252.0	252.0	142.5	3,590.0	大田市
	カワラケツメイ	5	49.0	37.0	97.0	359.0	美郷町
	ククイモ	10	148.0	148.0	0.0	0.0	雲南市
	ククイモ	1	20.0	20.0	368.5	737.0	美郷町
	キハダ	1	-	-	-	38.0	美郷町
	クワ	5	2,029.0	2,029.0	423.9	86,000.0	江津市 雲南市
クワ (枝)	1	250.0	140.0	343.6	4,810.0	美郷町	

都道府県名	薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村名
				(a)			
島根県	ケール	1	20.0	20.0	757.0	1,514.0	美郷町
	サフラン	2	1.6	1.6	0.5	0.1	吉賀町
	サンショウ	6	265.0	265.0	0.0	0.0	雲南市
	シャクヤク	18	328.0	43.0	629.1	2,705.0	雲南市 美郷町
	ショウガ	4	69.0	69.0	128.8	889.0	雲南市 美郷町
	タマネギ	1	20.0	20.0	1,953.5	3,907.0	美郷町
	トウガラシ	2	21.0	21.0	0.0	0.0	雲南市
	ドクダミ	1	6.0	2.0	550.0	110.0	美郷町
	ナタマメ	2	4.5	4.5	388.9	175.0	出雲市
	ナツメ	2	40.0	40.0	0.0	0.0	雲南市
	ニンニク	4	14.0	14.0	0.0	0.0	雲南市
	ハトムギ	13	5,011.0	4,971.0	172.9	85,948.0	出雲市、江津市、美郷町
	ハトムギ(若葉)	1	77.0	77.0	450.5	3,469.0	美郷町
	モロヘイヤ	18	40.0	40.0	590.5	2,362.0	出雲市 雲南市
	ヤーコン	2	8.0	8.0	-	-	雲南市
計	136	9,659.9	9,208.9	271.6	250,152.1		
岡山県	ケール	1	60.4	60.4	860.9	5,200.0	新見市
	ゲンノショウコ	1	20.5	20.5	300.0	615.0	真庭市
	サンシュユ	10	4.0	3.7	10.8	4.0	和気町
	シャクヤク	17	145.7	23.0	1,160.9	2,670.0	井原市
	計	29	230.6	107.6	788.9	8,489.0	
広島県	アシタバ	1	0.1	0.1	100.0	1.0	三原市
	ウズベニアオイ (ムスクマロー)	2	0.7	0.7	42.9	3.0	三原市
	カミツレ	1	0.5	0.5	120.0	6.0	三原市
	カラスビシャク (ハンゲ)	1	0.8	0.8	50.0	4.0	三原市
	カンゾウ	1	0.5	-	-	-	三原市
	ゲンノショウコ	1	1.0	1.0	100.0	10.0	三原市
	コガネバナ	1	0.2	-	-	-	三原市
	シソ	1	1.0	1.0	80.0	8.0	三原市
	タチジャコウソウ (ワイルドタイム)	2	1.7	1.7	23.5	4.0	三原市
	タマザキツヅラフジ	1	3.0	3.0	233.3	70.0	三原市
	トウキ	1	3.0	3.0	100.0	30.0	広島市
	ドクダミ	1	1.0	1.0	100.0	10.0	三原市
	トチュウ	1	50.0	50.0	40.0	200.0	安芸太田町
	ナデシコ	1	1.5	1.5	80.0	12.0	三原市
	ニオイテンジクア オイ(ローズゼラ ニウム)	1	0.3	0.3	1,000.0	30.0	三原市
	ハッカ(ブラック ペパーミント)	1	0.5	0.5	20.0	1.0	三原市
	ヒヨドリバナ	1	4.5	4.5	66.7	30.0	三原市
	ミシマサイコ(サイ コ)	1	1.0	1.0	50.0	5.0	広島市
	レモンバーム	1	6.0	2.0	10.0	2.0	三原市
	ローズマリー	1	0.4	0.4	175.0	7.0	三原市
ワレモコウ	1	1.5	0.5	400.0	20.0	三原市	
計	23	79.2	73.5	61.6	453.0		
山口県	クロモジ	1	2.0	2.0	10.0	2.0	山口市
	シャクヤク	2	325.4	194.6	467.3	9,093.0	阿武町
	トウキ	2	87.5	28.5	129.5	369.0	阿武町
	計	5	414.9	225.1	420.4	9,464.0	
徳島県	アイ	19	350.0	350.0	415.0	14,524.0	美馬市、徳島市
	クイモ	20	40.0	40.0	1,000.0	4,000.0	美馬市、つるぎ町
	ドクダミ	3	30.0	30.0	40.0	120.0	三好市
	ミシマサイコ	15	233.0	113.0	26.8	302.3	美馬市

都道府県名	薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村名
				(a)			
徳島県	ヨモギ	3	31.0	31.0	1,953.5	6,056.0	美馬市、つるぎ町
	計	60	684.0	564.0	443.3	25,002.3	
香川県	キジツ (ダイダイ)	18	389.0	-	-	-	三豊市
	トウキ (ヤマトトウキ)	8	22.6	22.6	-	-	三豊市
	ミシマサイコ	44	107.0	107.0	-	-	三豊市、高松市
	計	70	518.6	129.6	-	-	
愛媛県	キジツ (ハッサク)	54	620.0	非	非	非	大洲市、内子町、愛南町
	キハダ	1	100.0	非	非	非	西条市
	サンショウ	53	680.0	非	非	非	大洲市、西予市、久万高原町、内子町
	シソ	5	130.0	-	-	-	大洲市
	トウキ	6	50.0	非	非	非	今治市、西予市
	ミシマサイコ	37	810.0	非	非	非	今治市、西条市、大洲市、西予市、久万高原町、内子町
	計	102	1,770.0	非	非	非	
高知県	アマチャ	3	40.0	40.0	224.1	896.3	四万十町
	アロエ	16	268.7	268.7	7,282.8	195,690.0	四万十町、四万十市
	キジツ (ダイダイ)	104	2,560.0	1,539.0	80.7	12,419.0	大豊町、越知町、佐川町、仁淀川町、高知市
	サンショウ	157	4,855.0	4,361.0	109.6	47,790.0	越知町、日高村、大豊町、宿毛市、佐川町、仁淀川町、高知市
	セネガ	8	72.0	72.0	137.8	992.5	四万十町、三原村
	センブリ	11	300.0	153.0	755.3	11,556.8	四万十町
	ミシマサイコ	23	699.0	511.0	28.2	1,439.0	越知町、南国市、香南市、土佐市、大豊町、宿毛市、四万十町、大月町
	計	322	8,794.7	6,944.7	389.9	270,783.6	
福岡県	クヌギ	1	-	-	-	10,000.0	八女市
	ケール	16	1,174.0	1,174.0	2,051.1	240,800.0	糸島市、宇美町、うきは市、岡垣町
	シソ	1	397.0	397.0	122.9	4,880.0	筑後市
	ドクダミ、ヒュウガトウキ、ミシマサイコ、ローズマリー	16	199.0	199.0	-	-	宇美町
	ニンニク	1	28.0	28.0	464.3	1,300.0	大任町
	計	35	1,798.0	1,798.0	1,429.3	256,980.0	
佐賀県	カワラヨモギ	2	20.0	20.0	171.5	343.0	玄海町
	クイモ	2	165.0	165.0	1,000.0	16,500.0	佐賀市
	ショウガ	3	15.1	15.1	-	-	武雄市
	トウキ	1	7.0	7.0	61.4	43.0	玄海町
	ドクダミ	6	69.0	69.0	85.4	589.0	玄海町
	バジル (ホーリーバジル)	2	10.0	10.0	-	-	玄海町
	ミシマサイコ	2	18.0	18.0	48.3	87.0	玄海町
	モリンガ	3	128.6	128.6	30.0	385.8	佐賀市
	レモングラス	4	26.1	26.1	-	-	武雄市
	計	25	458.8	458.8	391.2	17,947.8	
長崎県	サフラン	1	5.0	5.0	6.0	3.0	西海市
	シャクヤク	1	15.0	0.0	0.0	0.0	西海市
	レモングラス	1	300.0	300.0	86.4	2,592.0	五島市
	計	3	320.0	305.0	85.1	2,595.0	
熊本県	ウコン	5	7.0	7.0	571.4	400.0	八代市、宇土市
	ショウガ (カンキョウ)	7	64.0	非	非	非	球磨村
	ミシマサイコ	143	8,661.0	非	非	非	あさぎり町、多良木町、人吉市、錦町、湯前町、相良町、山江村、球磨村
	計	155	8,732.0	7.0	571.4	400.0	

都道府県名	薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村名
				(a)			
大分県	オオムギワカバ	123	25,509.0	25,509.0	1,472.0	3,755,019.1	豊後高田市、豊後大野市、宇佐市、杵築市、臼杵市、国東市
大分県	カワラヨモギ	2	10.0	10.0	248.0	248.0	杵築市
	キキョウ	26	767.0	767.0	2.3	180.0	杵築市
	クワ	2	1,296.8	1,296.8	60.3	7,815.4	豊後大野市、豊後高田市
	ケール	8	49.6	49.6	5,592.5	27,739.0	宇佐市、豊後高田市
	サフラン	30	150.0	150.0	0.6	9.0	竹田市
	ショウガ	2	17.1	17.1	2,081.9	3,560.0	佐伯市
	トウキ	1	25.0	25.0	108.0	270.0	由布市
	ハトムギ	11	3,013.1	3,013.1	74.8	22,533.0	豊後高田市、由布市、大分市
	ボウフウ (ポタンボウフウ)	3	1,084.0	1,084.0	78.4	8,500.0	豊後高田市
計	208	31,921.6	31,921.6	1,198.5	3,825,873.5		
宮崎県	ウコン	2	63.0	60.0	1,500.0	9,000.0	小林市、日之影町
	オオムギワカバ	20	13,916.8	13,440.3	1,457.5	1,958,914.0	宮崎市、小林市、西都市、高鍋町、新富町、木城町、川南町
	カキドオシ	1	7.0	-	-	-	えびの市
	カミツレ	10	15.0	15.0	12.0	18.0	日向市
	クロモジ	1	6.0	-	-	-	日向市
	ドクダミ	2	7.0	7.0	14.3	10.0	綾町
	ニンニク	6	2,317.0	2,317.0	347.5	80,520.0	都城市、小林市、えびの市、川南町
	ハトムギ	1	3.0	-	-	-	日向市
	バジル (ホーリーバジル)	1	3.0	3.0	260.0	78.0	日向市
	ミシマサイコ	6	67.0	66.0	51.2	338.2	小林市、高原町
計	50	16,404.8	15,908.3	1,287.9	2,048,878.2		
鹿児島県	アザミ	1	7.0	3.0	3,140.0	942.0	徳之島町
	アシタバ	1	39.0	39.0	3,000.0	11,700.0	曾於市
	アロエ (キダチアロエ)	1	15.6	15.0	80.0	120.0	指宿市
	ウコン	17	283.0	283.0	701.3	19,847.0	屋久島町、奄美市笠利
	オオムギワカバ	34	27,870.0	36,070.0	606.3	2,187,090.0	日置市、南九州市、薩摩川内市、霧島市、志布志市、曾於市
	ガジュツ	106	2,317.9	2,317.9	1,432.0	331,931.0	屋久島町、西之表市、中種子町、南種子町
	クコ	1	5.8	5.0	40.0	20.0	指宿市
	クワ	13	1,973.2	1,959.2	366.6	71,829.0	鹿児島市、始良市、枕崎市、薩摩川内市、和泊町、知名町
	ケール	2	1,035.0	1,035.0	971.0	100,500.0	志布志市、曾於市
	ナタマメ	3	30.0	30.0	300.0	900.0	始良市
	バンジロウ (グアバ)	3	24.6	24.0	158.3	380.0	指宿市、奄美市
	ビワ	1	1.2	1.0	30.0	3.0	指宿市
	ボウフウ (ポタンボウフウ)	37	317.0	317.0	609.1	19,309.0	南さつま市、喜界町、伊仙町、曾於市、与論町
	ミシマサイコ	34	881.0	851.0	17.4	1,478.7	日置市、南九州市、南さつま市、薩摩川内市、鹿屋市
	モリンガ	45	815.0	815.0	359.1	29,265.0	南九州市、南大隅町、鹿屋市、肝付町、錦江町、十島村、曾於市、志布志市
	ルバーブ	1	78.0	78.0	20.1	157.0	始良市
計	300	35,693.3	43,843.1	633.0	2,775,471.7		
沖縄県	アロエ	1	16.5	9.9	505.1	500.0	本部町
	ウコン	210	5,033.9	4,929.6	151.4	74,627.0	国頭村、名護市、東村、南城市、本部町、宮古島市
	カミツレ	-	10.0	10.0	12.0	12.0	東村
	クミスクチン	3	21.0	21.0	242.9	510.0	南城市
	クミスクチン(生)	2	9.0	9.0	1,533.3	1,380.0	南城市
	クロニンジン	2	35.0	35.0	1,165.7	4,080.0	南城市
	クワ	1	3.5	3.5	-	-	南城市
クワ (シマグワ)	1	163.0	163.0	-	-	浦添市、糸満市、西原町	

都道府県名	薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村名
				(a)			
沖縄県	ゲットウ	1	4.5	4.5	-	-	南城市
	シチヘンゲ (カンバラ)	1	6.0	6.0	-	-	南城市
	ショウガ	4	69.4	69.4	1,513.0	10,500.0	本部町
	ツルレイシ (ゴージャ)	2	20.0	20.0	30.0	60.0	南城市
	トウガラシ	1	6.6	6.6	-	-	本部町
	ニワトコ (接骨草)	-	5.0	5.0	110.0	55.0	東村
	ノニ	7	305.0	305.0	728.3	22,212.0	南城市、多良間村
	バタフライピー	7	35.0	35.0	37.7	132.0	南城市
	ハママーチ	1	7.0	7.0	-	-	南城市
	ハママーチ(生)	1	4.5	4.5	-	-	南城市
	バジル (ホーリーバジル)	1	4.0	4.0	-	-	南城市
	バンジロウ (グアバ)	9	120.0	100.0	175.5	1,755.0	うるま市
	ボウフウ (ボタンボウフウ)	2	250.5	250.5	671.5	16,820.0	南城市、与那国町
	ボウフウ (ボタンボウフウ) (生)	2	9.0	9.0	1,488.9	1,340.0	南城市
	モリンガ(生)	4	51.0	51.0	623.5	3,180.0	本部町、南風原町、南城市
	ヤブカンゾウ (クワンソウ)	2	79.8	26.4	6,875.0	18,150.0	今帰仁村
	ヨモギ	6	45	45	503.6	2,266	南城市
	レモングラス	3	8.0	6.0	141.7	85.0	東村、南風原町
	レモングラス(生)	2	6.0	6.0	1,633.3	980.0	南城市
	ローズマリー	-	25.0	25.0	72.0	180.0	東村
	ローズマリー(生)	1	1.0	1.0	-	-	南風原町
ローゼル	-	3.0	0.0	0.0	0.0	東村	
その他	4	15.0	15.0	1,180.0	1,770.0	南城市	
計	281	6,372	6,183	259.7	160,594.0		

(3) 種類別栽培状況

① 総括表

薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	収穫面積	10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	都道府県名
			(a)			
アイ (タデアイ)	20	352.0	352.0	412.6	14,524.0	鳥取県、徳島県
アカザ	1	60.0	60.0	666.7	4,000.0	長野県
アカネ (ニホンアカネ)	1	2.0	2.0	-	-	鳥取県
アザミ	1	7.0	3.0	3,140.0	942.0	鹿児島県
アシタバ	3	239.1	139.1	2,997.9	41,701.0	滋賀県、広島県、鹿児島県
アマチャ	22	495.0	495.0	53.6	2,651.3	岩手県、奈良県、高知県
アロエ (キダチアロエ)	19	1,018.8	966.6	7,369.2	712,310.0	静岡県、高知県、奈良県、鹿児島県、沖縄県
イカリソウ	1	7.0	7.0	1.4	1.0	長野県
イブキジャコウソウ	1	1.0	1.0	10.0	1.0	岐阜県
ウコン	240	5,396.4	5,287.8	199.8	105,634.0	群馬県、山梨県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、宮崎県
ウスベニアオイ (ブルーマロー) (ムスクマロー)	3	1.7	1.5	86.7	13.0	山梨県、広島県
ウド	8	1,081.8	26.4	1,305.7	3,447.0	秋田県、山梨県、群馬県
エイジツ	8	76.5	27.7	21.7	60.0	秋田県
エキナセア・アングステイフォリア	6	34.0	29.0	175.5	509.0	鳥取県
エゴマ	27	224.8	224.8	48.2	1,084.0	島根県
オウギ	17	2,578.3	2,494.9	240.0	59,879.4	北海道
オウレン	15	1,809.0	76.9	100.3	771.0	山梨県、静岡県、富山県、福井県
オオムギ	2	117.0	117.0	266.2	3,115.0	山梨県、島根県
オオムギワカバ	179	67,942.8	75,666.3	1,050.7	7,950,366.1	島根県、大分県、宮崎県、鹿児島県
カキドオシ	7	8.0	1.0	170.0	17.0	岐阜県、宮崎県
ガジュツ	106	2,317.9	2,317.9	1,432.0	331,931.0	鹿児島県
カノコソウ	30	475.4	103.9	212.7	2,209.5	北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、三重県
カミツレ	33	757.5	754.5	152.2	11,480.0	秋田県、山梨県、岐阜県、島根県、広島県、宮崎県、沖縄県
カラスビシャク (ハンゲ)	2	1.8	1.8	22.2	4.0	鳥取県、広島県
カラハリスイカ	8	70.0	70.0	1,089.3	7,625.0	奈良県
カリン	6	65.7	55.5	178.6	991.0	山梨県、奈良県
カワラケツメイ (ハブソウ)	32	261.1	249.1	315.1	7,848.0	長野県、兵庫県、鳥取県、島根県
カワラヨモギ	13	146.3	146.3	104.7	1,532.0	岩手県、岐阜県、佐賀県、大分県
カンゾウ (ウラルカンゾウ)	8	1,084.9	22.0	-	-	北海道、秋田県、山梨県、三重県、兵庫県、広島県
キキョウ	57	1,117.2	937.4	7.6	716.5	秋田県、岐阜県、滋賀県、大分県
キク	12	156.4	153.7	-	-	山梨県、島根県
クワイモ	44	1,258.3	518.0	801.8	41,535.0	青森県、福島県、栃木県、山梨県、長野県、岐阜県、鳥取県、島根県、徳島県、佐賀県
キジツ (アマナツ) (ダイダイ) (ハッサク)	285	5,568.0	3,538.0	126.3	44,695.0	静岡県、和歌山県、香川県、愛媛県、高知県
キハダ	12	2,369.0	20.2	559.8	1,128.0	北海道、長野県、富山県、奈良県、島根県、愛媛県
キビ	1	3.0	2.8	357.1	100.0	山梨県
クコ	2	6.8	6.0	37.0	22.2	山梨県、鹿児島県
クヌギ	1	-	-	-	10,000.0	福岡県
クミスクチン	3	21.0	21.0	242.9	510.0	沖縄県
クミスクチン(生)	2	9.0	9.0	1,533.3	1,380.0	沖縄県
クロニンジン	2	35.0	35.0	1,165.7	4,080.0	沖縄県
クロモジ	5	58.0	2.0	3,690.0	738.0	岩手県、新潟県、山口県、宮崎県

薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	10a当たり		生産量 (Kg)	都道府県名
			収穫面積 (a)	収量 (kg)		
クワ (シマグワ)	41	8,925.8	8,248.9	324.1	267,324.4	福島県、山梨県、滋賀県、鳥取県、島根県、大分県、鹿児島県、沖縄県
クワ (枝)	1	250.0	140.0	343.6	4,810.0	島根県
ケール	46	3,017.2	2,971.5	1,559.1	463,280.0	北海道、茨城県、千葉県、長野県、京都府、島根県、岡山県、福岡県、大分県、鹿児島県
ゲットウ	1	4.5	4.5	-	-	沖縄県
ゲンノショウコ	8	22.5	22.5	285.4	642.1	岐阜県、京都府、岡山県、広島県
ゴマ (キンゴマ)	1	32.3	32.3	61.9	200.0	兵庫県
コガネバナ	1	0.2	0.0	0.0	0.0	広島県
サフラン	44	180.7	180.5	0.7	13.0	福島県、埼玉県、山梨県、福井県、島根県、長崎県、大分県
サンシュユ	10	4.0	3.7	10.8	4.0	岡山県
サンショウ	834	17,704.0	15,827.0	97.2	153,834.1	京都府、奈良県、和歌山、島根県、愛媛県、高知県
ジオウ	4	64.7	63.7	58.4	372.0	北海道、長野県、岐阜県
シソ	27	982.5	852.5	107.9	9,199.2	北海道、岩手県、静岡県、広島県、愛媛県、福岡県
シソ (種子)	1	30.0	30.0	-	-	静岡県
シチヘンゲ (カンバラ)	1	6.0	6.0	-	-	沖縄県
シャクヤク	236	4,833.7	1,062.7	394.1	41,877.4	北海道、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、長野県、新潟県、富山県、三重県、奈良県、島根県、岡山県、山口県、長崎県
ショウガ (カンキョウ)	29	281.7	178.7	836.5	14,949.0	山梨県、静岡県、兵庫県、島根県、佐賀県、熊本県、大分県、沖縄県
セネガ (ヒロハセネガ)	29	312.6	312.6	139.7	4,352.1	山梨県、兵庫県、奈良県、高知県
センキュウ	34	10,205.0	10,205.0	3.3	3,401.0	北海道、岩手県
センブリ	17	325.0	176.0	662.8	11,665.0	秋田県、長野県、高知県
ダイオウ	5	1,078.0	非	非	非	北海道
タチジャコウソウ (ワイルドタイ)	2	1.7	1.7	23.5	4.0	広島県
タマザキツラフジ	20	273.0	273.0	724.2	19,770.0	茨城県、広島県
タマネギ	1	20.0	20.0	1,953.5	3,907.0	島根県
ツルナ	8	80.0	80.0	562.5	4,500.0	長野県
ツルレイシ (ゴージャ)	2	20.0	20.0	30.0	60.0	沖縄県
トウガラシ	14	104.7	84.1	2.7	23.0	北海道、山梨県、静岡県、島根県、沖縄県
トウキ (ヤマトトウキ)	241	11,492.6	9,897.1	296.4	276,205.3	北海道、岩手県、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、山梨県、静岡県、新潟県、富山県、石川県、岐阜県、三重県、兵庫県、奈良県、和歌山、広島県、山口県、香川県、愛媛県、佐賀県、大分県
トウキ (生)	8	74.0	74.0	2,377.0	17,590.0	千葉県
トウキ (種子)	25	330.0	150.0	-	-	静岡県
トウキ (葉)	5	16.7	16.7	12.6	21.0	富山県
ドグダミ	49	222.0	200.0	210.3	4,206.2	山梨県、新潟県、岐阜県、滋賀県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、広島県、徳島県、佐賀県、宮崎県
トチュウ	21	230.0	210.0	104.8	2,200.0	新潟県、滋賀県、広島県
トリカブト	21	3,604.8	3,595.2	422.5	151,894.5	北海道、岩手県、山形県
ナガイモ	1	15.0	15.0	1,666.7	2,500.0	長野県
ナタマメ	28	169.8	169.8	263.7	4,477.0	山梨県、鳥取県、島根県、鹿児島県

薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	10a当たり		生産量 (Kg)	都道府県名
			収穫面積 (a)	収量 (kg)		
ナツメ	3	435.0	435.0	40.2	1,750.0	長野県、島根県
ナデシコ	1	1.5	1.5	80.0	12.0	広島県
ナンテン	102	458.0	458.0	103.0	4,716.0	岐阜県、奈良県
ナンテン(生)	74	-	-	-	3,596.0	岐阜県
ニオイテンジクア オイ(ローズゼラ ニウム)	1	0.3	0.3	1,000.0	30.0	広島県
ニワトコ	-	5.0	5.0	110.0	55.0	沖縄県
ニンニク	41	3,640.6	2,527.1	329.3	83,213.5	北海道、山梨県、京都府、鳥取 県、島根県、福岡県、宮崎県
ノニ	7	305.0	305.0	728.3	22,212.0	沖縄県
バジル(ホーリー バジル)	6	65.7	65.7	712.0	4,678.0	兵庫県、佐賀県、宮崎県、沖縄県
バタフライピー	7	35.0	35.0	37.7	132.0	沖縄県
ハッカ(ブラック ペパーミント)	1	0.5	0.5	20.0	1.0	広島県
ハトムギ	82	55,826.3	55,334.0	114.9	635,618.0	北海道、福島県、栃木県、富山 県、石川県、岐阜県、奈良県、鳥 取県、島根県、大分県、宮崎県
ハトムギ(若葉)	1	77.0	77.0	450.5	3,469.0	島根県
ハママーチ	1	7.0	7.0	-	-	沖縄県
ハママーチ(生)	1	4.5	4.5	-	-	沖縄県
バンジロウ(グア バ)	12	144.6	124.0	172.2	2,135.0	鹿児島県、沖縄県
ヒキオコシ(クロ バナヒキオコシ)	1	1.0	1.0	-	-	鳥取県
ヒヨドリバナ	1	4.5	4.5	66.7	30.0	広島県
ビワ	1	1.2	1.0	30.0	3.0	鹿児島県
ボウフウ(ボタン ボウフウ)	43	1,690.5	1,690.5	264.4	44,704.0	長野県、大分県、鹿児島県、沖縄 県
ボウフウ(ボタン ボウフウ)(生)	2	9.0	9.0	1,488.9	1,340.0	沖縄県
ホオノキ	1	683.0	非	非	非	北海道
マオウ	1	350.0	-	-	-	石川県
マカ	8	6.0	5.0	164.3	82.5	栃木県、埼玉県
マコモ	17	445.6	445.6	-	-	岩手県
ミシマサイコ	333	11,771.5	1,961.0	22.6	4,438.8	茨城県、群馬県、富山県、岐阜 県、三重県、広島県、徳島県、香 川県、愛媛県、高知県、佐賀県、 熊本県、宮崎県、鹿児島県
ムラサキ	17	20.6	20.6	76.7	158.0	青森県、宮城県
モッコウ	6	201.0	82.0	151.6	1,243.0	岩手県、秋田県
モモ	1	5.0	4.0	50.0	20.0	山梨県
モリンガ	50	1,054.3	1,043.6	571.6	59,650.8	滋賀県、鳥取県、佐賀県、鹿児島 県
モリンガ(生)	4	51.0	51.0	623.5	3,180.0	沖縄県
モロヘイヤ	27	111.7	63.8	370.5	2,364.0	山梨県、京都府、島根県
ヤーコン	40	215.8	210.5	941.4	19,815.8	北海道、茨城県、山梨県、長野 県、愛知県、鳥取県、島根県
ヤブカンゾウ(ク ワンソウ)	2	79.8	26.4	6,875.0	18,150.0	沖縄県
ヨモギ	98	1,151.7	1,148.7	360.0	41,358.0	山形県、長野県、新潟県、石川 県、岐阜県、愛知県、滋賀県、奈 良県、鳥取県、徳島県、沖縄県
ヨロイグサ	5	115.0	100.0	149.9	1,499.0	岩手県、秋田県、栃木県
ルバーブ	2	79.0	79.0	20.1	159.0	山梨県、鹿児島県
レモングラス	10	338.1	335.6	80.1	2,689.0	山梨県、佐賀県、長崎県、沖縄県
レモングラス(生)	2	6.0	6.0	1,633.3	980.0	沖縄県
レモンバーム	1	6.0	2.0	10.0	2.0	広島県
ローズマリー	2	26.4	26.2	73.3	192.0	山梨県、広島県、沖縄県
ローズマリー(生)	1	1.0	1.0	-	-	沖縄県
ローゼル	-	3.0	0.0	0.0	0.0	沖縄県
ワレモコウ	1	1.5	0.5	400.0	20.0	広島県

薬用作物名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	10a当たり		生産量 (Kg)	都道府県名
			収穫面積 (a)	収量 (kg)		
ドクダミ、ヒユウ ガトウキ、ミシマ サイコ、ローズマ	16	199.0	199.0	-	-	福岡県
その他	4	15.0	15.0	1,180.0	1,770.0	沖縄県
計	4,098	241,798.3	216,979.8	543.8	11,798,298.7	

② 都道府県別

薬用作物名	都道府県名	栽培戸数(戸)	栽培面積(a)	収穫面積	10a当たり収量(kg)	生産量(Kg)	生産市町村
				(a)			
アイ(タデアイ)	鳥取県	1	2.0	2.0	-	-	伯耆町
アイ	徳島県	19	350.0	350.0	415.0	14,524.0	美馬市、徳島市
計		20	352.0	352.0	412.6	14,524.0	
アカザ	長野県	1	60.0	60.0	666.7	4,000.0	長野市
計		1	60.0	60.0	666.7	4,000.0	
アカネ(ニホンアカネ)	鳥取県	1	2.0	2.0	-	-	伯耆町
計		1	2.0	2.0	0.0	0.0	
アザミ	鹿児島県	1	7.0	3.0	3,140.0	942.0	徳之島町
計		1	7.0	3.0	3,140.0	942.0	
アシタバ	滋賀県	1	200.0	100.0	3,000.0	30,000.0	東近江市
アシタバ	広島県	1	0.1	0.1	100.0	1.0	三原市
アシタバ	鹿児島県	1	39.0	39.0	3,000.0	11,700.0	曾於市
計		3	239.1	139.1	2,997.9	41,701.0	
アマチャ	岩手県	14	350.0	350.0	42.9	1,500.0	九戸村
アマチャ	奈良県	5	105.0	105.0	24.3	255.0	奈良市、下市町
アマチャ	高知県	3	40.0	40.0	224.1	896.3	四万十町
計		22	495.0	495.0	53.6	2,651.3	
アロエ(キダチアロエ)	静岡県	-	668.0	668.0	7,679.6	513,000.0	西伊豆町、松崎町
アロエ	奈良県	1	50.0	5.0	6,000.0	3,000.0	天理市
アロエ	高知県	16	268.7	268.7	7,282.8	195,690.0	四万十町、四万十市
アロエ(キダチアロエ)	鹿児島県	1	15.6	15.0	80.0	120.0	指宿市
アロエ	沖縄県	1	16.5	9.9	505.1	500.0	本部町
計		19	1,019	967	7,369	712,310	
イカリソウ	長野県	1	7.0	7.0	1.4	1.0	南木曾町
計		1	7.0	7.0	1.4	1.0	
イブキジャコウソウ	岐阜県	1	1.0	1.0	10.0	1.0	揖斐川町
計		1	1.0	1.0	10.0	1.0	
ウコン	群馬県	2	2.0	2.0	50.0	10.0	みなかみ町
ウコン	山梨県	4	7.5	6.2	2,822.6	1,750.0	大月市
ウコン	熊本県	5	7.0	7.0	571.4	400.0	八代市、宇土市
ウコン	宮崎県	2	63.0	60.0	1,500.0	9,000.0	小林市、日之影町
ウコン	鹿児島県	17	283.0	283.0	701.3	19,847.0	屋久島町、奄美市笠利
ウコン	沖縄県	210	5,033.9	4,929.6	151.4	74,627.0	国頭村、名護市、東村、南城市、本部町、宮古島市
計		240	5,396.4	5,287.8	199.8	105,634.0	
ウスベニアオイ(ブルーマロー)	山梨県	1	1.0	0.8	125.0	10.0	大月市
ウスベニアオイ(ムスクマロー)	広島県	2	0.7	0.7	42.9	3.0	三原市
計		3	1.7	1.5	86.7	13.0	
ウド	秋田県	1	1,054.0	非	-	3,318.0	北秋田市、能代市、藤里町
ウド(ドッカツ)	群馬県	1	10.0	10.0	129.0	129.0	東吾妻町
ウド	山梨県	6	17.8	16.4	-	-	北杜市
計		8	1,081.8	26.4	1,305.7	3,447.0	
エイジツ	秋田県	8	76.5	27.7	21.7	60.0	
計		8	76.5	27.7	21.7	60.0	
エキナセア・アングスティフォリア	鳥取県	6	34.0	29.0	175.5	509.0	鳥取市、八頭町、琴浦町、大山町
計		6	34.0	29.0	175.5	509.0	
エゴマ	島根県	27	224.8	224.8	48.2	1,084.0	出雲市
計		27	224.8	224.8	48.2	1,084.0	
オウギ	北海道	17	2,578.3	2,494.9	240.0	59,879.4	滝川市、様似町、小清水町、上士幌町、豊頃町
計		17	2,578.3	2,494.9	240.0	59,879.4	
オウレン	山梨県	1	1.0	0.9	11.1	1.0	大月市

薬用作物名	都道府県名	栽培戸数 (戸)	栽培面積		10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村
			(a)	収穫面積 (a)			
オウレン	静岡県	1	5.0	2.0	150.0	30.0	富士宮市
オウレン	富山県	1	3.0	0.0	0.0	0.0	上市町
オウレン	福井県	12	1,800.0	74.0	100.0	740.0	大野市
計		15	1,809.0	76.9	100.3	771.0	
オオムギ	山梨県	1	2.0	2.0	15.0	3.0	大月市
オオムギ	島根県	1	115.0	115.0	270.6	3,112.0	美郷町
計		2	117.0	117.0	266.2	3,115.0	
オオムギワカバ	島根県	2	647.0	647.0	762.6	49,343.0	江津市 美郷町
オオムギワカバ	大分県	123	25,509.0	25,509.0	1,472.0	3,755,019.1	豊後高田市、豊後大野市、宇佐市、杵築市、臼杵市、国東市
オオムギワカバ	宮崎県	20	13,916.8	13,440.3	1,457.5	1,958,914.0	宮崎市、小林市、西都市、高鍋町、新富町、木城町、川南町
オオムギワカバ	鹿児島県	34	27,870.0	36,070.0	606.3	2,187,090.0	日置市、南九州市、薩摩川内市、霧島市、志布志市、曾於市
計		179	67,942.8	75,666.3	1,050.7	7,950,366.1	
カキドオシ	岐阜県	6	1.0	1.0	170.0	17.0	揖斐川町
カキドオシ	宮崎県	1	7.0	0.0	0.0	0.0	えびの市
計		7	8.0	1.0	170.0	17.0	
ガジュツ	鹿児島県	106	2,317.9	2,317.9	1,432.0	331,931.0	屋久島町、西之表市、中種子町、南種子町
計		106	2,317.9	2,317.9	1,432.0	331,931.0	
カノコソウ	北海道	17	364.0	非	非	非	月形町、名寄市
カノコソウ	青森県	1	55.0	55.0	381.8	2,100.0	新郷村
カノコソウ	岩手県	2	33.0	33.0	17.8	58.8	岩手町
カノコソウ	秋田県	1	5.0	-	-	-	仙北市
カノコソウ	山形県	1	0.7	0.7	57.1	4.0	真室川町
カノコソウ	三重県	8	17.7	15.2	30.7	46.7	いなべ市、多気町
計		30	475.4	103.9	212.7	2,209.5	
カミツレ	秋田県	7	52.0	49.0	10.2	50.0	八峰町
カミツレ	山梨県	2	2.0	2.0	100.0	20.0	大月市
カミツレ	岐阜県	7	426.0	426.0	182.7	7,784.0	大垣市
カミツレ	島根県	6	252.0	252.0	142.5	3,590.0	大田市
カミツレ	広島県	1	0.5	0.5	120.0	6.0	三原市
カミツレ	宮崎県	10	15.0	15.0	12.0	18.0	日向市
カミツレ	沖縄県	-	10.0	10.0	12.0	12.0	東村
計		33	757.5	754.5	152.2	11,480.0	
カラスビシャク	鳥取県	1	1.0	1.0	-	-	伯耆町
カラスビシャク (ハンゲ)	広島県	1	0.8	0.8	50.0	4.0	三原市
計		2	1.8	1.8	22.2	4.0	
カラハリスイカ	奈良県	8	70.0	70.0	1,089.3	7,625.0	御所市
計		8	70.0	70.0	1,089.3	7,625.0	
カリン	山梨県	2	47.7	37.5	0.5	2.0	北杜市、大月市
カリン	奈良県	4	18.0	18.0	549.4	989.0	下市町
計		6	65.7	55.5	178.6	991.0	
カワラケツメイ (ハブソウ)	長野県	9	80.0	80.0	681.4	5,451.0	小川村、長野市
カワラケツメイ	兵庫県	5	15.1	15.1	-	-	宍粟市
カワラケツメイ	鳥取県	13	117.0	117.0	174.2	2,038.0	伯耆町、鳥取市、八頭町、琴浦町
カワラケツメイ	島根県	5	49.0	37.0	97.0	359.0	美郷町
計		32	261.1	249.1	315.1	7,848.0	
カワラヨモギ	岩手県	4	60.0	60.0	97.5	585.0	岩手町
カワラヨモギ	岐阜県	5	56.3	56.3	63.2	356.0	岐阜市
カワラヨモギ	佐賀県	2	20.0	20.0	171.5	343.0	玄海町
カワラヨモギ	大分県	2	10.0	10.0	248.0	248.0	杵築市
計		13	146.3	146.3	104.7	1,532.0	

薬用作物名	都道府県名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	10a当たり		生産量 (Kg)	生産市町村
				収穫面積 (a)	収量 (kg)		
カンゾウ	北海道	2	1,030.0	非	非	非	池田町、下川町
カンゾウ	秋田県	2	12.4	-	-	-	美郷町
カンゾウ	山梨県	1	2.0	2.0	-	-	笛吹市
カンゾウ	三重県	1	20.0	0.0	0.0	0.0	鈴鹿市
カンゾウ (ウラルカンゾウ)	兵庫県	1	20.0	20.0	-	-	香美町
カンゾウ	広島県	1	0.5	0.0	0.0	0.0	三原市
計		8	1,084.9	22.0	0.0	0.0	
キキョウ	秋田県	29	321.3	145.5	36.1	525.5	八峰町、美郷町
キキョウ	岐阜県	1	24.9	24.9	4.4	11.0	岐阜市
キキョウ	滋賀県	1	4.0	-	-	-	甲賀市
キキョウ	大分県	26	767.0	767.0	2.3	180.0	杵築市
計		57	1,117.2	937.4	7.6	716.5	
キク	山梨県	2	8.4	5.7	-	-	北杜市
キク	島根県	10	148.0	148.0	0.0	0.0	雲南市
計		12	156.4	153.7	0.0	0.0	
クワイモ	青森県	2	550.0	16.0	1,062.5	1,700.0	五所川原市
クワイモ	福島県	1	25.0	25.0	1,480.0	3,700.0	田村市滝根町
クワイモ	栃木県	1	200.0	50.0	165.0	825.0	那須町
クワイモ	山梨県	1	5.0	4.0	500.0	200.0	大月市
クワイモ	長野県	1	30.0	30.0	500.0	1,500.0	長野市
クワイモ	岐阜県	10	150.0	150.0	800.0	12,000.0	中津川市
クワイモ	鳥取県	5	73.3	18.0	207.2	373.0	伯耆町、琴浦町、八頭町
クワイモ	島根県	1	20.0	20.0	368.5	737.0	美郷町
クワイモ	徳島県	20	40.0	40.0	1,000.0	4,000.0	美馬市、つるぎ町
クワイモ	佐賀県	2	165.0	165.0	1,000.0	16,500.0	佐賀市
計		44	1,258.3	518.0	801.8	41,535.0	
キジツ (アマナツ)	静岡県	2	15.0	15.0	88.7	133.0	河津町
キジツ (ダイダイ)	静岡県	1	10.0	10.0	212.0	212.0	河津町
キジツ	和歌山	106	1,974.0	1,974.0	161.8	31,931.0	紀の川市、印南町
キジツ (ダイダイ)	香川県	18	389.0	-	-	-	三豊市
キジツ (ハッサク)	愛媛県	54	620.0	非	非	非	大洲市、内子町、愛南町
キジツ (ダイダイ)	高知県	104	2,560.0	1,539.0	80.7	12,419.0	大豊町、越知町、佐川町、仁淀川町、高知市
計		285	5,568.0	3,538.0	126.3	44,695.0	
キハダ	北海道	1	1,361.0	非	非	非	夕張市
キハダ	長野県	1	-	-	-	500.0	小谷村
キハダ	富山県	1	-	-	-	60.0	小矢部市
キハダ	奈良県	7	908.0	20.2	263.0	530.0	山添村、曾爾村、天川村
キハダ	島根県	1	-	-	-	38.0	美郷町
キハダ	愛媛県	1	100.0	非	非	非	西条市
計		12	2,369.0	20.2	559.8	1,128.0	
キビ	山梨県	1	3.0	2.8	357.1	100.0	大月市
計		1	3.0	2.8	357.1	100.0	
クコ	山梨県	1	1.0	1.0	22.0	2.2	大月市
クコ	鹿児島県	1	5.8	5.0	40.0	20.0	指宿市
計		2	6.8	6.0	37.0	22.2	
クヌギ	福岡県	1	-	-	-	10,000.0	八女市
計		1	-	-	-	10,000.0	
クミスクチン	沖縄県	3	21.0	21.0	242.9	510.0	南城市
計		3	21.0	21.0	242.9	510.0	
クミスクチン(生)	沖縄県	2	9.0	9.0	1,533.3	1,380.0	南城市
計		2	9.0	9.0	1,533.3	1,380.0	
クロニンジン	沖縄県	2	35.0	35.0	1,165.7	4,080.0	南城市
計		2	35.0	35.0	1,165.7	4,080.0	
クロモジ	岩手県	1	50.0	0.0	0.0	0.0	田野畑村
クロモジ	新潟県	2	-	-	-	736.0	新発田市
クロモジ	山口県	1	2.0	2.0	10.0	2.0	山口市

薬用作物名	都道府県名	栽培戸数 (戸)	栽培面積		10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村
			(a)	収穫面積 (a)			
クロモジ	宮崎県	1	6.0	0.0	0.0	0.0	日向市
計		5	58.0	2.0	3,690.0	738.0	
クワ	福島県	10	1,300.0	850.0	11.8	1,000.0	二本松市
クワ	山梨県	6	1,339.4	1,337.4	301.2	40,279.0	市川三郷町、甲斐市、大月市
クワ	滋賀県	1	600.0	600.0	1,000.0	60,000.0	東近江市
クワ	鳥取県	2	220.9	10.0	401.0	401.0	鳥取市、琴浦町
クワ	島根県	5	2,029.0	2,029.0	423.9	86,000.0	江津市 雲南市
クワ	大分県	2	1,296.8	1,296.8	60.3	7,815.4	豊後大野市、豊後高田市
クワ	鹿児島県	13	1,973.2	1,959.2	366.6	71,829.0	鹿児島市、姶良市、枕崎市、 薩摩川内市、和泊町、知名町
クワ	沖縄県	1	3.5	3.5	-	-	南城市
クワ(シマグワ)	沖縄県	1	163.0	163.0	-	-	浦添市、糸満市、西原町
計		41	8,925.8	8,248.9	324.1	267,324.4	
クワ(枝)	島根県	1	250.0	140.0	343.6	4,810.0	美郷町
計		1	250.0	140.0	343.6	4,810.0	
ケール	北海道	1	300.0	300.0	200.0	6,000.0	千歳市
ケール	茨城県	4	200.0	200.0	2,000.0	40,000.0	つくば市
ケール	千葉県	1	95.0	95.0	1,000.0	9,500.0	八街市
ケール	長野県	5	43.5	37.5	8,540.5	32,027.0	筑北村、大町市
ケール	京都府	7	39.7	-	-	-	精華町
ケール	島根県	1	20.0	20.0	757.0	1,514.0	美郷町
ケール	岡山県	1	60.4	60.4	860.9	5,200.0	新見市
ケール	福岡県	16	1,174.0	1,174.0	2,051.1	240,800.0	糸島市、宇美町、うきは市、 岡垣町
ケール	大分県	8	49.6	49.6	5,592.5	27,739.0	宇佐市、豊後高田市
ケール	鹿児島県	2	1,035.0	1,035.0	971.0	100,500.0	志布志市、曾於市
計		46	3,017.2	2,971.5	1,559.1	463,280.0	
ゲットウ	沖縄県	1	4.5	4.5	-	-	南城市
計		1	4.5	4.5	-	-	
ゲンノショウコ	岐阜県	2	1.0	1.0	60.0	6.0	揖斐川町
ゲンノショウコ	京都府	4	-	-	-	11.1	福知山市
ゲンノショウコ	岡山県	1	20.5	20.5	300.0	615.0	真庭市
ゲンノショウコ	広島県	1	1.0	1.0	100.0	10.0	三原市
計		8	22.5	22.5	285.4	642.1	
ゴマ(キングマ)	兵庫県	1	32.3	32.3	61.9	200.0	佐用町
計		1	32.3	32.3	61.9	200.0	
コガネバナ	広島県	1	0.2	0.0	0.0	0.0	三原市
計		1	0.2	0.0	0.0	0.0	
サフラン	福島県	1	10.0	10.0	0.3	0.3	喜多方市
サフラン	埼玉県	8	3.6	3.6	0.4	0.1	鶴ヶ島市
サフラン	山梨県	1	10.0	10.0	0.5	0.5	甲府市
サフラン	福井県	1	0.5	0.3	1.4	0.04	鯖江市
サフラン	島根県	2	1.6	1.6	0.5	0.1	吉賀町
サフラン	長崎県	1	5.0	5.0	6.0	3.0	西海市
サフラン	大分県	30	150.0	150.0	0.6	9.0	竹田市
計		44	180.7	180.5	0.7	13.0	
サンシュユ	岡山県	10	4.0	3.7	10.8	4.0	和気町
計		10	4.0	3.7	10.8	4.0	
サンショウ	京都府	5	3.0	-	-	5.0	精華町、福知山市
サンショウ	奈良県	76	1,001.0	1,001.0	41.3	4,133.0	下市町
サンショウ	和歌山県	537	10,900.0	10,200.0	99.9	101,906.1	海南市、紀美野町、有田川町
サンショウ	島根県	6	265.0	265.0	0.0	0.0	雲南市
サンショウ	愛媛県	53	680.0	非	非	非	大洲市、西予市、久万高原 町、内子町
サンショウ	高知県	157	4,855.0	4,361.0	109.6	47,790.0	越知町、日高村、大豊町、 宿毛市、佐川町、仁淀川町、 高知市
計		834	17,704.0	15,827.0	97.2	153,834.1	
ジオウ	北海道	1	15.0	15.0	191.3	287.0	新得町

薬用作物名	都道府県名	栽培戸数 (戸)	栽培面積		10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村
			(a)	収穫面積 (a)			
ジオウ	長野県	1	4.0	3.0	166.7	50.0	上田市
ジオウ	岐阜県	2	45.7	45.7	7.7	35.0	岐阜市
計		4	64.7	63.7	58.4	372.0	
シソ	北海道	11	256.0	256.0	40.0	1,025.2	旭川市
シソ	岩手県	8	168.5	168.5	190.3	3,206.0	岩手町、八幡平市
シソ	静岡県	1	30.0	30.0	26.7	80.0	牧之原市
シソ	広島県	1	1.0	1.0	80.0	8.0	三原市
シソ	愛媛県	5	130.0	-	-	-	大洲市
シソ	福岡県	1	397.0	397.0	122.9	4,880.0	筑後市
計		27	982.5	852.5	107.9	9,199.2	
シソ(種子)	静岡県	1	30.0	30.0	-	-	試験栽培
計		1	30.0	30.0	-	-	
シチヘンゲ(カンバラ)	沖縄県	1	6.0	6.0	-	-	南城市
計		1	6.0	6.0	0.0	0.0	
シャクヤク	北海道	1	10.0	10.0	2,758.0	2,758.0	新篠津村
シャクヤク	青森県	1	非	非	非	非	六戸町
シャクヤク	岩手県	15	576.5	353.5	77.0	2,723.0	盛岡市、八幡平市、葛巻町、岩手町、矢巾町
シャクヤク	秋田県	24	1,511.0	-	-	-	仙北市
シャクヤク	山形県	1	50.0	50.0	0.0	0.0	鮭川村
シャクヤク	福島県	1	46.7	46.7	351.3	1,640.4	只見町
シャクヤク	茨城県	1	3.0	0.0	0.0	0.0	常陸太田市
シャクヤク	長野県	6	110.0	110.0	281.5	3,097.0	-
シャクヤク	新潟県	23	414.3	34.9	800.6	2,794.0	新発田市、魚沼市
シャクヤク	富山県	118	700.1	84.0	1,066.1	8,955.0	富山市、魚津市、氷見市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、入善町、朝日町
シャクヤク	三重県	3	200.0	20.0	2,000.0	4,000.0	鈴鹿市
シャクヤク	奈良県	4	398.0	93.0	155.1	1,442.0	橿原市、明日香村、下市町
シャクヤク	島根県	18	328.0	43.0	629.1	2,705.0	雲南市 美郷町
シャクヤク	岡山県	17	145.7	23.0	1,160.9	2,670.0	井原市
シャクヤク	山口県	2	325.4	194.6	467.3	9,093.0	阿武町
シャクヤク	長崎県	1	15.0	0.0	0.0	0.0	西海市
計		236	4,833.7	1,062.7	394.1	41,877.4	
ショウガ	山梨県	2	9.1	2.1	-	-	北杜市
ショウガ	静岡県	6	32.0	0.0	0.0	0.0	川根本町
ショウガ	兵庫県	1	6.0	6.0	-	-	香美町
ショウガ	島根県	4	69.0	69.0	128.8	889.0	雲南市 美郷町
ショウガ	佐賀県	3	15.1	15.1	-	-	武雄市
ショウガ	大分県	2	17.1	17.1	2,081.9	3,560.0	佐伯市
ショウガ(カンキョウ)	熊本県	7	64.0	非	非	非	球磨村
ショウガ	沖縄県	4	69.4	69.4	1,513.0	10,500.0	本部町
計		29	281.7	178.7	836.5	14,949.0	
セネガ(ヒロハセネガ)	山梨県	1	1.0	1.0	0.0	0.0	大月市
セネガ	兵庫県	19	229.6	229.6	142.2	3,266.0	丹波市
セネガ	奈良県	1	10.0	10.0	93.6	93.6	宇陀市
セネガ	高知県	8	72.0	72.0	137.8	992.5	四万十町、三原村
計		29	312.6	312.6	139.2	4,352.1	
センキュウ	北海道	26	10,065.0	10,065.0	非	非	厚沢部町、網走市、帯広市、音更町、芽室町
センキュウ	岩手県	8	140.0	140.0	242.9	3,401.0	盛岡市、八幡平市、岩手町
計		34	10,205.0	10,205.0	3.3	3,401.0	
センブリ	秋田県	2	2.0	-	-	-	美郷町
センブリ	長野県	4	23.0	23.0	47.0	108.2	青木村、原村
センブリ	高知県	11	300.0	153.0	755.3	11,556.8	四万十町
計		17	325.0	176.0	662.8	11,665.0	
ダイオウ	北海道	5	1,078.0	非	非	非	池田町

薬用作物名	都道府県名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	10aあたり		生産量 (Kg)	生産市町村
				収穫面積 (a)	収量 (kg)		
計		5	1,078.0	非	非	非	
タチジャコウソウ (ワイルドタイム)	広島県	2	1.7	1.7	23.5	4.0	三原市
計		2	1.7	1.7	23.5	4.0	
タマサキツヅラフジ	茨城県	19	270.0	270.0	729.6	19,700.0	石岡市
タマザキツヅラフジ	広島県	1	3.0	3.0	233.3	70.0	三原市
計		20	273.0	273.0	724.2	19,770.0	
タマネギ	島根県	1	20.0	20.0	1,953.5	3,907.0	美郷町
計		1	20.0	20.0	1,953.5	3,907.0	
ツルナ	長野県	8	80.0	80.0	562.5	4,500.0	長野市
計		8	80.0	80.0	562.5	4,500.0	
ツルレイシ(ゴーヤ)	沖縄県	2	20.0	20.0	30.0	60.0	南城市
計		2	20.0	20.0	30.0	60.0	
トウガラシ	北海道	1	0.1	-	-	3.0	森町
トウガラシ	山梨県	9	72.0	56.5	3.5	20.0	北杜市、大月市
トウガラシ	静岡県	1	5.0	0.0	0.0	0.0	川根本町
トウガラシ	島根県	2	21.0	21.0	0.0	0.0	雲南市
トウガラシ	沖縄県	1	6.6	6.6	-	-	本部町
計		14	104.7	84.1	2.7	23.0	
トウキ	北海道	34	7,759.1	6,372.1	294.9	187,910.0	夕張市、滝川市、千歳市、苫小牧市、豊頃町、八雲町、網走市、帯広市、大樹町
トウキ	岩手県	6	45.0	45.0	209.8	944.0	盛岡市、八幡平市
トウキ	宮城県	1	0.1	0.1	0.0	0.0	南三陸町
トウキ	茨城県	6	86.0	76.0	42.1	320.0	神栖市、鹿嶋市、行方市、石岡市
トウキ	栃木県	4	114.0	106.0	73.0	774.0	益子町、壬生町
トウキ	群馬県	75	2,848.0	2,816.0	291.8	82,184.1	みなかみ町、昭和村、沼田市、川場村、高山村、長野原町、東吾妻町、渋川市赤城町、中之条町
トウキ	埼玉県	1	1.0	0.0	0.0	0.0	飯能市
トウキ	山梨県	1	1.0	0.9	111.1	10.0	大月市
トウキ	静岡県	1	40.0	40.0	12.5	50.0	牧之原市
トウキ	新潟県	1	5.0	5.0	6.2	3.1	柏崎市
トウキ	富山県	5	19.6	15.8	101.3	160.0	小矢部市、舟橋村、上市町
トウキ	石川県	8	5.0	5.0	-	-	白山市
トウキ	岐阜県	4	4.0	4.0	65.0	26.0	揖斐川町
トウキ	三重県	1	20.0	20.0	150.0	300.0	鈴鹿市
トウキ	兵庫県	16	92.7	83.3	71.6	596.4	丹波市
トウキ	奈良県	56	232.0	196.8	92.3	1,815.7	奈良市、宇陀市、橿原市、桜井市、高取市、明日香村、五條市、吉野町、下市町、下北山村
トウキ(大和当帰)	和歌山	2	25.0	25.0	160.0	400.0	高野町
トウキ	広島県	1	3.0	3.0	100.0	30.0	広島市
トウキ	山口県	2	87.5	28.5	129.5	369.0	阿武町
トウキ(ヤマトトウキ)	香川県	8	22.6	22.6	-	-	三豊市
トウキ	愛媛県	6	50.0	非	非	非	今治市、西予市
トウキ	佐賀県	1	7.0	7.0	61.4	43.0	玄海町
トウキ	大分県	1	25.0	25.0	108.0	270.0	由布市
計		241	11,492.6	9,897.1	279.1	276,205.3	
トウキ(生)	千葉県	8	74.0	74.0	2,377.0	17,590.0	旭市、山武市、八街市、東庄町
計		8	74.0	74.0	2,377.0	17,590.0	
トウキ(種子)	静岡県	25	330.0	150.0	-	-	牧之原市、御前崎市、菊川市、袋井市、浜松市、森町、春野町
計		25	330.0	150.0	-	-	

薬用作物名	都道府県名	栽培戸数 (戸)	栽培面積 (a)	10a当たり		生産量 (Kg)	生産市町村
				収穫面積 (a)	収量 (kg)		
トウキ (葉)	富山県	5	16.7	16.7	12.6	21.0	富山市、上市町
計		5	16.7	16.7	12.6	21.0	
ドクダミ	山梨県	1	0.1	0.1	5.0	0.1	大月市
ドクダミ	新潟県	4	23.0	23.0	938.3	2,158.0	長岡市、十日町市、上越市
ドクダミ	岐阜県	10	5.0	5.0	84.0	42.0	揖斐川町
ドクダミ	滋賀県	10	68.0	50.0	141.1	705.7	甲賀市
ドクダミ	京都府	7	-	-	-	69.4	福知山市
ドクダミ	兵庫県	1	7.9	7.9	-	-	宍粟市
ドクダミ	鳥取県	3	5.0	5.0	784.0	392.0	琴浦町、伯耆町
ドクダミ	島根県	1	6.0	2.0	550.0	110.0	美郷町
ドクダミ	広島県	1	1.0	1.0	100.0	10.0	三原市
ドクダミ	徳島県	3	30.0	30.0	40.0	120.0	三好市
ドクダミ	佐賀県	6	69.0	69.0	85.4	589.0	玄海町
ドクダミ	宮崎県	2	7.0	7.0	14.3	10.0	綾町
計		49	222.0	200.0	210.3	4,206.2	
トチュウ	新潟県	19	140.0	140.0	107.1	1,500.0	胎内市
トチュウ	滋賀県	1	40.0	20.0	250.0	500.0	東近江市
トチュウ	広島県	1	50.0	50.0	40.0	200.0	安芸太田町
計		21	230.0	210.0	104.8	2,200.0	
トリカブト	北海道	13	3,523.8	3,516.2	424.4	149,215.5	江別市、千歳市、豊浦町
トリカブト (オクト リカブト、ハナトリ カブト)	岩手県	7	79.0	79.0	339.1	2,679.0	盛岡市、岩手町
トリカブト	山形県	1	2.0	0.0	-	-	寒河江市
計		21	3,604.8	3,595.2	422.5	151,894.5	
ナガイモ	長野県	1	15.0	15.0	1,666.7	2,500.0	長野市
計		1	15.0	15.0	1,666.7	2,500.0	
ナタマメ	山梨県	4	4.0	4.0	240.0	96.0	大月市
ナタマメ	鳥取県	19	131.3	131.3	251.8	3,306.0	鳥取市、八頭町、智頭町、琴浦町、倉吉市
ナタマメ	島根県	2	4.5	4.5	388.9	175.0	出雲市
ナタマメ	鹿児島県	3	30.0	30.0	300.0	900.0	姪良市
計		28	169.8	169.8	263.7	4,477.0	
ナツメ	長野県	1	395.0	395.0	44.3	1,750.0	箕輪町、伊那市、岡谷市
ナツメ	島根県	2	40.0	40.0	0.0	0.0	雲南市
計		3	435.0	435.0	40.2	1,750.0	
ナデシコ	広島県	1	1.5	1.5	80.0	12.0	三原市
計		1	1.5	1.5	80.0	12.0	
ナンテン	岐阜県	74	-	-	-	127.0	郡上市
ナンテン	奈良県	28	458.0	458.0	100.2	4,589.0	下市町
計		102	458.0	458.0	103.0	4,716.0	
ナンテン (生)	岐阜県	74	-	-	-	3,596.0	郡上市
計		74	-	-	-	3,596.0	
ニオイテンジクアオイ (ローズゼラニウム)	広島県	1	0.3	0.3	1,000.0	30.0	三原市
計		1	0.3	0.3	1,000.0	30.0	
ニワトコ (接骨草)	沖縄県	-	5.0	5.0	110.0	55.0	東村
計		-	5.0	5.0	110.0	55.0	
ニンニク	北海道	3	1,015.0	-	-	1,313.5	森町
ニンニク	山梨県	24	239.1	168.1	4.8	80.0	北杜市、大月市
ニンニク	京都府	2	3.3	-	-	-	精華町
ニンニク	鳥取県	1	24.2	-	-	-	鳥取市
ニンニク	島根県	4	14.0	14.0	0.0	0.0	雲南市
ニンニク	福岡県	1	28.0	28.0	464.3	1,300.0	大任町
ニンニク	宮崎県	6	2,317.0	2,317.0	347.5	80,520.0	都城市、小林市、えびの市、川南町
計		41	3,640.6	2,527.1	329.3	83,213.5	
ノニ	沖縄県	7	305.0	305.0	728.3	22,212.0	南城市、多良間村

薬用作物名	都道府 県名	栽培戸数 (戸)	栽培面積		10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村
			(a)	収穫面積 (a)			
計		7	305.0	305.0	728.3	22,212.0	
バジル	兵庫県	2	48.7	48.7	944.6	4,600.0	佐用町
バジル (ホーリーバ ジル)	佐賀県	2	10.0	10.0	0.0	0.0	玄海町
バジル (ホーリーバ ジル)	宮崎県	1	3.0	3.0	260.0	78.0	日向市
バジル (ホーリーバ ジル)	沖縄県	1	4.0	4.0	-	-	南城市
計		6	65.7	65.7	712.0	4,678.0	
バタフライピー	沖縄県	7	35.0	35.0	37.7	132.0	南城市
計		7	35.0	35.0	37.7	132.0	
ハッカ (ブラックペ パーミント)	広島県	1	0.5	0.5	20.0	1.0	三原市
計		1	0.5	0.5	20.0	1.0	
ハトムギ	北海道	18	8,204.3	7,755.0	100.9	78,283.0	八雲町、乙部町、旭川市、鷹 栖町、剣淵町、幌加内町
ハトムギ	福島県	1	422.0	422.0	58.8	2,480.0	泉崎村
ハトムギ	栃木県	13	9,791.2	9,791.2	162.7	159,259.0	鹿沼市、小山市、佐野市
ハトムギ	富山県	-	26,084.0	26,084.0	91.9	239,800.0	朝日町、上市町、小矢部市、 高岡市、氷見市
ハトムギ	石川県	18	1,250.0	1,250.0	151.2	18,900.0	能美市、羽咋市、宝達志水町
ハトムギ	岐阜県	1	84.7	84.7	11.2	95.0	岐阜市
ハトムギ	奈良県	1	20.0	20.0	100.0	200.0	天理市、奈良市
ハトムギ	鳥取県	5	1,943.0	1,943.0	144.7	28,120.0	鳥取市、八頭町
ハトムギ	島根県	13	5,011.0	4,971.0	172.9	85,948.0	出雲市、江津市、美郷町
ハトムギ	大分県	11	3,013.1	3,013.1	74.8	22,533.0	豊後高田市、由布市、大分市
ハトムギ	宮崎県	1	3.0	0.0	0.0	0.0	日向市
計		82	55,826.3	55,334.0	114.9	635,618.0	
ハトムギ (若葉)	島根県	1	77.0	77.0	450.5	3,469.0	美郷町
計		1	77.0	77.0	450.5	3,469.0	
ハママーチ	沖縄県	1	7.0	7.0	-	-	南城市
計		1	7.0	7.0	-	-	
ハママーチ(生)	沖縄県	1	4.5	4.5	-	-	南城市
計		1	4.5	4.5	-	-	
バンジロウ (グア バ)	鹿児島県	3	24.6	24.0	158.3	380.0	指宿市、奄美市
バンジロウ (グア バ)	沖縄県	9	120.0	100.0	175.5	1,755.0	うるま市
計		12	144.6	124.0	172.2	2,135.0	
ヒキオコシ (クロバ ナヒキオコシ)	鳥取県	1	1.0	1.0	-	-	伯耆町
計		1	1.0	1.0	-	-	
ヒヨドリバナ	広島県	1	4.5	4.5	66.7	30.0	三原市
計		1	4.5	4.5	66.7	30.0	
ビワ	鹿児島県	1	1.2	1.0	30.0	3.0	指宿市
計		1	1.2	1.0	30.0	3.0	
ボウフウ	長野県	1	39.0	39.0	19.2	75.0	南木曾町
ボウフウ (ボタンボ ウフウ)	大分県	3	1,084.0	1,084.0	78.4	8,500.0	豊後高田市
ボウフウ (ボタンボ ウフウ)	鹿児島県	37	317.0	317.0	609.1	19,309.0	南さつま市、喜界町、伊仙 町、曾於市、与論町
ボウフウ (ボタンボ ウフウ)	沖縄県	2	250.5	250.5	671.5	16,820.0	南城市、与那国町
計		43	1,690.5	1,690.5	264.4	44,704.0	
ボウフウ (ボタンボ ウフウ) (生)	沖縄県	2	9.0	9.0	1,488.9	1,340.0	南城市
計		2	9.0	9.0	1,488.9	1,340.0	
ホオノキ	北海道	1	683.0	非	非	非	夕張市
計		1	683.0	非	非	非	
マオウ	石川県	1	350.0	-	-	-	志賀町
計		1	350.0	-	-	-	
マカ	栃木県	7	5.0	5.0	164.3	82.5	鹿沼市

薬用作物名	都道府県名	栽培戸数 (戸)	栽培面積		10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村
			(a)	収穫面積 (a)			
マカ	埼玉県	1	1.0	0.0	0.0	0.0	飯能市
計		8	6.0	5.0	164.3	82.5	
マコモ	岩手県	17	445.6	445.6	-	-	一関市
計		17	445.6	445.6	-	-	
ミシマサイコ (サイコ)	茨城県	12	190.0	190.0	36.8	700.0	石岡市
ミシマサイコ	群馬県	4	75.0	75.0	9.4	70.6	高山村
ミシマサイコ	富山県	3	6.0	5.5	10.9	6.0	小矢部市、舟橋村、上市町
ミシマサイコ	岐阜県	1	18.7	18.7	6.4	12.0	岐阜市
ミシマサイコ	三重県	8	4.8	4.8	-	-	松阪市
ミシマサイコ (サイコ)	広島県	1	1.0	1.0	50.0	5.0	広島市
ミシマサイコ	徳島県	15	233.0	113.0	26.8	302.3	美馬市
ミシマサイコ	香川県	44	107.0	107.0	-	-	三豊市、高松市
ミシマサイコ	愛媛県	37	810.0	非	非	非	今治市、西条市、大洲市、西予市、久万高原町、内子町
ミシマサイコ	高知県	23	699.0	511.0	28.2	1,439.0	越知町、南国市、香南市、土佐市、大豊町、宿毛市、四万十町、大月町
ミシマサイコ	佐賀県	2	18.0	18.0	48.3	87.0	玄海町
ミシマサイコ	熊本県	143	8,661.0	非	非	非	あさぎり町、多良木町、人吉市、錦町、湯前町、相良町、山江村、球磨村
ミシマサイコ	宮崎県	6	67.0	66.0	51.2	338.2	小林市、高原町
ミシマサイコ	鹿児島県	34	881.0	851.0	17.4	1,478.7	日置市、南九州市、南さつま市、薩摩川内市、鹿屋市
計		333	11,771.5	1,961.0	22.6	4,438.8	
ムラサキ	青森県	15	0.6	0.6	-	-	十和田市
ムラサキ	宮城県	2	20.0	20.0	79.0	158.0	加美町
計		17	20.6	20.6	76.7	158.0	
モッコウ	岩手県	3	162.0	82.0	151.6	1,243.0	岩手町
モッコウ	秋田県	3	39.0	-	-	-	仙北市
計		6	201.0	82.0	151.6	1,243.0	
モモ	山梨県	1	5.0	4.0	50.0	20.0	大月市
計		1	5.0	4.0	50.0	20.0	
モリンガ	滋賀県	1	100.0	100.0	3,000.0	30,000.0	東近江市
モリンガ	鳥取県	1	10.7	-	-	-	鳥取市
モリンガ	佐賀県	3	128.6	128.6	30.0	385.8	佐賀市
モリンガ	鹿児島県	45	815.0	815.0	359.1	29,265.0	南九州市、南大隅町、鹿屋市、肝付町、錦江町、十島村、曾於市、志布志市
計		50	1,054.3	1,043.6	571.6	59,650.8	
モリンガ(生)	沖縄県	4	51.0	51.0	623.5	3,180.0	本部町、南風原町、南城市
計		4	51.0	51.0	623.5	3,180.0	
モロヘイヤ	山梨県	4	56.7	23.8	0.8	2.0	北杜市、大月市
モロヘイヤ	京都府	5	15.0	-	-	-	精華町
モロヘイヤ	島根県	18	40.0	40.0	590.5	2,362.0	出雲市 雲南市
計		27	111.7	63.8	370.5	2,364.0	
ヤーコン	北海道	4	88.0	88.0	1,236.4	10,880.5	留寿都村、森町、置戸町
ヤーコン	茨城県	2	40.0	40.0	1,500.0	6,000.0	常総市、阿見町
ヤーコン	山梨県	20	50.3	45.0	537.8	2,420.0	北杜市、富士吉田市、大月市、鳴沢村
ヤーコン	長野県	5	20.0	20.0	254.0	508.0	長野市、信濃町
ヤーコン	愛知県	6	6.0	6.0	-	-	碧南市
ヤーコン	鳥取県	1	3.5	3.5	20.9	7.3	八頭町
ヤーコン	島根県	2	8.0	8.0	0.0	0.0	雲南市
計		40	215.8	210.5	941.4	19,815.8	
ヤブカンゾウ (クワンソウ)	沖縄県	2	79.8	26.4	6,875.0	18,150.0	今帰仁村
計		2	79.8	26.4	6,875.0	18,150.0	
ヨモギ	山形県	5	300.0	300.0	333.3	10,000.0	鮭川村

薬用作物名	都道府 県名	栽培戸数 (戸)	栽培面積		10a当たり 収量 (kg)	生産量 (Kg)	生産市町村
			(a)	収穫面積 (a)			
ヨモギ	長野県	1	20.0	20.0	1,000.0	2,000.0	長野市
ヨモギ	新潟県	42	558.8	556.8	209.9	11,685.0	長岡市、小千谷市、糸魚川市、上越市
ヨモギ	石川県	11	-	-	-	511.0	輪島市、穴水町
ヨモギ	岐阜県	10	40.0	40.0	50.0	200.0	揖斐川町
ヨモギ	愛知県	1	3.0	2.0	40.0	8.0	岡崎市
ヨモギ	滋賀県	2	35.0	35.0	628.6	2,200.0	長浜市、東近江市
ヨモギ	奈良県	16	113.9	113.9	564.7	6,432.0	宇陀市、山添村、東吉野村、曾爾村、御杖村
ヨモギ (カズサヨモギ)	鳥取県	1	5.0	5.0	-	-	伯耆町
ヨモギ	徳島県	3	31.0	31.0	1,953.5	6,056.0	美馬市、つるぎ町
ヨモギ	沖縄県	6	45.0	45.0	503.6	2,266.0	南城市
計		98	1,151.7	1,148.7	360.0	41,358.0	
ヨロイグサ	岩手県	2	50.0	50.0	107.2	536.0	岩手町
ヨロイグサ	秋田県	2	15.0	-	-	-	仙北市
ヨロイグサ	栃木県	1	50.0	50.0	192.6	963.0	益子町
計		5	115.0	100.0	149.9	1,499.0	
ルバーブ	山梨県	1	1.0	1.0	20.0	2.0	大月市
ルバーブ	鹿児島県	1	78.0	78.0	20.1	157.0	始良市
計		2	79.0	79.0	20.1	159.0	
レモングラス	山梨県	2	4.0	3.5	34.3	12.0	大月市
レモングラス	佐賀県	4	26.1	26.1	-	-	武雄市
レモングラス	長崎県	1	300.0	300.0	86.4	2,592.0	五島市
レモングラス	沖縄県	3	8.0	6.0	141.7	85.0	東村、南風原町
計		10	338.1	335.6	80.1	2,689.0	
レモングラス(生)	沖縄県	2	6.0	6.0	1,633.3	980.0	南城市
計		2	6.0	6.0	1,633.3	980.0	
レモンバーム	広島県	1	6.0	2.0	10.0	2.0	三原市
計		1	6.0	2.0	10.0	2.0	
ローズマリー	山梨県	1	1.0	0.8	62.5	5.0	大月市
ローズマリー	広島県	1	0.4	0.4	175.0	7.0	三原市
ローズマリー	沖縄県	-	25.0	25.0	72.0	180.0	東村
計		2	26.4	26.2	73.3	192.0	
ローズマリー(生)	沖縄県	1	1.0	1.0	-	-	南風原町
計		1	1.0	1.0	-	-	
ローゼル	沖縄県	-	3.0	0.0	0.0	0.0	東村
計		-	3.0	0.0	0.0	0.0	
ワレモコウ	広島県	1	1.5	0.5	400.0	20.0	三原市
計		1	1.5	0.5	400.0	20.0	
ドクダミ、ヒュウガトウキ、ミシマサイコ、ローズマリー	福岡県	16	199.0	199.0	-	-	宇美町
その他	沖縄県	4	15.0	15.0	1,180.0	1,770.0	南城市

2 薬用作物の出荷形態と出荷規格（令和5年度）

薬用作物名	都道府県	出荷形態	出荷規格 (重量、長さ、太さ、色調等)
アイ（タデアイ）	鳥取県	種子、苗、乾燥品	長さ、太さ他
アカネ（ニホンアカネ）	鳥取県	種子、苗、乾燥品	長さ、太さ他
アザミ	鹿児島県	生葉	長さ40cm以上の生葉、枯れまたは薄いものは、出荷不可
アシタバ	鹿児島県	加工	外観は緑色のチップ状、12mmチップ、水分5%以下、20kg段ボール
アマチャ	高知県	乾燥（葉）	10kg/箱
アロエ	奈良県	各種加工品（自社加工）	
	高知県	生葉	15kg/コンテナ
イブキジャコウソウ	岐阜県	乾燥後、袋詰めして出荷	乾燥後、約2cmに切る
ウコン（白ウコン）	宮崎県	乾燥	—
	鹿児島県	30kg袋詰め	卵大の大きさと腐敗のないもの
		粉末	60g（袋詰め）
	沖縄県	・生産者→還元フーズ（洗浄・乾燥・粉碎・微粉碎）→アウトソース→販売	洗浄・親芋子芋分別・親芋根切・囊袋11kg詰め・コンテナ24kg詰め
		生産者（生） ↓ 加工業者（乾燥、製品化） ↓ 直販売／卸	粉末/錠剤
ウド（ドクカツ）	岩手県	契約により指定された形（紙袋・ダンボール箱）	契約先の規格による
	秋田県	非	非
	群馬県	契約先の指導に基づき出荷	
エキナセア	鳥取県	乾燥後、袋詰め	葉を乾燥カット詰め
エゴマ	岐阜県	エゴマ油を瓶詰め出荷。 110g、150g、300g	110g/瓶、150g/瓶、300g/瓶
	岐阜県	エゴマの実を袋詰め出荷。 100gで販売	袋詰め100g
		炒りエゴマを袋詰め出荷。 100g	袋詰め100g
		エゴマを搾油してエゴマ油（食用油）として出荷	45g/瓶
	兵庫県	炒りエゴマを袋詰め出荷	100g
オウギ（ナイモウオウギ）	北海道	精油	瓶詰め70ml および袋入り100g
		コンテナ	契約先の指導により出荷
		収穫後葉を切り落とし鉄コンテナで出荷	
		風乾	
		コンテナ500kg	洗浄 乾燥
メッシュコンテナ		出荷先の規格に基づく	
オウレン	静岡県	紙袋	10kg製品については、納品先にて検品し合格品のみ出荷
	福井県	根茎（磨きオウレン）	磨きオウレン（乾燥状態）
大麦若葉	島根県	原材料	微粉碎・殺菌した大麦若葉10kgをポリエチレン袋に入れて段ボールに詰める
		搾汁、乾燥	搾汁：固形分4%以上、120充填、冷凍（-20℃）。乾燥：水分率6%以下、10kg袋詰め
	大分県	相対取引	実需者へ出荷
	宮崎県	生草	—
		青刈り	30～40cm高
		乾燥チップ・冷凍	30cm以上40cm未満
		フレコンバック	1トン単位
	生葉		雑草・黄葉の混入不可
		契約出荷	ステンレスタンク1.5t
	鹿児島県	加工	外観は緑色のチップ状、12mmチップ、水分5%以下、20kg段ボール
乾燥もの		大海袋に25～30kg詰、段ボールに20kg詰など	

薬用作物名	都道府県	出荷形態	出荷規格 (重量、長さ、太さ、色調等)
	鹿児島県	生葉乾燥後、①箱詰め、②大海袋	① ビニールに入れ段ボール(20kg程度)で出荷 ② 大海袋(30kg)に入れて出荷
		乾物	出荷用袋(20kg)
カキドオシ	岐阜県	乾燥後、袋詰めして出荷	乾燥後、約2cmに切る
	宮崎県	未定	未定
ガジュツ	鹿児島県	原料根からひげ根を取り除いた後、フレコンバックに入れ、地区毎に決められた場所に出荷。その後、出荷先が集荷に回る。	・鶏卵以上の大きさ ・重量の規定は特になし
		地区毎の出荷、フレコン出荷	卵大以上で80g以上
		フレコン出荷	フレコン450kg
		30kg袋詰め	卵大の大きさを腐敗のないもの
カズサヨモギ	鳥取県	種子、苗、乾燥品	長さ、太さ他
カノコソウ	北海道	紙袋9kg詰	洗浄、乾燥後袋詰
		水洗い、乾燥後、袋詰	10kg詰
	岩手県	契約により指定された形(紙袋・ダンボール箱)	契約先の規格による
	山形県	作業受委託	
	三重県	4kg ヒモ付きクラフト袋	乾燥後袋詰め(いなべ市)
		袋	乾燥後、袋詰め(多気町)
カミツレ	岩手県	1袋当たり4kg(クラフト30kg用米袋)	乾燥度12%以下で3cm以下に細断。花：茎を3：7とする。
	秋田県	乾燥品	乾燥後の頭状花の形状を保ち、花以外の混入率は9%未満とする。
	岐阜県	茎・花を乾燥後、袋詰め(1袋4kg)またはフレコンで出荷	茎等の長さ1～3cm、水分12%以下
	宮崎県	乾燥・密封・カモミールティ加工	密封：500グラム/袋、カモミールティ：1.2グラム×1包・5包・10包
カラスビシャク	鳥取県	種子、苗、乾燥品	長さ、太さ他
カワムギ	沖縄県	生産→加工(乾燥、焙煎)→イベント販売	ティーパック1袋7g(5～10袋)
カワラケツメイ	鳥取県	乾燥後、袋詰め	8kg入・2cmカット
		種子、苗、乾燥品	長さ、太さ他
カワラヨモギ	岩手県	契約により指定された形(紙袋・ダンボール箱)	契約先の規格による
	岐阜県	乾燥後、ふるい分けを行い出荷	新鮮で、粒が揃っていて未熟頭花が混入せず、独特のにおいの強いもの
カンゾウ	北海道	水洗い、乾燥後、袋詰め	
	兵庫県	乾燥	グリチルリチン成分2%以上の物
キキョウ	秋田県	乾燥品	乾燥根直径1cm以上、長さ10cm以上で、両端の黒ずみをカットする。(直径・長さが規格外の根に生薬品と同等の調製を施した乾燥品を食品用として扱う。)
		水洗い、皮除去、乾燥後、箱詰出荷	直径1cm以上、長さ10～15cm程度、白色を基本
	岐阜県	洗浄後、皮去り乾燥後端部処理を行い出荷	変色無く概ね白い状態で水分量13%以下を目安、太さ1cm以上で長さ10cm程度のもの
キクイモ	福島県	粉末、錠剤	
	鳥取県	乾燥後、袋詰め	地下茎をスライスカット後乾燥
		種子、苗、乾燥品	長さ、太さ他
	島根県	乾燥チップ	水分率6%以下、10kg袋詰め
		瓶詰	菊いも酢(200ml・500ml)
	佐賀県	ラミネート袋詰め	乾燥後、パウダー化(50g/袋)・チップ化(50g/袋)にして袋詰め出荷
		ビニール詰め	特になし
キダチアロエ	鹿児島県	生鮮(1本立ち)	3年以上生育、1本2kg以上のもの
キハダ	長野県	紐で一まとめにして出荷	樹皮を乾燥させ、20kg程度を一まとめとして出荷
	島根県	乾燥させた樹木内皮	出荷用段ボール(50cm×70cm×50cm)に納まるよう
クコ	鳥取県	乾燥後、袋詰め	葉を乾燥カット詰め

薬用作物名	都道府県	出荷形態	出荷規格 (重量、長さ、太さ、色調等)
	鹿児島県	葉のみをカッターで裁断、乾燥させたものをブレンドして袋詰め	
クミスクチン	沖縄県	生産者(生) ↓ 加工業者(乾燥、製品化) ↓ 直販売/卸	100g リーフ / TB30 包入
クロバナヒキオコシ	鳥取県	種子、苗、乾燥品	長さ、太さ他
クロモジ	岩手県	紐で結束	直径 3 cm、長さ 2m
	新潟県	生枝(未調整)	—
クワ(シマグワ)	山梨県	桑茶粉末	各種包装
	鳥取県	乾燥後、袋詰め	葉を乾燥カット詰め
	島根県	乾燥葉	1箱(15kg)
		乾燥	水分率6%以下、10kg袋詰め
	鹿児島県	乾燥茶葉	25kgダンボール、30kgダンボール
		量販店・直売所・ネット販売等	荒茶製造ラインを使用して乾燥後、粉末にした製品を販売する。(製品規格:45、50、100g)
		粉末・タブレット・ティーバッグ	・タブレット 360粒(島内)、(島外)・粉末 100g・ティーパック
		島内、島外(東北、関東、関西、中国、九州)など	スティックタイプ 60包・15包入、粉末タイプ 100g・30g入、業務用粉末(発注内容に応じて)島内外へ納品している。
	沖縄県	桑荒茶、茶パウダー(小売り)	有機桑の葉 POWDER 100g、有機桑の葉 POWDER 60g、有機桑の葉 POWDER 2g×20包
		・自社(生)→業者(乾燥・殺菌・粉碎・造粒)→自社(加工)、自社(直販・卸) ・自社(生)→業者(乾燥・焙煎)→自社(加工)→自社(直販・卸) ・自社(生)→自社(直販:生、生き物餌)	・パウダー35g~1kg/袋 ・パウダー10kg/箱 ・顆粒 14包~100包/袋 ・顆粒 1000包/箱 ・焙煎茶 12包~100包/袋 ・焙煎茶 1000包/箱 ・生葉 5kg/袋 ・生葉枝付き 10kg/束
		・自社(成果)→自社(洗浄・ピューレ・搾汁)→業者(ジャム・酒・お酢)→自社(直販・卸) ・自社(成果)→業者(搾汁)→業者(酒)→自社(直販・卸)	・桑の実ピューレ冷凍 1kg/袋 ・桑の実ドリンク 500ml/本 ・桑の実ジャム 140g/個 ・桑の実のお酢 150ml/本 ・桑の実飲むお酢 500ml/本 ・桑の実ワイン 750ml/本
ケール	茨城県(つくば市)	生葉	重さ、大きさ、色等、良いもの
	千葉県	袋詰め、箱詰め	(袋)80g以上/袋、100g以上/袋 (箱)20~35cm以内/箱
	長野県	バルク出荷	200キロバルク出荷。健康な葉であれば大きさなど自由
	島根県	乾燥	水分率6%以下、10kg袋詰め
	岡山県	コンテナ詰め	10kg詰め
		コンテナ出荷	9kg/コンテナ
	福岡県	JAに出荷	
		青汁工場への生葉持ち込み工場へ輸送(トラック)	減農薬、無化学肥料で栽培したもの 特になし
	大分県	生葉	害虫の食害がなく病気もなし、当日収穫で新鮮なこと。異物混入が無い事。
	鹿児島県	加工	外観は緑色のチップ状、12mmチップ、水分5%以下、20kg段ボール
生葉		自社コンテナ(12kg)	
ゲンノショウコ	岐阜県	乾燥後、袋詰めして出荷	乾燥後、約2cmに切る
	京都府	紙袋	よく乾燥させたもの
	岡山県	1t袋詰め	乾燥後袋詰め

薬用作物名	都道府県	出荷形態	出荷規格 (重量、長さ、太さ、色調等)
ゴーヤー	沖縄県	生産者（生） ↓ 加工業者（乾燥、製品化） ↓ 直販売／卸	40g リーフ / TR12 包入、25 包入
ゴマ	岐阜県	搾油して食用油として出荷	110g
サフラン	埼玉県	乾物	特になし
	福井県	袋詰め（1g/袋）	1g 程度で品質の良いものを販売
	島根県	個人出荷	—
サンショウ	和歌山県	紙袋 契約先（業者）の指導に基づき出荷	15 kg 10 kg 袋
	高知県	契約先の指導する形態	契約先の指導する規格
ジオウ	長野県	そのまま	特になし
	岐阜県	皮を取り除いた後冷凍し、内部が黒くなるまで乾燥させて出荷	一端若しくは両端が細くなった塊状又は紡錘形を呈し、長さ5～10 cm、径0.5～3.0 cmで、ときに折れ、又は著しく変形している。外面は黄褐色、黒褐色又は黒色を呈し、深い縦溝及びくびれがある。質は柔らかい。横切面は黄褐色、黒褐色又は黒色で、周辺部ほど色が濃い。
シソ（アカジソ）	北海道	紙袋 1.5 kg 詰	暖房機による乾燥後袋詰め
	岩手県	契約により指定された形（紙袋・ダンボール箱）	契約先の規格による
	宮崎県	契約出荷	ステンレスタンク 1.5 t
ジャクヤク	北海道	箱詰め	
	青森県	契約先の指導に基づき出荷	契約先の指導に基づき出荷
	岩手県	契約により指定された形（紙袋・ダンボール箱）	契約先の規格による
	山形県	根のみ出荷	特になし
	長野県	根 円柱形	径 2.5 cm 以上長さ 3～10 cm
	新潟県	生根（未調整）	日本薬局方のおとり
		生根 30 kg 麻袋	A 品：直径 16 mm 以上、B 品：直径 10 mm 以上
	富山県	PP 袋（ガラ袋）	10～20 kg 詰
	岡山県	pp 袋	長さ・太さに応じて4種類に分けて袋詰め（未乾燥出荷）
	山口県	箱詰	長さ等
ショウガ	兵庫県	芋	重量（kg）
	島根県	ペースト、乾燥チップ	ペースト：2 kg 充填、冷凍（-20℃）。乾燥：水分率 6% 以下、10 kg 袋詰め
セネガ	兵庫県	箱詰め	10 kg（JA、薬草問屋）
		袋詰め	20 kg（薬草問屋）
	高知県	乾燥（根）	15 kg/箱
		乾燥（根）	10 kg/箱
センキュウ	北海道	コンテナ 350 kg 前後	粗原、乾燥無し
		取引業者との契約内容に基づいた出荷形態。	取引業者との契約内容に基づいた出荷規格
		PP 袋 20 kg	洗浄、湯通し、乾燥、みがき、選別
		フレコン	乾燥後フレコン詰
岩手県	契約により指定された形（紙袋・ダンボール箱）	契約先の規格による	
センブリ	長野県	JA 流通による	JA 規格に準じる
		そのまま	なし
	高知県	乾燥（全草）	10 kg/箱
ダイダイ（枳実、甘夏）	静岡県	生産者から生鮮物を受けとり、農協で乾物に加工後出荷	3.0 cm～5.0 cm
	和歌山県	フレコン袋（300 kg）	直径 4.5 cm 以下
	香川県	未出荷	—
	高知県	契約先の指導する形態	契約先の指導する規格
タマサキツヅラフジ	茨城県（石岡市）	水洗後、紙袋で出荷	生芋で全量買い上げ、規格は特になし。

薬用作物名	都道府県	出荷形態	出荷規格 (重量、長さ、太さ、色調等)
タマネギ	島根県	ペースト、乾燥チップ	ペースト：2 kg 充填、冷凍（-20℃）。乾燥：水分率 20%以下、10 kg 袋詰め
トウキ（ヤマトトウキ）	北海道	コンテナ	契約先の指導により出荷
		ハードコンテナによる原料バラ出荷	自家で基部を切り乾燥後土砂を落としハードコンテナで工場へ直送
		ハーフコンテナ 350 kg/個	地上部切断
		地上部切除、洗浄、一次乾燥コンテナ出荷	地上部切除後、土砂落とし機使用、数日乾燥後コンテナ出荷
		切裁、乾燥	
		風乾、土塊除去、葉切り	
		取引業者との契約内容に基づいた出荷形態。	取引業者との契約内容に基づいた出荷規格
		コンテナ詰め	契約先の指導に基づき出荷
		フレコン	葉切、自然乾燥、2 cm 切断、機械乾燥
	岩手県	契約により指定された形（紙袋・ダンボール箱）	契約先の規格による
	茨城県（神栖市）	洗浄、乾燥、選別	買取業者規格に合わせて出荷
	茨城県（行方市）	掘ったまま集荷コンテナ出荷	なし、全量買入
	茨城県（鹿嶋市）	集荷コンテナに入れて、そのまま出荷	なし、全量買入
	茨城県（石岡市）	水洗後湯通し、熟成乾燥させて出荷または水洗いし出荷	規格は特にないが、色と味を確認する。
	栃木県（壬生町）	契約先の指導	20 kg/1 袋
	栃木県（益子町）	紙袋出荷	原形：20 kg/袋、細根：20 kg/袋、種子：20 kg/袋
	新潟県	契約先の指導に基づき出荷	
		出荷先の指示による	
		契約先の指導に基づき出荷	
		生産者→生産者組合→契約先	
		契約先へ出荷	
		当帰	kg（税抜き）
		当帰種子	kg（税抜き）
		当帰採種株	株（税抜き）
		当帰苗	本（税抜き）
		種子	1 袋/20 kg
	乾燥（一部少量を生で出荷）	地上部のみを乾燥させて出荷	
	富山県	PP 袋（ガラ袋）段ボール箱	5～15 kg 詰
	石川県	生のまま出荷し、出荷先で乾燥調製している	—
	岐阜県	乾燥後、袋詰めして出荷	乾燥後、約 2 cm に切る
	兵庫県	箱詰め	なし
	奈良県	乾燥根	特 A：150g 以上（根径が 500 円硬貨径以上） A：150 未満～100g 以上（根径が 500 円硬貨径以上） B：100g 未満～60g 以上 C：60g 未満
水洗い、湯もみ、乾燥、箱詰 湯もみ洗い作業済		業者による等級選別（A 品、B 品）	
和歌山県	乾燥後	A 級 50g 以上の良品 B 級 50g 以下又は A 級以外 C 級くず・きず等	
広島県	乾燥、袋詰		

薬用作物名	都道府県	出荷形態	出荷規格 (重量、長さ、太さ、色調等)
	山口県	箱詰	長さ、太さ等
	香川県	乾燥品を出荷	出荷先による
	大分県	乾物	メーカー出荷
ドクダミ	新潟県	袋詰	バラ出荷、乾燥させたドクダミを出荷 (一袋8 kg)
		専用段ボールで出荷	3 cm切断、5 kg詰め
		箱	異物選別除去した後、20～30mmにカットして、25 kg箱詰め
	岐阜県	乾燥後、袋詰めして出荷	乾燥後、約2 cmに切る
	京都府	紙袋	よく乾燥させたもの
	鳥取県	乾燥後、袋詰め	地上部全草を乾燥2 cmカット
	鳥取県	種子、苗、乾燥品	長さ、太さ他
トチュウ	新潟県	葉のみ	天日干し及び陰干し乾燥品
	広島県	ネット販売	25g、50g、90gほか 杜仲茶 (農薬/化学肥料不使用・ノンカフェイン)
トリカブト (オクトリカブト、ハナトリカブト)	北海道	コンテナ出荷 ハードコンテナによる原料バラ出荷またはダンプによる原料バラ出荷	自家又は施設で子根を外しハードコンテナで出荷
	岩手県	契約により指定された形 (紙袋・ダンボール箱)	契約先の規格による
ナタマメ	鳥取県	乾燥後、袋詰め	ナタマメのサヤのみスライスカット乾燥
ナツメ	長野県	袋詰め	20 kg/袋
南天 (乾燥実)	岐阜県	紙袋	10 (kg/袋)
南天 (生実)	岐阜県	紙袋	15 (kg/袋)
ニンニク	福岡県	固形粒の瓶詰	1 瓶 20g 入り (120～130 粒) ウコン入り
	宮崎県	生鮮	皮無し…10 kg箱 皮付き…15 kgコンテナ
ノイバラ (エイジツ)	秋田県	水洗い、軸取り、乾燥後、箱詰出荷	
ハーブ	沖縄県	栽培→自社工場加工 (石鹸、ハーブティー、化粧品) →販売	
バジル (ホーリーバジル)	宮崎県	乾燥・密封	密封：500g/袋、生鮮 50 kg
ハダカムギ	沖縄県	・生産→袋詰め→イベント販売	袋 (120g、250g)
バタフライピー	沖縄県	生産者 (生)	8g リーフ / TB10 包入/シロップ/クラフトコーラ
		↓ 加工業者 (乾燥、製品化)	
		↓ 直販売/卸	
ハトムギ	北海道	乾燥、PP袋出荷	45 kg詰
		200 kg～400 kgフレコン・20 kg紙袋	200 kg～400 kgフレコン・20 kg紙袋
	栃木県 (鹿沼市)	・原殻：出荷用紙袋、フレコンの使用 ・加工品：はとむぎ茶、精白粒、ボン菓子、味噌、精白粉などの加工販売 ・精白加工品のPB商品販売	・原殻：出荷用紙袋 20 kg、フレコン 600 kg ・加工品：はとむぎ茶煮出し 400g、ティーバック 180g、精白粒 400g、ボン菓子 80g、味噌 1 kg・600g、精白粉 280g、焼酎 (43度) 720ml、焼酎 (22度) 720ml ・精白加工品のPB商品：精白粒 220g
	栃木県 (小山市)	ハトムギ玄殻	20.5 kg/袋 (網目 4.0mm・容積 460g/ℓ以上・水分 15%以下)
	栃木県 (佐野市)	袋詰め	20 kg詰め
	石川県	原料 (お茶用等)	20 kg詰め、水分 15%、容積量 492g/リットル
		原料 (化粧品等)	20 kg詰め、水分 15%、容積量 493g/リットル
		原料 (焼酎等)	20 kg詰め、水分 15%、容積量 494g/リットル
子実		20 kg詰め、水分 15%、容積量 495g/リットル	
岐阜県	脱粒し出荷	重く肥大で内部は白く、噛むと歯間に粘着するもの	

薬用作物名	都道府県	出荷形態	出荷規格 (重量、長さ、太さ、色調等)
	奈良県	乾燥品	乾燥調整したものを親会社へ販売
	島根県	乾燥 (はと麦若葉)	水分率 6%以下、10 kg袋詰め
		調整乾燥	水分率 8~10%、20 kg~25 kg袋詰め
	大分県	乾物	乾燥後 1t フレコン出荷
玄麦粒		A 品：百粒重 10.5g 以上且つ白粒割合 0~4% B 品：百粒重 10.5g 以下且つ白粒割合 5~9% C 品：百粒重 10.5g 以下且つ白粒割合 10%以上 異物混入 (雑草種子、数珠玉) がある場合はC 品	
		乾燥実	20 kg/袋
ハママーチ	沖縄県	生産者 (生) ↓ 加工業者 (乾燥、製品化) ↓ 直販売/卸	ブレンド茶へ調合
バンジロウ (グアバ)	鹿児島県	乾燥葉、きざみ	90g (袋詰め)、20~100g (1~3g ティーパック詰め)
		葉のみをカッターで裁断、乾燥させたものをブレンドして袋詰め	
ビヤクシ	栃木県 (益子町)	紙袋出荷	原形：20 kg/袋
ビワ	鹿児島県	葉のみをカッターで裁断、乾燥させたものをブレンドして袋詰め	
ボウフウ (ボタンボウフウ)	大分県	乾燥葉、乾燥粉末	乾燥葉 10 kg/箱、乾燥粉末 10 kg/箱
	鹿児島県	加工	外観は緑色のチップ状、12 mmチップ、水分 5% 以下、20 kg段ボール
		乾燥粉末	無農薬栽培を基本とする。
		生葉	長さ 30 cm程度・枯れ又は色が薄い葉は出荷不可
マカ	栃木県 (鹿沼市)	生	なし
ミシマサイコ (サイコ)	茨城県 (石岡市)	水洗後、乾燥させて出荷	規格は特になし。
	群馬県	—	
	岐阜県	洗浄後、乾燥と行儀揃えを行い出荷	外面は背黒褐色、内部は黄白色を呈し、なるべく直根で湿り気があって油臭くない新鮮なもの
	広島県	乾燥、袋詰	
	香川県	乾燥品を出荷	出荷先による
	高知県	契約先の指導する形態	契約先の指導する規格
	熊本県	根：乾燥、種子：生	根：1 袋 7 kg 入り、種子：1 袋 20 kg 入り
	宮崎県	乾燥 (根・種子)	根…7 kg 袋 種子…20 kg 袋
	鹿児島県	紙袋	契約先の指定
		製薬会社との契約 ・根 (洗浄後、調整根切り、日干し乾燥) ・種子 (追熟、選別)	出荷先の出荷規定による 根、種子を選別、乾燥して出荷する。 全量契約栽培
ムラサキ (紫根)	青森県	乾燥紫根	なし (基本的に出荷していない)
	宮城県	乾燥 乾燥根	特になし —
モッコウ	岩手県	契約により指定された形 (紙袋・ダンボール箱)	契約先の規格による
モリンガ	佐賀県		パウダー、タブレット、茶、菓子
	鹿児島県	蒸熱乾燥、箱詰め	アルミ袋又はビニール等原料仕入れ商社の規格に合わせて段ボール (10 kg程度) で出荷
		粉末	—
		加工	外観は緑色のチップ状、12 mmチップ、水分 5% 以下、20 kg段ボール
		乾燥粉末	個包装 (1g×20 袋)

薬用作物名	都道府県	出荷形態	出荷規格 (重量、長さ、太さ、色調等)
	沖縄県	加工業者	
		生産→加工(水洗い、乾燥、粗挽き)→袋詰め→卸売	ティーパック1袋2g(15~30袋入り)
ヤーコン	北海道	段ボール箱5kg	重量 大0.9kg~0.65kg 中0.65kg~0.4kg 小0.4kg~0.15kg
		段ボール4kg詰め、8kg詰め	重量200~800g、長さ25cm以内、太さ4cm以上
	茨城県 (常総市)	生芋(袋詰め・箱詰め・皮むき)	袋(500g)、箱(4kg)、皮むき(給食センターへ24kg)
	茨城県 (阿見町)	水洗い後袋詰め	1袋だいたい2、3本入り。
	山梨県	袋詰め	1kg袋詰め
	鳥取県	乾燥後、袋詰め	地下茎をスライスカット後乾燥
薬用人参	長野県	生干し	細根除去
		土根	別紙 出荷規格による
	島根県	生	大きさ、太さ、状態により「特等」「太物」「細物」「等外」の4規格あり
ヤブカンゾウ(クワンソウ)	沖縄県	生産者(生)→農業生産法人(乾燥チップ)→業者(製品化、販売)	乾燥葉7kg真空パック/袋
ヨモギ	山形県	手で折れる範囲	5kg入り袋
	新潟県	袋詰	乾燥させたヨモギを出荷(一袋10kg)
		17kg袋詰め	長さ3cmにカットし、葉、茎ともに乾燥して出荷する。
		箱、袋	箱:もぐさに加工後に箱詰め、袋:葉肉は粉末にした後に15kg袋詰め
		メッシュ袋等にバラ詰	よく乾燥している事、主茎より葉を分離しメッシュ袋等に適当に入れる
	岐阜県	乾燥後、袋詰めして出荷	乾燥後、約2cmに切る
	愛知県	ヨモギ湯用	15g×2パック入り
		ヨモギ茶	5g×10パック入り
	奈良県	粉末、冷凍よもぎ、よもぎ茶	粉末45g、冷凍1kg、お茶95g、入浴剤15g
	鳥取県	乾燥後、袋詰め	葉を乾燥カット詰め
	沖縄県	生産者(生) ↓ 加工業者(乾燥、製品化) ↓ 直販売/卸	70gリーフ
ヨロイグサ	岩手県	契約により指定された形(紙袋・ダンボール箱)	契約先の規格による
レモングラス	長崎県	乾燥葉、他	ハーブティーとしてティーバッグ、他食品等への添加材料等として
	沖縄県	・生産→飲食店 ・生産→加工(フリーズドライ)→イベント販売	袋(10g)
ローズマリー	沖縄県	・生産→飲食店 ・生産→加工(フリーズドライ)→イベント販売	袋(4g)

3 薬用作物の輸出入の推移

(1) 輸出

①おたねにんじん

1211.20-000

単位：kg、千円、円/kg

国名	令和4年			令和5年			令和6年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
台湾	1,192	19,782	16,596	88	1,674	19,023	88	1,674	19,023
香港	953	11,422	11,985	529	8,517	16,100	529	8,517	16,100
計	2,145	31,204	14,547	617	10,191	16,517	617	10,191	16,517

②主として香辛料、医療用、殺虫用、殺菌用その他これらに類する用途に供する植物及びその部分（種及び果実を含み、生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し又は乾燥したものに限るものとし、切り、砕き又は粉状にしたものであるかないかは問わない。）1211.90-000
注：ココ葉（1211.30）、けしがら（1211.40）、1211.50（麻黄）、アフリカンチェリー（ブルヌス・アフリカナ）の樹皮（1211.60）は輸出実績はない。

単位：kg、千円、円/kg

国名	令和4年			令和5年			令和6年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
大韓民国	6,919	43,722	6,319	6,919	43,722	6,319	7,959	53,470	6,718
中華人民共和国	4,363	24,542	5,625	1,665	10,016	6,016	23,651	40,371	1,707
台湾	978	6,539	6,686	1,641	9,078	5,532	800	8,254	10,318
香港	1,050	8,139	7,751	231	5,975	25,866	260	6,486	24,946
ベトナム	40,698	32,425	797	36,904	30,389	823	8,017	22,610	2,820
タイ	84	432	5,143	22	632	28,727	—	—	—
シンガポール	452	2,882	6,376	310	1,922	6,200	188	1,263	6,718
マレーシア	645	2,554	3,960	1,169	8,960	7,665	1,044	8,910	8,534
インドネシア	1,200	699	583	200	387	1,935	—	—	—
ラオス	1,500	15,070	10,047	3,300	27,201	8,243	2	223	111,500
インド	2,600	12,354	4,752	1,860	9,686	5,208	2,985	16,854	5,646
バングラデシュ	—	—	—	—	—	—	240	769	3,204
サウジアラビア	—	—	—	101	605	5,990	—	—	—
アラブ首長国連邦	—	—	—	—	—	—	144	1,031	7,160
カザフスタン	1,000	9,099	9,099	1,570	13,718	8,738	750	7,299	9,732
スウェーデン	23	9,071	394,391	23	9,071	394,391	7	6,024	860,571
イギリス	—	—	—	10	695	69,500	800	6,440	8,050
オランダ	—	—	—	1,402	8,836	6,302	386	1,329	3,443
ベルギー	40	659	16,475	—	—	—	—	—	—
フランス	35	869	24,829	130	9,654	74,262	171	9,281	54,275
ドイツ	1,174	9,565	8,147	1,300	12,018	9,245	1,572	12,850	8,174
スイス	58	678	11,690	58	678	11,690	—	—	—
スペイン	—	—	—	1	256	256,000	3	770	256,667
ロシア	175	249	1,423	—	—	—	—	—	—
ルーマニア	22	1,220	55,455	—	—	—	—	—	—
アメリカ	2,232	11,137	4,990	2,448	31,341	12,803	—	—	—
オーストラリア	122	467	3,828	109	929	8,523	372	21,493	57,777
ニュージーランド	—	—	—	110	11,716	106,509	—	—	—
計	65,370	192,372	2,943	61,483	247,485	4,025	49,351	225,727	1,447,961

(2) 輸入

①主として香料用、医療用、殺虫用、殺菌用その他これらに類する用途に供する植物及びその部分（種及び果実を含み、生鮮のもの及び冷蔵し、冷凍し又は乾燥したものに限るものとし、切り、砕き又は粉状にしたものであるかないかを問わない。）（その他のもの） 12.11 単位：kg、千円、円/kg

国名	令和4年			令和5年			令和6年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
大韓民国	63,819	288,709	4,524	58,805	393,307	6,688	52,105	319,197	6,126
中華人民共和国	18,611,942	29,893,730	1,606	20,004,126	37,118,534	1,856	20,023,409	42,243,592	2,110
台湾	130,458	155,316	1,191	185,810	177,166	953	153,480	151,580	988
モンゴル	100	628	6,280	100	676	6,760	—	—	—
香港	96	210	2,188	—	—	—	90	229	2,544
ベトナム	626,257	269,596	430	703,950	291,505	414	986,413	390,320	396
タイ	3,590,704	863,528	240	3,104,296	787,282	254	2,488,735	717,232	288
シンガポール	—	—	—	—	—	—	5	813	162,600
マレーシア	8,916	196,109	21,995	10,147	102,944	10,145	12,856	53,299	4,146
フィリピン	22,845	18,279	800	19,525	10,885	557	6,658	5,744	863
インドネシア	238,467	363,892	1,526	255,287	502,916	1,970	254,228	535,226	2,105
カンボジア	—	—	—	1,950	887	455	—	—	—
ラオス	1,828,348	297,017	162	1,777,720	340,602	192	1,118,235	259,305	232
ミャンマー	14,075	31,958	2,271	3,943	10,819	2,744	39,056	78,383	2,007
インド	2,863,426	1,120,298	391	2,449,245	1,275,118	521	3,096,596	1,520,114	491
パキスタン	114,313	43,120	377	55,251	31,967	579	47,736	32,441	680
スリランカ	3,725	6,639	1,782	3,568	6,531	1,830	5,849	13,844	2,367
バングラデシュ	3,855	2,950	765	422	1,157	2,742	950	1,618	1,703
東ティモール	32	217	6,781	148	540	3,649	—	—	—
マカオ	—	—	—	22	298	13,545	38	397	10,447
アフガニスタン	632	937	1,483	20,000	8,258	413	20,132	9,170	455
ネパール	1,601	6,948	4,340	6,399	8,153	1,274	4,992	5,565	1,115
ブータン	187	12,763	68,251	180	536	2,978	—	—	—
イラン	2,278	7,045	3,093	1,756	7,164	4,080	1,629	5,300	3,254
イスラエル	115	895	7,783	—	—	—	—	—	—
アルメニア	—	—	—	77	350	4,545	—	—	—
ウズベキスタン	21,486	14,136	658	72	545	7,569	30,500	10,757	353
ジョージア	—	—	—	901	1,521	1,688	—	—	—
英国	1,215	12,242	10,076	1,267	12,235	9,657	3,518	19,162	5,447
ベルギー	2,763	11,461	4,148	3,513	32,730	9,317	1,560	11,956	7,664
フランス	54,659	91,358	1,671	39,490	70,301	1,780	32,932	66,620	2,023
ドイツ	50,850	190,627	3,749	38,585	171,743	4,451	39,873	210,248	5,273
スイス	200	1,561	7,805	—	—	—	—	—	—
ポルトガル	5,319	13,883	2,610	23,308	60,386	2,591	7,661	18,299	2,389
スペイン	98,282	78,575	799	115,986	101,998	879	71,780	73,809	1,028
イタリア	3,960	10,424	2,632	2,439	11,303	4,634	2,051	9,651	4,706
ポーランド	68,234	107,135	1,570	53,757	103,775	1,930	51,629	110,355	2,137
ロシア	58,992	56,285	954	24,847	21,283	857	64,188	60,767	947
オーストリア	969	3,019	3,116	2,269	4,557	2,008	4,376	9,972	2,279
ハンガリー	4,903	19,707	4,019	3,136	12,917	4,119	1,514	10,886	7,190
セルビア	1,571	3,652	2,325	1,551	2,992	1,929	306	1,123	3,670
アルバニア	115,116	81,650	709	86,430	87,591	1,013	58,639	50,014	853
ギリシャ	16,257	16,256	1,000	17,064	17,298	1,014	8,606	10,746	1,249
ルーマニア	1,248	50,815	40,717	681	34,325	50,404	—	—	—
ブルガリア	22,595	32,539	1,440	20,821	42,849	2,058	26,753	55,330	2,068
トルコ	217,489	135,390	623	209,639	146,867	701	200,799	122,488	610
エストニア	21	1,075	51,190	—	—	—	—	—	—
ラトビア	—	—	—	2,618	4,867	1,859	1,042	2,073	1,989
ウクライナ	5,161	71,350	13,825	7,795	143,586	18,420	5,466	98,559	18,031
モルドバ	—	—	—	271	1,367	5,044	370	1,064	2,876
クロアチア	15,900	35,414	2,227	11,057	34,917	3,158	14,104	46,324	3,284
ボスニア・ヘルツェゴビナ	600	455	758	3,390	8,645	2,550	54	400	7,407
北マケドニア	500	273	546	275	1,156	4,204	34	220	6,471
チェコ	970	9,083	9,364	613	9,807	15,998	216	3,654	16,917
コソボ	2,041	4,915	2,408	300	1,568	5,227	—	—	—
カナダ	216	4,647	21,514	450	10,496	23,324	1,002	24,735	24,686
アメリカ合衆国	198,184	395,761	1,997	203,605	435,564	2,139	216,812	480,417	2,216
メキシコ	6,042	7,862	1,301	4,814	7,200	1,496	29,583	32,415	1,096
コスタリカ	194	3,084	15,897	400	9,640	24,100	305	9,352	30,662
ベネズエラ	—	—	—	34	333	9,794	277	4,684	16,910
エクアドル	850	2,177	2,561	100	228	2,280	850	2,101	2,472
ペルー	318,734	217,725	683	492,644	538,405	1,093	234,615	195,149	832
チリ	17,584	27,324	1,554	9,994	12,917	1,292	8,239	7,978	968

国名	令和4年			令和5年			令和6年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
ブラジル	50,400	160,230	3,179	67,930	252,724	3,720	27,255	177,048	6,496
パラグアイ	908	730	804	2,526	16,720	6,619	—	—	—
アルゼンチン	147	528	3,592	—	—	—	—	—	—
モロッコ	11,944	15,528	1,300	14,605	21,080	1,443	13,317	16,711	1,255
チュニジア	700	2,133	3,047	460	230	500	900	503	559
エジプト	212,438	186,817	879	244,456	214,624	878	229,517	239,522	1,044
スーダン	1,141,176	212,311	186	428,165	88,972	208	427,558	122,863	287
セネガル	—	—	—	—	—	—	180	360	2,000
ガーナ	926	1,440	1,555	757	1,631	2,155	120	511	4,258
ブルキナファソ	—	—	—	100	212	2,120	80	205	2,563
ケニア	3,610	9,666	2,678	1,543	5,282	3,423	445	1,559	3,503
タンザニア	6,000	4,786	798	5,000	3,305	661	60	240	4,000
ナミビア	—	—	—	200	520	2,600	—	—	—
南アフリカ共和国	260	2,366	9,100	—	—	—	2,112,995	2,026,131	959
マラウイ	273	1,120	4,103	—	—	—	—	—	—
オーストラリア	7,295	23,918	3,279	30,511	105,523	3,459	13,270	35,887	2,704
ニュージーランド	7	227	32,429	16	215	13,438	—	—	—
フィジー	3,779	9,658	2,556	3,735	10,310	2,760	3,645	10,268	2,817
不明	203	458	2,256	250	1,122	4,488	—	—	—
計	30,879,362	35,924,560	1163.38414	30,847,097	43,957,977	1,425	32,262,188	50,736,485	1,573

②おたねにんじん（生鮮のもの及び乾燥したもの） 1211.20-100 単位：kg、千円、円/kg

国名	令和4年			令和5年			令和6年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
大韓民国	11,245	197,782	17,588	16,959	312,678	18,437	9,144	214,526	23,461
中華人民共和国	477,513	3,868,010	8,100	770,221	5,266,456	6,838	869,121	6,598,816	7,593
台湾	1,191	53,124	44,605	846	37,725	44,592	900	40,139	44,599
香港	65	1,245	19,154	65	1,245	19,154	—	—	—
マレーシア	—	—	—	—	—	—	18	353	19,611
ベルギー	3	282	94,000	213	18,363	86,211	60	5,051	84,183
カナダ	216	4,647	21,514	—	—	—	—	—	—
アメリカ	149	1,609	10,799	217	935	4,309	500	4,724	9,448
計	490,382	4,126,699	8,415	788,521	5,637,402	7,149	879,743	6,863,609	7,802

③麻黄 1211.50-000 単位：kg、千円、円/kg

国名	令和4年			令和5年			令和6年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
中華人民共和国	236,988	194,531	821	417,472	312,434	748	428116	305502	714
パキスタン	24,925	5,434	218	25,300	6,318	250	18825	9786	520
計	261,913	199,965	763	442,772	318,752	720	446,941	315,288	705

④甘草 1211.90-120 単位：kg、千円、円/kg

国名	令和4年			令和5年			令和6年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
中華人民共和国	1,079,169	1,178,020	1,092	1,544,236	2,083,392	1,349	1,806,477	2,717,771	1,504
パキスタン	82,848	27,233	329	1,000	363	363	12,000	3,549	296
アフガニスタン	632	937	1,483	20,000	8,258	413	20,132	9,170	455
ウズベキスタン	21,080	12,286	583	—	—	—	30,000	9,583	—
ロシア	36,000	39,162	1,088	12,000	6,600	550	60,000	55,560	926
計	1,219,729	1,257,638	1,031	1,577,236	2,098,613	1,331	1,928,609	2,795,633	1,450

⑤除虫菊 1211.90-710 単位：kg、千円、円/kg

国名	令和4年			令和5年			令和6年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
中華人民共和国	30,000	34,486	1,150	20,750	23,316	1,124	20,300	26,252	1,293
ケニア	700	638	911	—	—	—	—	—	—
タンザニア	6,000	4,786	798	5,000	3,305	661	—	—	—
計	36,700	39,910	1,087	25,750	26,621	1,034	20,300	26,252	1,293

④びやくだん 1211.90-991 単位：kg、千円、円/kg

国名	令和4年			令和5年			令和6年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
台湾	64,800	21,598	333	136,600	48,778	357	130,600	49,143	376
インドネシア	64,584	92,250	1,428	91,395	143,922	1,575	50,127	80,882	1,614
インド	97,292	214,806	2,208	63,808	223,995	3,510	40,984	170,790	4,167
オーストラリア	7,005	21,985	3,138	30,146	103,491	3,433	12,343	32,763	2,654
フィジー	3,779	9,658	2,556	3,735	10,310	2,760	3,645	10,268	2,817
計	237,460	360,297	1,517	325,684	530,496	1,629	237,699	343,846	1,447

⑤ハトムギ 1211.90-992

単位：kg、千円、円/kg

国名	令和4年			令和5年			令和6年		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
中華人民共和国	720,004	343,337	477	407,004	200,199	492	394,892	217,946	552
ベトナム	39,450	9,382	238	—	—	—	40,020	10,663	266
タイ	3,203,060	602,438	188	2,748,880	532,778	194	2,183,910	465,017	213
ラオス	1,820,096	273,940	151	1,771,292	314,541	178	1,113,626	221,698	199
計	5,782,610	1,229,097	213	4,927,176	1,047,518	213	3,732,448	915,324	245

参考1 都道府県における栽培薬用作物（生薬）一覧

都道府県名	種	作物名
北海道	17	オウギ、カノコソウ、カンゾウ、キハダ、ケール、ジオウ、シソ、シャクヤク、センキュウ、ダイオウ、トウガラシ、トウキ、トリカブト、ニンニク、ハトムギ、ホオノキ、ヤーコン
青森県	4	カノコソウ、キクイモ、シャクヤク、ムラサキ
岩手県	12	アマチャ、カノコソウ、カワラヨモギ、クロモジ、シソ、シャクヤク、センキュウ、トウキ、トリカブト、マコモ、モッコウ、ヨロイグサ
宮城県	2	トウキ、ムラサキ
秋田県	10	ウド、ノイバラ、カノコソウ、カミツレ、カンゾウ、キキョウ、シャクヤク、センブリ、モッコウ、ヨロイグサ
山形県	4	カノコソウ、シャクヤク、トリカブト、ヨモギ
福島県	5	キクイモ、クワ、サフラン、シャクヤク、ハトムギ
茨城県	6	ケール、シャクヤク、タマサキツヅラフジ、トウキ、ミシマサイコ、ヤーコン
栃木県	5	キクイモ、トウキ、ハトムギ、ビャクシ、マカ、ヨロイグサ
群馬県	4	ウド、ウコン、トウキ、ミシマサイコ
埼玉県	3	サフラン、トウキ、マカ
千葉県	2	ケール、トウキ
東京都	—	
神奈川県	—	
山梨県	27	ウコン、ウスベニアオイ、オウレン、オオムギ、カミツレ、カリン、カンゾウ、キク、キクイモ、キビ、クコ、クワ、サフラン、ショウガ、セネガ、トウガラシ、トウキ、ドクダミ、ナタマメ、ニンニク、モロヘイヤ、モモ、ヤーコン、ルバーブ、レモングラス、ローズマリー
長野県	15	アカザ、イカリソウ、カミツレ、カワラケツメイ、キクイモ、ケール、ジオウ、シャクヤク、センブリ、ツルナ、ナガイモ、ナツメ、ボウフウ、ヤーコン、ヨモギ
静岡県	8	アロエ、オウレン、キジツ、シソ、ショウガ、シソ、トウガラシ、トウキ

都道府 県名	種	作物名
新潟県	6	クロモジ、シャクヤク、トウキ、ドクダミ、トチュウ、ヨモギ
富山県	7	オウレン、キハダ、シャクヤク、トウキ、トウガラシ、ハトムギ、ミシマサイコ
石川県	4	トウキ、ハトムギ、マオウ、ヨモギ
福井県	2	オウレン、サフラン
岐阜県	14	イブキジャコウソウ、カキドオシ、カミツレ、カワラヨモギ、キキョウ、ゲンノショウコ、ジオウ、トウキ、ドクダミ、ナンテン、ハトムギ、ミシマサイコ、ヨモギ
愛知県	2	ヤーコン、ヨモギ
三重県	5	カノコソウ、カンゾウ、シャクヤク、トウキ、ミシマサイコ
滋賀県	7	アシタバ、キキョウ、クワ、ドクダミ、トチュウ、モリンガ、ヨモギ
京都府	6	ケール、ゲンノショウコ、サンショウ、ドクダミ、ニンニク、モロヘイヤ
大阪府	1	ナンテン
兵庫県	8	カワラケツメイ、カンゾウ、ゴマ、ショウガ、セネガ、トウキ、ドクダミ、バジル
奈良県	12	アマチャ、アロエ、カラハリスイカ、カリン、キハダ、サンショウ、シャクヤク、セネガ、トウキ、ナンテン、ハトムギ、ヨモギ
和歌山県	4	キジツ、サンショウ、トウキ
鳥取県	15	アイ、アカネ、エキナセア・アングスティフオリア、カラスビシャク、カワラケツメイ、ククイモ、クワ、ドクダミ、ナタマメ、ニンニク、ハトムギ、ヒキオコシ、モリンガ、ヤーコン、ヨモギ
島根県	22	エゴマ、オオムギ、オオムギワカバ、カミツレ、カワラケツメイ、キク、ククイモ、キハダ、クワ、ケール、サフラン、サンショウ、シャクヤク、ショウガ、タマネギ、トウガラシ、ドクダミ、ナツメ、ニンニク、ハトムギ、モロヘイヤ、ヤーコン
岡山県	4	ケール、ゲンノショウコ、サンシュユ、シャクヤク
広島県	21	アシタバ、ウスベニアオイ、カミツレ、カラスビシャク、カンゾウ、ゲンノショウコ、コガネバナ、シソ、タチジャコウソウ、タマザキツヅラフジ、トウキ、ドクダミ、トチュウ、ナデシコ、ニオイテンジクアオイ、ハッカ、ヒヨドリバナ、ミシマサイコ、レモンバーム、ローズマリー、ワレモコウ
山口県	3	クロモジ、シャクヤク、トウキ
徳島県	5	アイ、ククイモ、ドクダミ、ミシマサイコ、ヨモギ

都道府 県名	種	作物名
香川県	3	キジツ、トウキ、ミシマサイコ
愛媛県	6	キジツ、キハダ、サンショウ、シソ、トウキ、ミシマサイコ
高知県	7	アマチャ、アロエ、キジツ、サンショウ、セネガ、センブリ、ミシマサイコ
福岡県	8	クヌギ、ケール、シソ、トウキ、ドクダミ、ニンニク、ミシマサイコ、ローズマリー
佐賀県	9	カラヨモギ、ククイモ、ショウガ、トウキ、ドクダミ、バジル、ミシマサイコ、モリンガ、レモングラス
長崎県	3	サフラン、シャクヤク、レモングラス
熊本県	3	ウコン、ショウガ、ミシマサイコ
大分県	10	オオムギワカバ、カラヨモギ、キキョウ、クワ、ケール、サフラン、ショウガ、トウキ、ハトムギ、ボウフウ
宮崎県	10	ウコン、オオムギワカバ、カキドオシ、カミツレ、クロモジ、ドクダミ、ニンニク、ハトムギ、バジル、ミシマサイコ
鹿児島県	16	アザミ、アシタバ、アロエ、ウコン、オオムギワカバ、ガジュツ、クコ、クワ、ケール、ナタマメ、バンジロウ、ビワ、ボウフウ、ミシマサイコ、モリンガ、ルバーブ
沖縄県	25	アロエ、ウコン、カミツレ、クミスクチン、クロニンジン、クワ、ゲットウ、シチヘンゲ、ショウガ、ツルレイシ、トウガラシ、ニワトコ、ノニ、バタフライピー、ハママーチ、バジル、バンジロウ、ボウフウ、モリンガ、ヤブカンゾウ、ヨモギ、レモングラス、ローズマリー、ローゼル、その他

参考2 薬用作物等関係団体

団体名	〒	住所	電話番号
日本生薬連合会	541-0044	大阪府大阪市中央区伏見町2-4-6 大阪薬業クラブ6階	06-6202-7898
日本漢方生薬製剤協会	113-0034	東京都文京区湯島3-7-7 オーシャンズファイブ4階	03-6284-2524
公益財団法人日本特産農産物協会	103-0013	東京都中央区日本橋人形町二丁目15番1号 フジタ人形町ビル7階	03-6689-9428

Ⅲ 薬用人参

1 生産状況（令和5年産）

（1）全国の推移

年次	栽培農家数 (戸)	栽培面積 (ha)	収穫面積 (ha)	10a当たり 収量 (土根kg)	生産量 (t)	
					土根	製品
昭和58	2,570	585	127	527	669	195
59	2,620	607	124	504	625	183
60	2,640	622	119	461	548	155
61	2,710	636	119	460	547	149
62	2,660	607	119	448	534	143
63	2,641	612	116	461	535	140
平成元	2,520	559	118	420	496	135
2	2,246	516	107	385	412	112
3	2,026	479	98	386	378	91
4	1,844	469	101	347	352	74
5	1,642	322	72	378	308	68
6	1,315	322	72	354	255	54
7	1,075	281	62	321	198	35
8	889	243	51	344	174	35
9	772	189	40	400	158	30
10	695	179	38	400	152	32
11	485	157	34	385	132	27
12	409	129	27	321	88	17
13	400	117	26	318	81	16
14	329	77	17	371	64	20
15	279	66	15	506	78	17
16	223	53	12	383	61	20
17	137	36	11	762	52	9
18	118	34	12	514	63	10
19	92	22	6	638	40	6
20	81	36	10	377	37	8
21	82	25	5	492	31	8
22	59	21	5	595	29	8
23	53	18	4	533	23	2
24	53	15	3	523	17	4
25	50	18	3	555	15	4
26	76	20	3	533	16	5
27	84	21	3	433	13	4
28	93	31	3	467	14	4
29	137	21	7	255	18	4
30	131	17	5	282	14	3
令和元	111	13	4	267	10	3
2	121	15	3	453	13	3
3	106	12	3	487	13	2
4	108	14	6	154	9	2
5	36	11	4	260	9	1

(注) 生産県報告による

(2) 市町村別生産状況

都道府 県名	市町村名	栽培戸数 (戸)	栽培面積		土根生産量 (Kg)				製品
			(a)	収穫面積 (a)	4年生以下	5年生	6年生	計	
山形県	朝日町	1	20.0	1.0					
	山形市				600.0	3.2	2.0	605.0	0.0
	計				600.0	3.2	2.0	605.0	0.0
福島県	西会津町、磐梯町、 会津美里町、会津若 松市	15	362.0	73.0	1,686.0	3,433.0	0.0	5,119.0	836.1
	計	15	362.0	73.0	1,686.0	3,433.0	0.0	5,119.0	836.1
山梨県	大月市	1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長野県	東御市	10	524.3	250.0	0.0	0.0	2,769.0	2,769.0	0.0
	上田市				0.0	21.8	458.6	480.4	0.0
	佐久市				0.0	0.0	63.0	63.0	63.0
	計				0.0	21.8	3,290.6	3,312.4	63.0
島根県	松江市	9	214.2	38.0	0.0	0.0	365.0	365.0	87.0
	計	9	214.2	38.0	0.0	0.0	365.0	365.0	87.0
合計		36	1,123.5	362.0	2,286.0	3,458.0	3,657.6	9,401.4	986.1

(3) 年生別栽培面積

都道府県名	1年生 (a)	2年生 (a)	3年生 (a)	4年生 (a)	5年生 (a)	6年生 (a)	合計 (a)
山形県	3.0	3.0	3.0	6.0	3.0	2.0	20.0
福島県	70.8	72.8	60.0	70.0	58.0	0.0	331.6
山梨県	0.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	3.0
長野県	19.2	21.7	92.0	40.2	74.2	82.0	329.3
島根県	0.0	38.8	48.0	43.9	45.5	38.0	214.2
合計	93.0	138.3	204.0	160.1	180.7	122.0	898.1

(4) 製品の種類別生産状況

単位；Kg

都道府県名	紅参	白参	生干し	湯通し	その他	合計
山形県	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0
福島県	66.0	0.0	277.0	493.1	1,719.0	2,555.1
山梨県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長野県	3,249.4	0.0	63.0	0.0	0.0	3,312.4
島根県	87.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0
合計	3,402.4	0.0	340.0	493.1	1,720.0	5,955.5

(5) 製品の種類別仕向け別生産実績

単位；Kg

都道府県名	紅参	自参	生干し	湯通し	その他	合計
(国内向け)						
山形県	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0
福島県	66.0	0.0	277.0	310.1	1,719.0	2,372.1
山梨県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長野県	3,249.4	0.0	63.0	0.0	0.0	3,312.4
島根県	87.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0
合計	3,402.4	0.0	340.0	310.1	1,724.0	5,776.5
(輸出向け)						
山形県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福島県	0.0	0.0	0.0	183.0	0.0	183.0
山梨県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長野県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
島根県	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	0.0	0.0	0.0	183.0	0.0	183.0

2 国外の薬用人蔘事情

(1) 輸出

① 中国

国名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
香港	数量(t)	527	561	615	834	806	1,093	705	323	249	471
	価額(万ドル)	2,683	2,935	3,384	3,414	2,895	3,468	2,463	1,800	1,320	2,205
	単価(ドル/kg)	50.9	52.3	55.0	40.9	35.9	31.7	34.9	55.7	53.0	46.8
日本	数量(t)	664	417	1,017	1,111	1,051	1,092	755	467	467	793
	価額(万ドル)	7,374	4,312	8,368	5,683	5,308	5,320	4,388	2,596	2,552	3,700
	単価(ドル/kg)	111.1	103.4	82.3	51.2	50.5	48.7	58.1	55.6	54.6	46.6
イタリア	数量(t)	84	89	202	146	53	160	131	123	210	89
	価額(万ドル)	804	577	863	415	200	438	335	327	658	229
	単価(ドル/kg)	95.7	64.8	42.7	28.4	37.7	27.4	25.6	26.6	31.3	25.7
ドイツ	数量(t)	44	129	231	179	181	110	127	140	110	71
	価額(万ドル)	438	1,086	1,069	716	730	382	358	446	347	281
	単価(ドル/kg)	99.6	84.2	46.2	40.0	40.3	34.7	28.2	31.9	31.4	39.4
台湾	数量(t)	191	192	251	311	389	699	369	467	452	485
	価額(万ドル)	2,099	1,701	1,515	1,664	1,815	2,530	1,205	1,613	1,533	1,531
	単価(ドル/kg)	109.9	88.6	60.3	53.5	46.7	36.2	32.7	34.5	33.9	31.6
マレーシア	数量(t)	31	38	71	78	114	92	76	52	60	81
	価額(万ドル)	323	302	331	343	452	310	271	187	197	258
	単価(ドル/kg)	104.1	79.5	46.7	44.0	39.6	33.7	35.7	36.0	33.0	31.8
アメリカ	数量(t)	76	86	99	80	93	75	68	79	53	54
	価額(万ドル)	574	754	887	670	786	593	485	582	540	365
	単価(ドル/kg)	75.5	87.6	90.0	83.8	84.5	79.1	71.3	73.7	102.5	67.3
韓国	数量(t)	0	13	6	4	0	5	7	24	29	20
	価額(万ドル)	0	38	16	10	1	6	16	24	30	20
	単価(ドル/kg)	...	29.3	27.8	25.0	-	12.0	22.9	10.0	10.7	9.7
合計	数量(t)	1,722	1,660	2,604	2,874	2,891	3,603	2,391	1,795	1,803	2,171
	価額(万ドル)	15,796	13,406	17,077	13,614	12,984	13,915	10,130	8,188	7,988	9,087
	単価(ドル/kg)	91.7	80.8	65.6	47.4	44.9	38.6	42.4	45.6	44.3	41.9

※ 合計には、その他未掲載の国の値も含む

② 韓国

国名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
中国	数量(t)	128	118	80	118	145	143	117	163	162	221
	価額(万ドル)	2,877	2,662	1,426	2,663	3,423	3,804	3,510	4,614	5,045	5,005
	単価(ドル/kg)	224.8	225.6	178.8	225.7	236.1	266.0	300.0	283.1	311.0	226.7
香港	数量(t)	124	117	66	73	76	70	60	63	57	84
	価額(万ドル)	4,121	3,141	1,461	1,616	2,088	1,952	1,419	1,510	1,182	2,291
	単価(ドル/kg)	332.3	268.4	220.2	221.4	274.7	278.9	236.5	239.7	209.0	274.1
台湾	数量(t)	93	59	24	47	51	39	34	34	42	29
	価額(万ドル)	2,130	1,284	592	1,081	1,278	1,045	955	807	1,183	759
	単価(ドル/kg)	229.0	217.7	243.8	230.0	250.6	267.9	280.9	237.4	282.9	260.1
ベトナム	数量(t)	8	8	44	45	12	13	11	11	13	16
	価額(万ドル)	63	67	122	185	229	261	120	248	214	237
	単価(ドル/kg)	79.0	83.7	27.9	41.1	190.8	200.8	109.1	225.5	162.6	148.7
アメリカ	数量(t)	26	20	40	11	6	7	9	11	13	14
	価額(万ドル)	167	198	231	169	156	165	180	184	222	213
	単価(ドル/kg)	64.4	99.2	58.0	153.6	260.0	235.7	200.0	167.3	166.8	157.6
日本	数量(t)	44	50	51	21	21	33	24	25	20	26
	価額(万ドル)	612	657	698	417	450	698	493	324	362	402
	単価(ドル/kg)	139.1	131.5	137.1	198.6	214.3	211.5	205.4	129.6	178.8	157.3
シンガポール	数量(t)	2	2	2	3	2	2	2	10	2	2
	価額(万ドル)	112	75	68	125	74	76	53	133	45	75
	単価(ドル/kg)	560.8	373.8	346.7	416.7	370.0	380.0	265.0	133.0	242.3	464.7
合計	数量(t)	449	388	330	362	332	319	268	332	325	398
	価額(万ドル)	10,735	8,489	5,123	6,708	8,107	8,200	6,894	8,081	8,533	9,179
	単価(ドル/kg)	239.1	218.8	155.1	185.3	244.2	257.1	257.2	243.4	262.5	230.6

資料: Global Trade Atlas

※ 合計には、その他未掲載の国の値も含む

③ 香港

国名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
中国	数量(t)	375	482	478	498	359	981	197	389	853	273
	価額(万ドル)	1,135	1,332	1,405	1,357	988	2,662	605	1,346	1,622	499
	単価(ドル/kg)	30.3	27.6	29.4	27.2	27.5	27.1	30.7	34.6	19.0	18.2
ベトナム	数量(t)	9	28	207	378	178	330	-	-	-	-
	価額(万ドル)	102	291	1,548	1,914	888	860	-	-	-	-
	単価(ドル/kg)	113.1	103.9	74.9	50.6	49.9	26.1	-	-	-	-
アメリカ	数量(t)	108	92	126	90	122	48	37	9	22	129
	価額(万ドル)	976	875	1,040	658	730	186	168	60	198	848
	単価(ドル/kg)	90.3	95.1	82.3	73.1	59.8	38.8	45.4	66.7	89.9	65.5
カナダ	数量(t)	56	61	58	95	65	49	25	9	25	15
	価額(万ドル)	806	819	659	1,017	585	256	116	42	364	141
	単価(ドル/kg)	144.0	134.2	113.2	107.1	90.0	52.2	46.4	46.7	145.5	91.4
台湾	数量(t)	62	53	47	84	57	111	55	73	70	78
	価額(万ドル)	372	397	252	351	389	430	221	321	246	301
	単価(ドル/kg)	60.0	74.8	53.7	41.8	68.2	38.7	40.2	44.0	35.0	38.9
マレーシア	数量(t)	48	25	25	44	17	28	86	52	24	22
	価額(万ドル)	281	258	227	202	91	485	130	168	148	120
	単価(ドル/kg)	58.6	103.2	90.6	45.9	53.5	173.2	15.1	32.3	62.4	55.1
シンガポール	数量(t)	40	35	38	38	26	24	21	15	8	7
	価額(万ドル)	480	387	438	399	243	165	55	64	58	48
	単価(ドル/kg)	119.9	110.7	114.2	105.0	93.5	68.8	26.2	42.7	75.3	71.5
合計	数量(t)	719	794	997	1,248	842	1,827	747	612	1,049	562
	価額(万ドル)	4,480	4,664	5,828	6,204	4,124	6,040	2,484	2,412	3,161	2,528
	単価(ドル/kg)	62.3	58.7	58.4	49.7	49.0	33.1	33.3	39.4	30.1	45.0

※ 合計には、その他未掲載の国の値も含む

④ カナダ

国名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
香港	数量(t)	2,329	2,464	2,441	2,977	2,283	2,371	3,288	1,489	294	186
	価額(万ドル)	21,283	20,012	16,556	16,476	10,552	8,163	8,674	4,165	550	431
	単価(ドル/kg)	91.4	81.2	67.8	55.3	46.2	34.4	26.4	28.0	18.7	23.2
アメリカ	数量(t)	77	38	36	36	27	28	15	20	19	20
	価額(万ドル)	500	334	341	270	204	198	97	110	135	153
	単価(ドル/kg)	65.0	88.0	93.6	75.0	75.6	70.7	64.7	55.0	71.5	76.6
中国	数量(t)	19	56	106	112	133	235	461	1,378	3,505	5,199
	価額(万ドル)	142	344	676	709	774	977	1,102	3,168	5,986	9,074
	単価(ドル/kg)	75.0	61.4	64.0	63.3	58.2	41.6	23.9	23.0	17.1	17.5
台湾	数量(t)	78	36	29	3	21	89	11	19	16	15
	価額(万ドル)	491	163	164	18	98	293	23	59	32	30
	単価(ドル/kg)	63.0	45.4	57.2	60.0	46.7	32.9	20.9	31.1	20.5	20.2
シンガポール	数量(t)	53	35	22	36	42	40	58	35	70	43
	価額(万ドル)	441	287	151	169	194	109	159	76	148	125
	単価(ドル/kg)	83.1	82.1	67.5	46.9	46.2	27.3	27.4	21.7	21.1	29.2
マレーシア	数量(t)	0	0	0	-	-	6	0	0	1	9
	価額(万ドル)	0	0	0	-	-	5	1	1	1	20
	単価(ドル/kg)	-	-	8.3	9.3	23.6
合計	数量(t)	2,558	2,634	2,634	3,165	2,512	2,821	3,838	2,956	3,921	5,484
	価額(万ドル)	22,870	21,181	17,892	17,648	11,837	9,966	10,073	7,659	6,888	9,861
	単価(ドル/kg)	89.4	80.4	67.9	55.8	47.1	35.3	26.2	25.9	17.6	18.0

資料: Global Trade Atlas

※ 合計には、その他未掲載の国の値も含む

(2) 輸入

① 香港

国名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
カナダ	数量(t)	1,603	2,701	3,146	2,602	2,461	3,168	3,037	2,692	342	424
	価額(万ドル)	12,920	21,326	20,739	14,537	13,064	11,743	8,618	7,171	956	1,343
	単価(ドル/kg)	80.6	79.0	65.9	55.9	53.1	37.1	28.4	26.6	28.0	31.7
中国	数量(t)	332	406	305	320	371	498	71	3	42	99
	価額(万ドル)	1,030	1,381	964	983	1,102	1,669	445	56	212	456
	単価(ドル/kg)	31.0	34.0	31.6	30.7	29.7	33.5	62.7	186.7	50.5	45.9
韓国	数量(t)	164	174	90	117	98	87	68	76	73	140
	価額(万ドル)	4,378	3,406	1,694	1,553	2,573	2,089	1,768	1,507	1,336	2,216
	単価(ドル/kg)	266.9	195.7	188.5	132.7	262.6	240.1	260.0	198.3	182.0	158.7
アメリカ	数量(t)	57	74	83	123	120	104	155	205	104	152
	価額(万ドル)	5,284	4,529	2,425	3,388	3,006	2,943	2,251	2,567	2,620	2,442
	単価(ドル/kg)	927.0	612.0	290.4	275.4	250.5	283.0	145.2	125.2	250.8	160.3
マレーシア	数量(t)	19	10	6	8	7	29	34	1	1	1
	価額(万ドル)	200	225	198	222	192	165	167	17	18	21
	単価(ドル/kg)	105.3	225.1	344.1	277.5	274.3	56.9	49.1	170.0	154.3	173.9
台湾	数量(t)	8	2	3	1	6	0	0	0	2	1
	価額(万ドル)	149	35	56	19	79	5	5	11	40	24
	単価(ドル/kg)	185.9	173.0	195.6	190.0	131.7	243.7	256.9
北朝鮮	数量(t)	3	2	8	3	-	-	-	-	-	-
	価額(万ドル)	79	82	126	98	-	-	-	-	-	-
	単価(ドル/kg)	264.4	411.3	158.6	326.7	-	-	-	-	-	-
合計	数量(t)	2,188	3,374	3,642	3,176	3,071	3,895	3,366	2,978	567	818
	価額(万ドル)	24,047	31,071	26,226	20,927	20,064	18,650	13,254	11,329	5,186	6,513
	単価(ドル/kg)	109.9	92.1	72.0	65.9	65.3	47.9	39.4	38.0	91.5	79.6

※ 合計には、その他未掲載の国の値も含む

② 中国

国名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
カナダ	数量(t)	420	503	474	719	641	1,319	647	1,686	3,449	5,344
	価額(万ドル)	1,379	1,385	1,753	2,479	2,120	4,193	1,946	4,143	5,623	7,455
	単価(ドル/kg)	32.8	27.5	37.0	34.5	33.1	31.8	30.1	24.6	16.3	13.9
アメリカ	数量(t)	141	108	153	160	158	193	156	217	162	319
	価額(万ドル)	1,406	1,067	1,458	1,372	1,414	1,492	1,080	1,424	1,253	1,819
	単価(ドル/kg)	99.7	98.8	95.4	85.8	89.5	77.3	69.2	65.6	77.6	57.1
韓国	数量(t)	58	73	32	47	50	47	46	73	83	91
	価額(万ドル)	1,569	1,584	530	1,342	1,711	1,978	2,272	3,193	3,672	3,230
	単価(ドル/kg)	270.5	216.9	163.7	285.5	342.2	420.9	493.9	437.4	444.9	356.1
北朝鮮	数量(t)	3	12	12	6	1	-	-	-	-	-
	価額(万ドル)	70	198	73	117	19	-	-	-	-	-
	単価(ドル/kg)	234.4	165.2	60.3	111.7	190.0	-	-	-	-	-
台湾	数量(t)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	価額(万ドル)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	単価(ドル/kg)	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	数量(t)	622	696	671	932	850	1,558	849	1,976	3,693	5,753
	価額(万ドル)	4,426	4,234	3,815	5,262	5,265	7,664	5,298	8,760	10,548	12,503
	単価(ドル/kg)	71.2	60.8	56.9	56.5	61.9	49.2	62.4	44.3	28.6	21.7

資料: Global Trade Atlas

※ 合計には、その他未掲載の国の値も含む

③ 台湾

国名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
中国	数量(t)	583	515	754	624	810	994	727	667	679	803
	価額(万ドル)	1,736	1,855	1,706	1,432	1,989	2,631	1,747	1,679	2,024	2,565
	単価(ドル/kg)	29.8	36.0	22.6	22.9	22.9	26.5	24.0	25.2	29.8	32.0
カナダ	数量(t)	115	120	52	94	53	173	81	107	56	75
	価額(万ドル)	550	767	232	421	220	555	250	336	171	279
	単価(ドル/kg)	47.9	64.0	44.3	44.8	41.5	32.1	30.9	31.4	30.5	37.3
韓国	数量(t)	92	67	38	44	49	44	46	32	39	26
	価額(万ドル)	1,387	1,102	606	882	1,032	977	1,127	677	1,122	741
	単価(ドル/kg)	150.8	164.5	160.6	200.5	210.6	222.0	245.0	211.6	287.2	281.4
アメリカ	数量(t)	10	4	14	16	13	19	22	37	27	22
	価額(万ドル)	153	101	86	135	138	101	141	156	172	169
	単価(ドル/kg)	153.3	253.2	61.8	84.4	106.2	53.2	64.1	42.2	64.8	76.8
北朝鮮	数量(t)	5	4	0	2	-	-	-	-	-	-
	価額(万ドル)	137	145	0	64	-	-	-	-	-	-
	単価(ドル/kg)	274.6	361.3	-	320.0	-	-	-	-	-	-
日本	数量(t)	2	2	2	-	-	-	-	-	1	0
	価額(万ドル)	7	5	10	-	-	-	-	-	8	0
	単価(ドル/kg)	34.9	26.8	61.9	-	-	-	-	-	63.4	45.1
合計	数量(t)	806	710	860	780	925	1,231	876	842	801	926
	価額(万ドル)	3,972	3,976	2,641	2,934	3,378	4,264	3,264	2,849	3,496	3,755
	単価(ドル/kg)	49.3	56.0	30.7	37.6	36.5	34.6	37.3	33.8	43.6	40.6

※ 合計には、その他未掲載の国の値も含む

④ アメリカ

国名		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
中国	数量(t)	115	286	358	367	355	60	24	33	47	27
	価額(万ドル)	1,628	2,325	3,284	2,879	2,733	201	82	110	111	67
	単価(ドル/kg)	141.6	81.3	91.8	78.4	77.0	33.5	34.2	33.3	23.6	24.4
香港	数量(t)	52	96	121	66	82	90	33	29	38	32
	価額(万ドル)	702	871	1,297	474	621	437	98	106	171	90
	単価(ドル/kg)	135.0	90.7	107.1	71.8	75.7	48.6	29.7	36.6	44.5	27.9
カナダ	数量(t)	77	38	36	36	27	45	15	21	37	131
	価額(万ドル)	490	332	334	269	203	274	97	110	307	853
	単価(ドル/kg)	63.6	87.5	92.0	74.7	75.2	60.9	64.7	52.4	83.5	64.9
韓国	数量(t)	47	48	12	6	8	8	13	12	17	10
	価額(万ドル)	178	139	79	74	73	70	98	78	119	131
	単価(ドル/kg)	37.9	29.0	66.1	123.3	91.3	87.5	75.4	65.0	71.2	130.3
台湾	数量(t)	5	8	0	4	7	66	19	4	4	2
	価額(万ドル)	125	165	5	84	70	383	126	74	103	86
	単価(ドル/kg)	250.1	206.8	216.9	210.0	100.0	58.0	66.3	185.0	281.4	407.4
ドイツ	数量(t)	1	6	1	0	0	0	-	-	-	-
	価額(万ドル)	14	11	15	0	0	1	-	-	-	-
	単価(ドル/kg)	137.6	18.6	132.7	-	-	-	-	-	-	-
合計	数量(t)	300	484	542	483	483	272	113	100	147	210
	価額(万ドル)	3,138	3,846	5,059	3,837	3,773	1,449	620	529	862	1,268
	単価(ドル/kg)	104.6	79.5	93.4	79.4	78.1	53.3	54.9	52.9	58.7	60.5

資料: Global Trade Atlas

※ 合計には、その他未掲載の国の値も含む

IV 和紙原料

1 生産状況（令和5年度実績）

（1）総括表

		こうぞ	みつまた	とろろあおい
面積 (ha)	栽培	34.4	34.9	1.8
	収穫	31.2	32.8	1.7
生産量 (t)	黒皮	17.6	0.1	12.4
	白皮	10.5	0.6	
	黒皮換算計	39.8	1.7	
栽培農家数 (戸)		239	100	43

注；こうぞ； 黒皮換算計＝（白皮生産量/0.47）＋黒皮生産量

みつまた；黒皮換算計＝（白皮生産量/0.40）＋黒皮生産量

（2）種類別年次別生産動向

①こうぞ

年度	面積 (ha)		生産量 (t)			10a当たり 黒皮収量 (kg)
	栽培	収穫	黒皮	白皮	黒皮換算計	
平成15	81	71	73	8	90	127
平成16	74	60	25	8	70	117
平成17	80	78	82	7	76	97
平成18	82	78	97	7	102	131
平成19	67	67	92	8	108	161
平成20	59	57	34	7	50	88
平成21	57	55	32	9	49	89
平成22	33	32	28	5	38	119
平成23	84	83	90	6	103	124
平成24	36	35	48	11	71	203
平成25	33	30	32	9	51	170
平成26	24	23	24	8	42	183
平成27	21	21	17	8	33	160
平成28	37	40	13	8	30	75
平成29	16	16	17	8	34	216
平成30	26	26	20	9	38	148
令和元	28	23	18	9	36	157
令和2	29	24	19	8	36	154
令和3	28	22	21	8	39	178
令和4	33	29	19	10	40	137
令和5	34	31	18	10	40	128

②みつまた

区分 年度	面積 (ha)		生産量 (t)			10a当たり 黒皮収量(kg)
	栽培	収穫	黒皮	白皮	黒皮換算計	
平成15	411	168	14	164	424	252
平成16	389	160	0	229	571	357
平成17	337	155	0	220	549	354
平成18	304	123	0	185	314	255
平成19	254	101	0	119	245	243
平成20	197	83	4	48	116	140
平成21	157	59	9	21	124	210
平成22	73	31	5	14	40	129
平成23	78	29	1	13	34	117
平成24	48	28	6	12	36	129
平成25	26	15	6	14	42	280
平成26	60	52	2	9	25	48
平成27	41	8	0	7	19	249
平成28	148	46	6	9	29	63
平成29	42	41	0	9	21	52
平成30	9	9	3	16	43	478
令和元	40	7	3	8	24	354
令和2	41	7	0	8	20	306
令和3	41	39	0	5	12	31
令和4	57	55	0	11	28	51
令和5	35	33	0	1	2	5

③とろろあおい

区分 年度	収穫面積 (ha)	生産量(t)	10 a 当たり 収量(kg)
平成15	3	26	867
平成16	4	45	1,125
平成17	4	47	1,175
平成18	4	20	500
平成19	4	1	25
平成20	4	12	300
平成21	3	37	1,233
平成22	1	12	1,200
平成23	3	29	1,072
平成24	3	34	1,133
平成25	3	25	904
平成26	3	22	746
平成27	6	18	307
平成28	6	19	334
平成29	2	19	853
平成30	2	15	750
令和元	3	10	362
令和2	2	19	925
令和3	2	14	795
令和4	2	13	712
令和5	2	12	711

(3) 都道府県別生産状況

①こうぞ

	面積 (a)		生産量 (kg)			経営体数	生産市町村
	栽培	収穫	黒皮	白皮	黒皮換算計		
岩手県	45.0	45.0	270.0	240.0	780.6	3	一関市
宮城県	27.8	27.8	120.0	70.0	268.9	1	白石市
山形県	20.0	20.0	0.0	36.0	76.6	1	白鷹町
福島県	199.7	190.0	766.0	192.0	1,174.5	6	二本松市、西会津町、いわき市
茨城県	736.5	731.5	130.0	4,060.0	8,768.3	56	常陸大宮市、大子町
栃木県	50.0	50.0	0.0	50.0	106.4	3	佐野市
埼玉県	66.2	35.2	1,045.1	0.0	1,045.1	4	小川町、東秩父村
長野県	69.5	69.0	155.2	34.5	228.6	5	長和町、飯田市、飯山市、木島平村
新潟県	250.0	225.0	2,410.0	2,680.7	8,113.5	5	長岡市、柏崎市、加茂市、魚沼市
富山県	313.0	273.0	1,020.0	420.0	1,913.6	4	朝日町、南砺市
福井県	39.2	39.2	70.5	0.0	70.5	4	越前市
石川県	20.0	20.0	120.0	0.0	120.0	1	白山市
岐阜県	200.0	200.0	60.0	390.0	889.8	34	飛騨市、美濃市
愛知県	34.0	15.0	300.0	0.0	300.0	2	岡崎市、豊田市
京都府	117.0	54.0	4,031.0	0.0	4,031.0	3	綾部市、福知山市
兵庫県	98.5	98.5	0.0	641.6	1,365.1	8	多可町
奈良県	19.0	19.0	300.0	300.0	938.3	2	吉野町
和歌山県	55.0	55.0	200.0	0.0	200.0	13	有田川町、日高川町
鳥取県	51.0	51.0	350.0	50.0	456.4	4	鳥取市
島根県	443.5	357.5	220.0	120.0	475.3	29	浜田市、江津市
広島県	36.0	36.0	540.0	324.0	1,229.4	1	大竹市
山口県	39.3	-	-	-	-	5	山口市
高知県	473.5	473.5	3,751.0	851.0	5,561.6	41	本山町、いの町、黒潮町、仁淀川町、津野町、禰原町、土佐市
佐賀県	32.0	32.0	1,730.0	0.0	1,730.0	4	嬉野市、佐賀市
計	3,435.7	3,117.2	17,588.8	10,459.8	39,843.6	239	

注：こうぞ；黒皮換算計＝（白皮生産量/0.47）＋黒皮生産量

②みつまた

	面積 (a)		生産量 (kg)			経営体数	生産市町村
	栽培	収穫	黒皮	白皮	黒皮換算計		
岩手県	1.0	1.0	10.0	0.0	10.0	3	一関市
福井県	-	-	-	-	-	-	越前市
京都府	18.0	-	100.0	0.0	100.0	2	福知山市
島根県	8.9	8.4	8.0	5.0	20.5	4	益田市、江津市、雲南市
岡山県	2,810.2	2,751.3	-	-	-	70	津山市、真庭市、美作市
山口県	219.8	88.8	-	-	-	12	山口市、長門市
徳島県	420.0	420.0	0.0	630.0	1,575.0	8	三好市、東みよし町
高知県	10.0	10.0	5.2	0.0	5.2	1	仁淀川町
計	3,487.9	3,279.5	123.2	635.0	1,710.7	100	

注；みつまた；黒皮換算計＝（白皮生産量/0.40）＋黒皮生産量

(3) 都道府県別生産状況

③とろろあおい

	面積 (a)		生産量 (kg)	経営体数	生産市町村
	栽培	収穫			
岩手県	1.0	1.0	-	3	一関市
宮城県	0.4	0.4	13.0	1	白石市
福島県	7.0	6.1	50.0	2	二本松市、西会津町
茨城県	70.0	70.0	9,000.0	7	小美玉市
埼玉県	36.5	36.5	2,366.0	9	小川町
新潟県	19.2	18.2	525.0	4	長岡市、加茂市、魚沼市
富山県	4.0	4.0	120.0	3	朝日町、南砺市
長野県	2.0	0.0	0.0	1	飯山市
福井県	2.0	2.0	40.0	2	永平寺町
愛知県	2.0	2.0	-	1	豊田市
兵庫県	16.7	16.7	-	4	佐用町
鳥取県	12.0	12.0	240.0	1	鳥取市
島根県	3.5	2.5	7.0	1	江津市
広島県	0.2	0.2	8.0	1	大竹市
高知県	2.3	2.3	-	2	仁淀川町、梶原町
鹿児島県	1.0	-	-	1	さつま町
計	179.8	173.9	12,369.0	43	

④その他(かじ)

	面積 (a)		生産量 (Kg)	経営体数	生産市町村
	栽培	収穫			
鹿児島県	5.0	-	-	1	さつま町
計	5.0	-	-	1	さつま町

(4) 生産抄紙の種類

都道府県名	こうぞ	みつまた	とろろあおい	その他
岩手県	色紙、名刺、半紙、障子紙	色紙、名刺、半紙、障子紙	色紙、名刺、半紙、障子紙	色紙、名刺、半紙、障子紙
宮城県	白石和紙		白石和紙	
山形県	深山和紙・和紙人形・名刺入れ・印鑑ケース・ペンケース・卒業証書・賀詞			
福島県	<ul style="list-style-type: none"> ・出ヶ原和紙 ・賞状用紙 ・版面用紙 ・襖紙 ・障子紙 ・水墨画用紙 		障子紙 水墨画用紙 冷凍15kg	
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・読書セット (ブックカバー・しおり) ・絵手紙セット (葉書・便箋) 		・糊	
栃木県	賞状用紙 (卒業証書)			
埼玉県	障子紙、大河原和紙		障子紙	
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・和紙 ・ハガキ ・和紙を活用した加工品 ・はがき ・便箋 ・障子紙 ・クラフト素材 ・インテリア ・ブックデザイン ・ラベル 		障子紙	
新潟県	和紙(加茂紙)、賞状、日本酒のラベル、障子・建具・壁紙など建築向け、書・画・版面など画材向け、美術用紙、民芸品、祭礼紙、卒業証書 など		製紙の原料	
富山県	-			
石川県	-			
福井県	壁紙、ふすま紙、美術用紙、名刺	賞状用紙、ふすま紙	壁紙、ふすま紙、美術用紙、名刺、賞状用紙	
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・ハガキ ・便箋 ・障子紙 ・賞状 ・習字紙 ・行灯、提灯紙 ・写真紙 等 			

都道府県名	こうぞ	みつまた	とろろあおい	その他
愛知県	卒業証書 三河森下紙		卒業証書 三河森下紙	
京都府	生漉紙 証書用紙など 文化財修復用紙 便箋 版画、印刷用紙	文化財修復用紙 便箋 版画、印刷用紙		
兵庫県	-		-	
奈良県	-			
和歌山県	-			
鳥取県	半紙 美術用紙	-	半紙 美術用紙	
島根県	半紙、彩色紙、猫ハウス 紙、洗える和紙、卒業証書	-	-	
岡山県		局納のみ		
広島県	はがき、便箋、障子紙、こ いのぼり用紙、書道紙		はがき、便箋、障子紙、 こいのぼり用紙、書道紙 ※とろろあおいは、こう ぞを使用して和紙を作る 際のつなぎとして少し使 用する程度です。	
山口県	-	-		
徳島県		紙幣		
高知県	障子紙 帳用紙 不織布 インテリア用紙 書道紙 版画紙 和綴じ帳 古文書修復	書道紙 版画紙 古文書修復 インテリア用紙	書道紙 版画紙 インテリア用紙	
佐賀県	障子紙、賞状用紙、うち わ、ランプ、はがき、名詞 台紙、名詞入れ、ペンケー ス、灯籠、卒業証書			
鹿児島県			手漉和紙（賞状・障子 等）	手漉和紙（賞状・障子 等）

V 生産組織等の現状と今後の方向性（令和5年度）

都道府県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性	
北海道	㈱夕張ツムラ	夕張市	70 人	トウキ	現状維持	
	夕張市	夕張市	—	キハダ、ハウノキ	現状維持	
	㈱夕張ツムラ	滝川市	—	トウキ、オウギ	規模拡大	
	滝川エゴマの会	滝川市	23 人	エゴマ他	現状維持	
	㈱月形町振興公社	月形町	6 戸	カノコソウ	栽培面積・生産量の拡大	
	北竜町畑作生産組合	北竜町	94 戸	ひまわり	現状維持	
	JA 道央薬草生産部会		江別市、恵庭市、北広島市、千歳市	17 戸	トリカブト他	現状維持
			千歳市	19 人	附子、当帰	面積及び生産数量拡大
	恵庭レッドキャベツ生産部会	恵庭市	—	レッドキャベツ	現状維持	
	当別薬用植物栽培研究会	当別町	15 戸	紫根（ムラサキ）	増加傾向	
	当別町亜麻生産組合	当別町	3 人	亜麻	現状維持	
	八雲町生薬生産部会	八雲町	12 戸	トウキ	作物の維持・拡大	
	やくもアグリサポート組合	八雲町	6 戸	ハトムギ	契約面積・生産量増大	
	㈱I Love ファーム	むかわ町	26 人	当帰	栽培面積・生産量の拡大	
	㈱サクラ	豊浦町	2 人	トリカブト	現状維持	
	天の川なたね生産組合	上ノ国町	2 人	なたね、えごま	現状維持（後継者なし）	
	あさひかわ農業協同組合	旭川市	12 人	薬用シソ	栽培契約面積による	
	JA たいせつハト麦生産部会	旭川市	10 戸（鷹栖町 5 名含む）	ハトムギ	拡大意向	
	(合) OMEGA ファーマーズ	士別市	8	エゴマ、亜麻	現状維持	
	薬用作物研究会	名寄市	24 人	カノコソウ	栽培面積・生産量の拡大	
	JA たいせつハトムギ生産部会	鷹栖町	10 名	ハトムギ	現状は飲料向け	
	上富良野町青シソ耕作組合	上富良野町	3 戸	青シソ	新規耕作者を募っている	
	和寒町農業活性化センター	和寒町	16 人	ホップ	栽培試験の結果次第	
	王子薬用植物研究所(株)	下川町	10 人	カンゾウ	現状維持	
	端野町シソ耕作組合	北見市端野町	8 戸	しそ	縮小傾向	
	置戸町ヤーコン生産組合	置戸町	2 人	ヤーコン	現状維持	
	佐呂間町農協紫蘇部会	佐呂間町	4 戸	ちりめん青シソ	縮小、後継者無し	
	生田原紫蘇生産組合	遠軽町	4 戸	青しそ	現状維持	
	遠軽町青しそ生産組合	遠軽町	6 戸	青しそ	現状維持	
	オホーツク網走生薬川芎部会	網走市	9 戸	川芎	現状維持	
	嘉多山薬草栽培組合	網走市	1 戸	当帰	縮小	
	滝上町畑作振興会（はっか生産部会）	滝上町	5 戸	和ハッカ	栽培面積・生産量の拡大	
	帯広市川西薬用植物生産組合		帯広市他	14 人	センキュウ	栽培面積・生産量の拡大
			帯広市他	14 人	トウキ	現状維持
	薬草生産研究会	上土幌町	12 戸	キバナオウギ	維持	
	新得農業協同組合	新得町	1 戸	ジオウ	現状維持	
	(有)コタニアグリ	更別村	1 戸	えごま、亜麻	生産拡大したい	
	大樹町農業協同組合	大樹町	1 戸	トウキ	現状維持	
	池田町薬草栽培研究会	池田町	6 戸	信州大黄	非	
	薬草研究会	豊頃町	3 戸	トウキ、オウギ	現状維持	
	㈱大前産業	白糠町	1 戸	しそ	現状維持	
(有)紫香舎	白糠町	1 戸	しそ	現状維持		
青森県	十和田むらさき保存研究会	十和田市	15	ムラサキ（紫根）	現状維持	
	薬草研合同会社	六戸町	1	芍薬	継続	
	青森えごまの会	おいらせ町	2	えごま	現状維持	
	下道建設(株)	おいらせ町	2	えごま	現状維持	
	合同会社テンコーファーム	五所川原市	3	キクイモ	規模拡大を目指す	
	太宰ファーム	五所川原市	3	キクイモ	生産量増大を目指す	
岩手県	しずくいし麻の会	雫石町	6	大麻	現状維持	

都道府 県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性
	(株)夕張ツムラ東北事業部 岩手事務所	岩手町	58	シヤクヤク、トウ キ、センキュウ、 ウド、ヨロイグ サ、モッコウ、カ ノコソウ、カワラ ヨモギ、シソ、ハ ナトリカブト、オ クトリカブト	重点品目を絞り安定生産と生 産拡大を目指す。
	(一社)大野もっこの郷	西和賀町	7	藍	採算を見ながら継続
	飯豊ホップ生産組合	遠野市	5	ホップ	面積を増やしたい計画あり
	宮古市川井しそ生産組合	宮古市	20	しそ	しその安定的生産、ブランド 化を目指す。GI申請中。
	田野畑村森林組合	田野畑村	1	クロモジ	生産量拡大
	野田村カモミール生産組合	野田村	4	カミツレ	生産を継続
	軽米エゴマの会	軽米町	17	えごま	—
	軽米町ホップ連絡協議会	軽米町	12	ホップ	—
宮城県	加美町薬用植物研究会	加美町	団体：3 個人：19	ムラサキ	—
	北江尻しあわせ届け隊	角田市	6	えごま	—
	(農)みのり	石巻市	4	オリーブ	石巻北限オリーブの認知度向 上
	(株)宮城リスタ大川		3		
	(一社)雄勝花物語		2		
	NPO ジョイフル網地島		2		
	相川オリーブの会		2		
	個人	1			
色麻町えごま栽培推進協 議会	色麻町	41	えごま	圃場の団地化を進め、面積の 拡大に繋げる	
丸森町えごま研究会	丸森町	27	えごま	生産規模・販路拡大、養豚農 家との連携(えごま豚)	
秋田県	(有)大野台グリーンファーム	北秋田市	14	ウド	現状維持
	大雄ホップ農業協同組合	横手市	22	ホップ	現状維持(若手や法人の新規 参入を促進し、将来的には収 量・面積の拡大を目指す)
	大雄ホップ農業協同組合 大館支部	大館市	4	ホップ	生産者の高齢化が進み、今後、 栽培面積の縮小が見込まれ る。また、収穫機械、乾燥機 等の修理、整備等が十分に 出来るか不安材料である。
	由利本荘えごまの会	由利本荘市	—	えごま	生産者の確保、面積の拡大
	東商事(株)	大仙市	1	えごま	現状維持
	仙北市薬草生産組合	仙北市	—	シヤクヤク、ビ ヤクシン	継続
	カミツレ生産組合	八峰町	7	カミツレ	生薬原料として毎年乾燥重 50 kgを出荷しているが、町特産 品の販売促進を図り町内流通 分を増産していく。
	キキョウ生産組合	八峰町	12	キキョウ	試験栽培により単収増大に成 功したため、R3 新規作付面積 を 57a に、R4 作付面積を約 1ha、R5 作付面積を約 1.5ha に 拡大した。R6 以降も新規作付 面積を徐々に拡大させ、2ha を 目標とする。
	美郷町生薬生産組合	美郷町	23	キキョウ	キキョウの栽培面積・生産量 の拡大 カンゾウ、センブリの品目追加
山形県	高瀬紅花生産組合	山形市	18	紅花	現状維持

都道府 県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性
	出羽もがみべにばなの会	山形市	4	紅花	現状維持
	落合「最上紅花」若菜を広める会	山形市	11	紅花	現状維持
	山形県南ホップ協同組合	白鷹町	32	ホップ	現状維持
	里山工房	山辺町	2	紅花	現状維持
	やまのべ紅やんま	山辺町	3	紅花	現状維持
	NPO 法人黒堀の里山保存会	中山町	86	紅花	紅花の普及活動・切り花等の商品販売の促進・体験型のワークショップの開催。
	葉山村塾	寒河江市	10	トリカブト	H28 から薬用植物の産地化による中山間地域の振興を目的に地域の有志により試験栽培を開始。これまで萌芽にも至らない状況であったが、国の研究機関に栽培方法を問い合わせる等して、一定の成果を得たことから、栽培を継続していくこととした。
	(株)朝日生薬	朝日町、山形市	3	オタネニンジン	栽培面積拡張・輸出向け加工検討
	山形ホップ組合	東根市	6	ホップ	継続栽培
	(株)サクセス・トレード	尾花沢市	1	えごま	遊休農地を活用したえごま栽培に取り組み、加工品として販路を拡大していく。
	戸沢村エゴマの会	戸沢村	9	えごま	栽培面積・生産量の拡大・会員数の拡大
	山形企画(株)	真室川町	1	カノコソウ	規模拡大
	(有)新庄最上有機農業者協会	鮭川村	1	芍薬	—
	(有)新庄最上有機農業者協会	鮭川村	5	蓬	栽培面積は全国的に稀。地元で加工販売したい。
	敬師の里未来づくり委員会	米沢市	3	紅花	現状維持
	庄内野の風ファーム(株)	鶴岡市	8	えごま	天候に影響されない生産体制の整備。
	遊佐町エゴマ研究会	遊佐町	4	えごま	現状を維持。
	福島県	ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会	二本松市	10	桑の葉
阿武隈山麓グリーンファーム		二本松市	47	えごま	現状維持
みらいアグリサービス(株)		伊達市	1	えごま	現状維持
おおたまエゴマの会		大玉村	11	えごま	えごまの栽培を継続し、遊休農地の解消を図る。
田村市エゴマ振興協議会		田村市	41	えごま	田村市の振興作物として、市内外への販路拡大に力を入れていきたい
(株)はたる浪漫		白河市	2	えごま	現状維持
個人		白河市	2	えごま	現状維持
喜多方ケナフ生産者協議会		喜多方市	10	ケナフ	継続
(株)エガワコントラクター		喜多方市	7	サフラン	継続
ばんだい薬草の会		磐梯町	8	薬用人参	野菜又は薬効として販売
ばんだい薬草の会		磐梯町	2	藍	6次化商品への取り組み
上野尻営農組合		西会津町	3	えごま	今後も引き続き生産拡大を図っていく。
桐の里産業(株)		三島町	1	えごま	えごまの大規模栽培及び商品化
奥会津金山エゴマの会		金山町	21	エゴマ	単収の増加、販路拡大を目指す
昭和村からむし生産技術保存協会		昭和村	27	からむし	国選定保存技術であるからむし生産と苧引きの保持継承を実施していく
東尾岐地区えごま栽培研究会	会津美里町	3	えごま	構成員数、作付面積の増加は見込めない。共に減少傾向。	

都道府県名	生産組織等名称	所在地(市町村名)	構成員数(戸・人)	作物名	今後の方向性
	会津美里エゴマの会	会津美里町	8	えごま	生産から加工までを一体的に行う
	立盛社	会津若松市	1	薬用人参	縮小
	有限責任事業組合クラウドゥ只見	只見町	4	ジャクヤク	栽培面積及び出荷数量の維持
	葛尾村じゅうねん部会	葛尾村	7	えごま	令和5年度限りで解散。
	(一社) いいたて結い農園	飯館村	50	えごま	えごまを使った村の特産品開発
	いわきおてんとSUN企業組合	いわき市	20	アジア綿	製品開発の強化及び地域ブランド化を目指す。
	大久じゅうねん保存会	いわき市	6	えごま	生産量及び品質の向上
	いわきオリーブ(株)	いわき市	4	オリーブ	加工商品開発による地域ブランド化を目指す。
	ビールの里川前プロジェクト	いわき市	20	ホップ	地域に醸造所を作り、地域ブランド化を目指す。
茨城県	岩崎えごま生産組合	常陸大宮市	20	えごま	地元えごまの生産振興を図り、道の駅常陸大宮と連携しえごま油、パウダーを加工販売
	内原地区胡麻栽培研究会	水戸市	9	ごま	現状維持
	茨城県黄蜀葵根契約栽培農協協議会	小美玉市	7	とろろあおい	ネコブセンチュウに効く薬剤や除草剤等の農薬登録がなく、機械による省力化が図れないことから新規栽培者の確保は難しいが、今後も引き続き、安定生産に向けて栽培者確保および省力化を検討していく。
	agri new winds	神栖市	2	トウキ	企業と提携し、栽培拡大を進めている。また、種とり用や育苗も栽培している。
	(株)マイファーム	行方市	1	トウキ	反収向上の施策を優先、面積は当面措置
	(株)マイファーム	鹿嶋市	1	トウキ	収量を増やさないと経営面積の拡大ができないため、当面の経営・面積については、現状維持
	個人	鹿嶋市	1	藍	現状維持
	(株)ベルファーム	つくば市	4	ケール	拡大していきたい。
	常陸生薬栽培組合	石岡市	2戸	トウキ	面積、生産用の拡大、品目の拡充
	常陸生薬栽培組合	石岡市	19戸	タマサキツツラフジ	面積、生産用の拡大、品目の拡充
	常陸生薬栽培組合	石岡市	12	サイコ	面積、生産用の拡大、品目の拡充
	八郷えごまの会	石岡市	14	えごま	高齢かつ手作業のため拡大は困難。現状維持。
	おおつか農園	龍ヶ崎市	2	えごま	面積、生産用の拡大
個人	常総市	1	ヤーコン	販路拡大、後継者の育成	
栃木県	個人	宇都宮市	1	加工用青刈り稲	現状維持
	個人	宇都宮市	1	加工用青刈り稲	現状維持
	(有)農業生産法人かぬま	鹿沼市	1	ハトムギ	ハトムギの生産流通について、現状の規模を維持していく。
	小山はとむぎ生産組合	小山市	9	ハトムギ	転換作物としてハトムギの生産規模拡大を図る。
	鹿沼市マカ振興連絡協議会	鹿沼市	7	マカ	マカの栽培技術向上を目指す。
	真岡木綿工房	真岡市	2	真岡木綿	高齢化と後継者不足が課題。小規模ながら栽培する個人を探している。
	茂木エゴマの会	茂木町	45	えごま	構成員は減っているものの収穫量は増加しており、エゴマ関連商品は手に入りやすい状況にある。このため、加工品個々のクオリティの維持、向上を目指すとともに、新商品の開発も順次進めていく。

都道府 県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性
	NPO 法人げんきフォーラム桑えごま部会	小山市	3	えごま	確実な収益につなげられる作物ではあるが、販路拡大が難しいため、栽培面積を減らしつつ、品質向上を図り、安定した収益につなげていく。
	薬草組合	壬生町	1	トウキ (ヤクソウ)	取引先の指導を受け良い物を作る。当分1名のまま。
	高根沢胡麻生産組合	高根沢町	20	ごま	更なる産地化のため、栽培面積の拡大・収益性の向上、より多くの農業者の参画を図ることが必要である。 当該組合では、引き続き、栽培技術の向上や作業負担の軽減を図るための機械化推進に取り組む。(収穫時の機械化が課題)
	個人	大田原市	1	大麻 (あさ)	面積は現状を維持していく。
	名草集落営農組合	足利市	10	藍	法人化
群馬県	JA 利根沼田薬草部会	昭和村	50 (令和6年現在)	トウキ	現在は生産者・生産量が増えている。生産者の高齢化により担い手の育成が急務。新規就農支援、安定生産に向けた技術指導も必要である。
	なし	高山村	—	トウキ、ミシマサイコ	こんにゃく、枝豆の講習会等で薬草の栽培について説明し、輪作作物として栽培
	なし	中之条町	—	—	各生産部会の講習会等で薬草の栽培説明をして輪作作物としてもらう
	なし	長野原町	1	トウキ	輪作作物として、取組を検討
	なし	東吾妻町	—	—	JA の青果物生産部会の会合等で薬草栽培を紹介し輪作をしてもらう
	赤城薬草部会	渋川市	4	トウキ	生産者の増加
埼玉県	小江戸農園オリーブ組合	川越市	3 戸	オリーブ	栽培面積、生産量の拡大
	(株)FAR EAST	飯能市	1 戸	ホップ	令和6年度20a 作付け予定
	(有)健康科学システム総研	飯能市	1 戸	マカ	令和6年度1a 作付け予定
	(有)健康科学システム総研	飯能市	1 戸	トウキ	令和6年度1a 作付け予定
	個人	狭山市	1 戸	金ゴマ	—
	個人	狭山市	1 戸	金ゴマ	—
	鶴ヶ島サフラン研究会	鶴ヶ島市	8 戸	サフラン	現状維持
	—	吉見町	2	ごま	—
	ビーナスファーム	熊谷市	1	ごま	拡大
	(有)モリシゲ物産	秩父市	2 人	えごま	集約化
	小川町トロアオイ生産組合	小川町	9	とろろあおい	栽培面積・生産量の拡大
	埼玉県小川和紙工業協同組合	小川町	3	こうぞ	栽培面積・生産量の拡大
	東秩父村和紙の里	東秩父村	1	こうぞ	現状維持
	柴果樹観光組合	東秩父村		こうぞ	現状維持
(一社) 嵐山町観光協会	嵐山町	1	ラベンダー	栽培方法を模索し、栽培面積・生産量に関しては現状維持	
千葉県	千葉薬用機能性植物生産推進協議会	白井市	2 戸	薬用作物	買い取り業者との契約を増やす。契約農家を増やす。
	とりや	白井市	1 人	搾油用ひまわり	栽培方法の確立。飼料として利用。
	東金市オリーブ組合	東金市	7 戸	オリーブ	産地化を目指す

都道府 県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性
	(株)理想郷	横芝光町	4	えごま	他品目への移行による縮小
神奈川県	小田原オリーブ研究会	小田原市	38	オリーブ	販路拡大に向けたPR活動
	湘南造園(株)	平塚市	1 法人	オリーブ	オリーブ畑の拡大 (中井町)
	二宮町園芸協会 オリーブ部会	二宮町	18	オリーブ	生産量の拡大、栽培技術の改善研究
	—	綾瀬市	—	オリーブ	対象農家が亡くなっているため検討中
山梨県	(株)スリーピークス	甲府市	1	サフラン	販路拡大
	帯那ホップ合同会社	甲府市	1	ホップ	規模拡大
	南アルプス市オリーブ栽培研究会	南アルプス市	19	オリーブ	栽培面積・生産量拡大
	みらいコンパニー	南アルプス市	10	ホップ	生産量の安定化
	野草のさと大月加工センター	大月市	10	ウコン、ヤーコン等	7ha 農地の有効栽培(有機無農薬を主体)
	(株)桑郷	市川三郷町	31(契約社員)	クワ	栽培面積・生産量の拡大
	まるいち農産加工所	市川三郷町	1	えごま	栽培面積・生産量の拡大
	早川エコファーム	早川町	1	えごま	継続・現状維持
長野県	信州薬用生産組合	佐久市	4	芍薬	減少
		佐久市	1	薬用人参	減少
	カモミール研究会	御代田町	4	カミツレ	現状維持
	カモミール研究会	佐久市	4	カミツレ	現状維持
	こもろ雑穀プロジェクト	小諸市	6	えごま	—
	長興社信州人参センター協同組合	上田市	13	オタネ人参(薬用人参)	上田地区は1人
	シナノアグリ(株)	上田市	3	地黄	縮小維持
	立岩和紙保存会	長和町	5	こうぞ	保存会メンバーの高齢化は著しいが、伝統文化を継承していくために活動を継続していく。
	(株)光変換光合成促進農法	箕輪町	5	大棗	—
		伊那市	2	大棗	—
		岡谷市	1	大棗	—
		伊那市	2	高麗人参	—
		塩尻市	7	高麗人参	—
		岡谷市	1	高麗人参	—
	原村薬草栽培促進会	原村	20	センブリ	面積、品目の拡大
	立沢ひまわりの会	富士見町	20	ひまわり	構成員の高齢化により活動が縮小傾向であり、作業を中山間役員に依頼している状況。
	個人	辰野町		えごま	生産者の増加。
	阿智村	阿智村	8	菊芋	生産者の高齢化による減少もあるが担い手農業者が作付面積を増やして生産量は確保していく
	ひさかた和紙の会	飯田市	60	こうぞ	人材育成、地域資源としての活用
個人	飯田市	1	こうぞ	個人使用 元結・和紙として活用	
上松町特産品開発センター利用組合	上松町	58	えごま、大豆	遊休農地の再生整備 えごま普及活動	

都道府 県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性
					えごま買取
	南木曾薬草の会	南木曾町	1	薬草	－
	斉藤農園	安曇野市	5	ホップ	現状維持
	小谷村キハダ生産組合	小谷村大字中 小谷兵 131	10	キハダ	需要があるため、今後も継続して出荷する
	小谷村農業再生協議会	小谷村	1	サルナシ	村直営で栽培しているため、後継者を育成している。
	ライ鳥えごまファーム	大町市	2	えごま	－
	農事組合法人北アルプス山麓わっぱら農園	大町市	5	ケール	規模拡大を希望
	松代電通(株)	長野市	8人	ヨモギ、アカザ、ヤーコン、ツルナ、ハブ草、ヤーコン、菊芋、長芋	取引先の需要に応じて生産量を対応するため、現状の生産面積を維持していく予定。
	(株)玉村本店	山ノ内町	6	ホップ	栽培面積の拡大
	小沼ほうき振興会	飯山市	17	ほうきもろこし	後継者の育成
	内山和紙体験の家	木島平村	1	こうぞ	畑栽培の工夫、製品製造過程における原料の最大限の活用等
静岡県	－	河津町	1戸	橙(枳実)	－
	－	河津町	2戸	甘夏(枳実)	－
	伊豆松崎町桜葉振興会	松崎町	29戸	桜葉	生産量の拡大
	企業組合松崎桑葉ファーム	松崎町	57戸	桑葉	販路の拡大
	(株)SHOUJI	函南町	1戸12人	菊いも	新たな販路や活用等の検討
	伊豆急ホールディングス(株)	伊東市	1戸	オリーブ	収穫量を増加させ、6次産業化の推進を図る
	－	三島市	1戸	赤しそ	現状、加工用のみ販売を行っているが、消費者ニーズの調査に努め、新たな販売方法を検討する。
	加藤工務店	沼津市	4戸	オリーブ	オリーブ関連製品や観光農園、新規農家に対する栽培技術指導
	(株)CREAFARM ふじのくに	静岡市	1社	オリーブ	生産量増加、加工施設等の整備
	八木間オリーブ研究会	静岡市	11戸	オリーブ	オイル利用
	駿府オリーブ研究会	静岡市	7戸	オリーブ	オイル利用
	上野田ファーム	島田市	14戸	オリーブ	試験的に植えており、拡大の意志は今のところない。今後の状況をみて判断。
	JA 大井川シソ研究会	島田市	5戸	シソ	現状維持の意向。
	合同会社ビアホップおおいがわ	島田市	1社	ホップ	現状維持の意向。
	掛川オリーブ研究会	掛川市	49戸	オリーブ	商品化、販路開拓
	JA 遠州中央塩蔵野菜部会	磐田市	14戸	しそ(加工用)	生産量の増加、安定供給
	JA 遠州中央エゴマの会	磐田市	102戸	えごま	反収の増加
(株)薬膳	牧之原市	1社	当帰(種子)	種子生産	
新潟県	個人	長岡市	1	エゴマ	継続生産
	(農) 荒巻ライトグリーン 21	長岡市	24	エゴマ	継続生産
	魚沼エゴマの会	魚沼市	2	エゴマ	現状維持
	阿賀町エゴマ組合	阿賀町	58	エゴマ	栽培者と生産量の拡大
	個人	長岡市	1	薬用作物	継続生産
	個人	長岡市	1	ヨモギ	生産拡大
	認定特定非営利活動法人UNE	長岡市	9	ヨモギ、ドクダミ	生産拡大
	(株)夢ガーデン	長岡市	10	ヨモギ、ドクダミ	生産拡大
	(株)Mt.ファームわかとち	小千谷市	3	ヨモギ	継続生産
	新発田薬草生産組合	新発田市	17	シャクヤク	面積拡大
	魚沼花き園芸組合	魚沼市	6	シャクヤク	(組合員数106人のうち、6戸で栽培) 現状維持

都道府県名	生産組織等名称	所在地(市町村名)	構成員数(戸・人)	作物名	今後の方向性
	坂井薬草組合	胎内市	8	トチュウ	中山間地域の休耕田を利用し栽培を継続
	百笑つばあな	胎内市	11	トチュウ	中山間地域の休耕田を利用し栽培を継続
	大沢和紙遠藤工房	魚沼市	1	こうぞ、とろろあおい	現状維持
	魚沼手すき和紙工房	魚沼市	1	こうぞ、とろろあおい	現状維持
富山県	富山県ハトムギ生産振興協議会	朝日町、上市町、小矢部市、高岡市、氷見市	4農協(富山県)	ハトムギ	現状維持～やや拡大(全農含む6農協で組織。うち1つは石川県のJAはくい)
	(農) 水土里	滑川市	3	エゴマ	現状維持
	室山野営農組合	滑川市	3	エゴマ	現状維持
	JA あおば えごま・ごま生産部会	富山市	22戸	エゴマ、黒ゴマ	拡大意向
	富山薬園会	富山市	8戸	カハットエース	現状維持
	富山薬草生産組合	富山市	3戸	シャクヤク、トウキ	生産面積・生産量の縮小
	(有)小原営農センター	富山市	1法人	シャクヤク	現状維持
	上市町薬用作物生産組合	上市町	12	薬用シャクヤク	マルチャー、収穫機の利用を増やしていく
	(株)宮野営農	砺波市	1	えごま	現状維持
	久目串柿生産組合	氷見市	6	柿(赤柿)	正月飾り用として市場からの要望数を確保、機械導入による生産効率向上の検討
	蛭谷和紙伝承協議会	朝日町	2	こうぞ、とろろあおい	—
	東中江和紙加工生産組合	南砺市	1	こうぞ、とろろあおい	—
	(一財)五箇山和紙の里	南砺市	1	こうぞ	—
	農事組合法人五箇山和紙	南砺市	1	こうぞ	—
石川県	神子清水生産組合(薬草)	白山市	8	トウキ	—
	(農)井ログリーンワークス	白山市	19	えごま	現状を維持したい
	JAはくいハトムギ部会	羽咋市、宝達志水町	12	ハトムギ	栽培面積を維持していく(11ha程度)。
福井県	三里浜オリーブ合同会社	福井市	33	オリーブ	規模拡大
	福井市木田地区生産組合	福井市	5	シソ	規模縮小
	福井県和紙工業協同組合	越前市	4	こうぞ	獣害被害を防ぎながら、栽培面積を拡張し、地産を進めたい
	福井県和紙工業協同組合	永平寺町、鯖江市	2	とろろあおい	栽培方法の研究を進めながら収量を向上を図る
	かわだ種苗	鯖江市	8人	サフラン	継続的な栽培を予定
	のむきエゴマの里	勝山市	27	エゴマ	猛暑や雨の災害の影響を受け、収量が激減した。R5年には岐阜県へ先進地視察、R6年2月には市内農業者向けに栽培の説明会を開催、新規栽培者の獲得に努める。また奥越農林総合事務所と一緒に直播の研究も行い、栽培方法の効率化及び品質向上を目指している。
	五箇特殊林産物振興組合	大野市	22戸	オウレン	後継者不足及び專業者の高齢化により、生産量が減少している。オウレン栽培を後世に引き継ぐためにも、PR活動等を通じた担い手の発掘や講習による生産技術の習得を図る。また、オウレン栽培に適した森林の整備や維持・拡大・再生を目指す。
岐阜県	大垣市薬草組合	大垣市	7	カミツレ	栽培面積や生産量を増加させるとともに、大垣市がカミツレの生産量が多い(日本一)

都道府 県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性
					ことをPRする。
	揖斐金ごま生産部会	揖斐川町	11戸	金ごま	生産拡大していく
	郡上八幡南天生産組合	郡上市	74	南天	広い世代へ向けたPRによる生産維持
	日吉機械化営農組合	瑞浪市	3	えごま	栽培を継続予定
	なし	中津川市	10	菊いも	—
	飛騨小坂あぶらえ生産組合	下呂市	22	えごま	組合員数と生産面積の拡大
	飛騨高山あぶらえ研究会	高山市	30	えごま	栽培研修等を継続
	なし	白川村	1	大麻	合掌造りの部材として、大麻から採取できる麻ガラを使用している。伝統技術等の継承のため栽培を継続する。
	飛系えごま出荷組合	飛騨市	61	えごま	H24年度立、飛系アルプス1号の種子配布及び栽培研修を継続
	美濃市こうぞ生産組合穴洞支部	美濃市	24	こうぞ	美濃市産こうぞの生産販売を促進することで、市内の紙漉き職人に、適価で良質なこうぞを提供する
	美濃市こうぞ生産組合蔵生支部	美濃市	7	こうぞ	美濃市産こうぞの生産販売を促進することで、市内の紙漉き職人に、適価で良質なこうぞを提供する
愛知県	岡崎市ぬかたブランド協議会	岡崎市	1	ヨモギ	引き続きヨモギの生産を行い、高品質となる製品の製造方法について試行、検討する。
	岡崎市ぬかたブランド協議会	岡崎市	1	こうぞ	引き続きコウゾの栽培に取り組み、効率的な栽培方法の検討及び製品開発に取り組む。
	小原コウゾ育成会	豊田市	30	こうぞ、とろろあおい	栽培面積、生産量の拡大を予定
	エゴマ研究会	設楽町	10	えごま	<ul style="list-style-type: none"> エゴマ(名倉種)の周知 エゴマ研究会の増員と作付面積の拡大 町内で名倉種を栽培している農家の調査
三重県	松阪エゴマ倶楽部	松阪市	13	えごま	現状維持
	JA多気郡奥伊勢えごま倶楽部	大台町	37戸 52人	えごま	栽培農家会員の拡大及び生産技術向上、品質安定化によるブランド力の強化、関連商品の開発による販路拡大。
	(株)伊勢麻	南伊勢町	3	麻	引き続き麻を栽培する
滋賀県	(一社)比良里山クラブ	大津市	1	しそ(加工用)	滋賀県環境こだわり農産物の認証を受けた「しそ」の生産と加工品(ジュース)の製造、販売を行う。 NPOや近畿大学、子どもを対象とした環境学習、食農教育を実施する。
	草津あおばな会	草津市	7(会員のうち生産者)	あおばな	草津市の特産として製紙用、食用ともに需要に応じた生産を実施する。
	高島市オリーブ生産者の会	高島市	14	オリーブ	市の特産化を目指す
	JAこうか水口かんぴょう部会	甲賀市	12	かんぴょう	GI取得を受けて、面積、生産量の拡大を図る。
京都府	ルネッサ普賢寺	京田辺市	6	ホップ	—
	あやべ楮の会	綾部市	8	楮	現状維持
	白道路楮栽培推進協議会	綾部市	4	楮	現状維持
	宮津オリーブ生産者の会	宮津市	40	オリーブ	栽培面積・生産量の拡大、栽

都道府県名	生産組織等名称	所在地(市町村名)	構成員数(戸・人)	作物名	今後の方向性
					培技術の向上、情報発信によりマーケティングを拡大し、6次産業化を目指している。
	京都与謝野ホップ生産者組合	与謝野町	8	ホップ	ホップは話題性も高い新規作物であり、今後収益作物として定着を目指し、収量の増大を図る。
大阪府	見山高原野菜出荷組合	茨木市	25戸	しそ	栽培面積が減少傾向
	個人	岸和田市、和泉市	1人	日本茜	—
兵庫県	農事組合法人志方東宮農組合	加古川市	614	綿花	現状維持
	東徳久地区農事組合法人	佐用町	113	ひまわり	—
	段宮農組合	佐用町	16	ひまわり	—
	漆野農地保全組合	佐用町	10	ひまわり	—
	農事組合法人真盛	佐用町	6	薬用作物	—
	NPO法人但馬薬用植物研究会	香美町	14	甘草	栽培技術の確立
	NPO法人但馬薬用植物研究会	香美町	5	しょうが	量産化、販売・商品化
	新温泉町えごま研究会	新温泉町	30	えごま	栽培技術の確立、量産化、販売・商品化
個人	朝来市	5	ホップ	地域おこし協力隊が中心となり、ホップを栽培し、クラフトビールの商品開発を行う	
奈良県	Indigo Classic	奈良市	1	藍	自社製品の染料原料並びに染料としての販売。
	HAMA 木綿庵	天理市	1	陸地綿、アジア綿	綿作りを通して不登校、ひきこもり、うつ、対人恐怖症など心が閉じこもりがちの人たちを支援。
	タピオ(株)	広陵町	1	陸地綿	今後も生産を継続予定
	つちや織物所	奈良市	1	アジア綿	自社の綿織物製品の原料として生産を行う。
	大和高原甘茶栽培協議会	奈良市	3	アマチャ	新規栽培希望者がいれば生産拡大を図る方向。
	森田アロエ本圃	天理市	1	アロエ	自社で加工品を製造・販売。
	NPO法人奈良市東部エゴマの郷	奈良市	3	エゴマ	加工品の需要に応じて面積を調整・需要が高まれば耕作放棄地等で栽培面積の拡大を図る。
	ヤマトファーム(株)	王寺町	1	オリーブ	町内生産者を拡大予定
	秋津宮農組合	御所市	8	カラハリスイカ	生産者の拡大に向けて検討していきたい
	社会福祉法人青葉仁会	奈良市	1	トウキ	令和5年度で栽培は終了。
	佐藤薬品工業(株)	橿原市	1	トウキ、シャクヤク	自社で生薬栽培に取り組み製品化を進めている。
	えいのうキトラ	明日香村	24	トウキ、シャクヤク、シコン	耕作放棄地対策及び高齢者の活動の場の提供を目的として薬用作物の栽培を実施
	宇陀市薬草協議会	宇陀市	76	トウキ	他の薬草作物の栽培についても検討している。
	今井薬草生産組合	曾爾村	5	トウキ、ヨモギ	主としてトウキ葉の販路開拓、加工品開発に取り組む。
	北山社中	下北山村	3	トウキ	生産拡大方向
	吉野町薬草生産組合	吉野町	8	トウキ	現状維持
	(有)ポニーの里ファーム	高取町	1	トウキ(葉)	トウキ生葉の生産出荷や、加工品の開発販売等に取り組んでいる。
	高取ワークス(育成会)	高取町	1	トウキ(根)	身障者施設であり、身障者の

都道府 県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性
					活動の場の提供を目的として 薬用作物の栽培を実施
	はとむぎ(株)	奈良市	1	ハトムギ	親会社太陽食品(株)へ全量販売。
	深吉野よもぎ	東吉野村	5	よもぎ	現状維持
和歌山県	ながみね農業協同組合山 椒部会	海南市、紀美 野町	317	山椒	改植による園地の若返り、作 付け拡大
	当帰生産組合	高野町	2戸 4人	大和当帰	収穫量の増加、担い手の確保
	JA ありだ山椒部会	有田川町	220	山椒	改植・新植の推進
	農事組合法人和歌山薬草生 産組合	印南町	15戸	枳実	現状維持
鳥取県	陣構茶生産組合	大山町	3人	エキナセア	現状維持か減少方向
	鳥取県薬農協同組合	鳥取市	34	カワラケツメ イ、ナタマメ、 桑、ドクダミ、 菊いも、エキナ セア、ヤーコン	栽培面積・生産量の拡大
	自然生活	伯耆町	6	薬用、染色作物一式	栽培用種子、苗の生産育成
	個人	倉吉市	1	ごま、えごま	安定した収量を確保し、所得 向上を図る
	若桜町エゴマ生産組合	若桜町	30	エゴマ	販路拡大のためのPRを実施する
	THA えごまのさいとう	日野町	1戸 3人	えごま	栽培面積・生産量および販路拡大
	彌生ファーマー	日野町	5戸 5人	エビスグサ	栽培面積・生産量および販路拡大
	(一財) 境港市農業公社	境港市	7	和綿(伯州綿)	現状を維持していく
島根県	大根島雲州人蔘協議会	松江市	9	雲州人蔘	・栽培面積、生産量の拡大 ・効率的な生産体系の確立
	三隅町農業支援センター みらい	浜田市	9	楮	石州半紙原材料の安定供給
	上今明どろんこアグリー 営農組合	浜田市	19	楮	石州半紙原材料の安定供給
	露地野菜部会	出雲市	17	モロヘイヤ	面積の維持を目指す
	斐川町ハトムギ部会	出雲市	11	ハトムギ	—
	出西生姜組合	出雲市	1	しょうが	出西生姜ブランドの浸透と拡 充・維持を目指すとともに、 従来から取引のある、菓子(し ょうが糖)原料確保のため、 一定の生産量を維持する
	大田市えごま生産組合	大田市	27	えごま	生産拡大・農業所得の向上を目指す
	大田市カモミール生産組合	大田市	6	カモミール	生産拡大・農業所得の向上を目指す
	(有)桜江町桑茶生産組合	江津市	36	桑葉	生産量向上を図る
	(有)スプラウト島根	江津市	8	大麦若葉、ハト ムギ、えごま	大麦若葉、えごまの作付けを 進める
	奥出雲エゴマの会	奥出雲町	39	えごま	継続予定
	有機の美郷(有)	美郷町	7	大麦若葉、生姜、 はと麦若葉、はと 麦実、桑、玉ねぎ、 ケール、キクイモ	大麦若葉を主体に単収を上げ ることに努める
岡山県	和気漢方医薬研究会	和気町	10人	サンシュユ	令和元年より「NPO 法人草木を 育てて地域産業と観光資源を 創る会」から事業引継
	NPO 法人和気サンシュユ の会	和気町	100人	サンシュユ	耕作放棄地の防止と地域保全 を図り、また、観光資源とし ての事業の推進も図る
	日本オリーブ(株)	瀬戸内市	6人	オリーブ	オリーブの作付本数の増加、木1 本当たりの収量を増加させるた

都道府県名	生産組織等名称	所在地(市町村名)	構成員数(戸・人)	作物名	今後の方向性
					め、栽培方法の検討を行う。
	個人	浅口市	1戸	オリーブ	認定農業者、生産規模拡大
	晴れの国岡山農業協同組合井原市薬用作物部会	井原市	17人	シャクヤク	栽培面積の拡大
	美和みつまた生産組合	真庭市	10人	みつまた	(原木生産：10人、加工1人)現状維持
	岡山県北部みつまた生産組合	真庭市	50人	みつまた	栽培面積拡大、収量の増
	真庭薬草栽培生産組合	真庭市	1人	ゲンノショウコ	現状維持
	美作市エゴマ生産部会	美作市	21人	えごま	—
	三室農事組合法人	新見市	17戸	ケール	現状維持
広島県	(株)世羅菜園	世羅町	6	えごま	現状維持
	庄原市エゴマ生産普及協議会	庄原市	43	えごま	～令和5年4月11日
	庄原市エゴマ生産者友の会	庄原市	43	えごま	令和5年4月12日～
	なし	呉市	—	オリーブ	オリーブの生産者が増え、栽培面積も拡大し、市内にオリーブ栽培が普及されれば、将来的に生産者組織ができる可能性がある。
	江田島市オリーブ栽培者の会	江田島市	190人	オリーブ	栽培講習会の開催や先進地視察等を行い、栽培技術の向上を目指す。
	一般社団法人百人邑	広島市	1戸	トウキ、サイコ	面積拡大、産地化推奨
	(株)ライフデザインマンボ(サボナーズカフェ)	北広島町	1	トチュウ	継続
	おおたけ手すき和紙保存会	大竹市	48人	こうぞ	現状維持
山口県	(農)うもれ木の郷	阿武町	107	トウキ、シャクヤク	現状維持
	(農)福の里	阿武町	127	トウキ、シャクヤク	現状維持
	農事組合法人伊陸美味	柳井市	51	しそ(加工用)	現状維持
	ハーベストファーム	萩市	6	オリーブ	搾油について課題有(搾油施設)
徳島県	美馬市生薬生産組合	美馬市	39	ミシマサイコ、サンショウ(育成中)	組合の会計、事務について検討し、本組合の事務局は令和6年7月よりJA徳島県脇町営農経済センター販売課内に置くこととなった。
	徳島県美馬つるぎ地区キクイモ栽培加工消費研究会	美馬市、つるぎ町	15	菊いも	—
香川県	まんのう町地域振興研究会	まんのう町	32	ひまわり	実需者からの要望もあり、油用として生産量の確保を目指し、栽培技術の平準化に取り組む。
	みとよ薬用作物栽培組合	三豊市	70	ミシマサイコ、ダイダイ(枳実)、トウキ	研究会から栽培組合として組織再編して、小規模面積での参加農家を募りながら生産量の確保に取り組んでいる。
愛媛県	ポパイズクラブ	今治市	6	オリーブ	生産量の拡大
高知県	農事組合法人ヒューマンライフ土佐	越知町	50	ミシマサイコ	栽培戸数・栽培面積の拡大(構成員に町外の生産者含む)
	農事組合法人ヒューマンライフ土佐	越知町	199	サンショウ	栽培戸数・栽培面積の拡大(構成員に町外の生産者含む)
	農事組合法人ヒューマンライフ土佐	越知町	116	ダイダイ	栽培戸数・栽培面積の拡大(構成員に町外の生産者含む)
	黒潮町佐賀北部活性化協議会	黒潮町	1	こうぞ	現状維持もしくは規模縮小
	共同作業所わらわら(特定非営利活動法人つながり)	三原村	1法人	セネガ	現状維持
	JA高知県十和支所セネガ研究会	四万十町	7	セネガ	栽培面積拡大及び会員数増による生産拡大

都道府県名	生産組織等名称	所在地(市町村名)	構成員数(戸・人)	作物名	今後の方向性
	JA 高知県十和支所センプリ部会	四万十町	11	センプリ	栽培面積拡大及び部会員数増による生産拡大
	JA 高知県十和支所特産部アロエ部会	四万十町	6	アロエ	現状維持～縮小
	尾崎製紙所	仁淀川町	1	みつまた	自給自足に向け試験栽培
福岡県	JA 糸島ケール部会	糸島市	3	ケール	契約栽培によって原料の生産・出荷を行っている。取引先が経営を縮小し契約数量を減少された。本年度にて契約終了。
	宇美町薬用作物生産部会	宇美町	18	ドクダミ、ヒュウガトウキ、ミシマサイコ、ローズマリー	ローズマリーの栽培面積の拡大
	かわせみの会	うきは市	7	ケール	—
	㈱大任ニンニク食品	大任町	—	ニンニク	—
佐賀県	個人	佐賀市	3戸	モリンガ	現状維持
	NPO 法人	佐賀市	多数	菊いも	現状維持
	個人	佐賀市	1戸	菊いも	現状維持
	名尾手すき和紙㈱	佐賀市	1戸	こうぞ	現状維持
	武雄そだちレモングラス ハッピーファーマー	武雄市	4戸	レモングラス、しょうが	現状維持
	玄海町薬草生産組合	玄海町	9戸	カワラヨモギ、ホーリーバジル、ミシマサイコ、ドクダミ	規模拡大
長崎県	宗像産業(有)	西海市	3	ジャクヤク、サフラン	生産者の体調等の理由により縮小
	愛津原馬鈴薯生産組合	雲仙市	6	ひまわり	継続
	JA 島原雲仙愛の小町生産組合	雲仙市	3	ひまわり	継続
	ひまわりで町おこしたい	雲仙市	19	ひまわり	継続
	雲仙市オリーブ協議会	雲仙市	5	オリーブ	継続
	ながさき南部生産組合	南島原市	5	黒ごま	現状維持
	南島原市オリーブ生産者協議会	南島原市	39	オリーブ	栽培技術の普及
	原城オリーブ	南島原市	5	オリーブ	栽培技術の普及
	南島原市オリーブ TEAM	南島原市	5	オリーブ	栽培技術の普及
	農業生産法人五島七岳ファーム(有)	五島市	1	桑(茶)	自家販売、現状維持
	農事組合法人ごとう茶生産組合	五島市	3	レモングラス	販路開拓、生産拡大
	長与町オリーブ振興協議会	長与町	11	オリーブ	現状維持
熊本県	JA やつしろ特産物部会	八代市	34人	サンショウ	補助金を活用し苗の導入を行った。
	東陽山椒部会	八代市	6人	サンショウ	補助金を活用し苗の導入を行った
	ひとよし薬草部会	人吉市	—	ミシマサイコ	薬用作物であるミシマサイコの栽培面積及び農家数も年々増加傾向にある。
	錦町薬草生産組合	錦町	24戸	ミシマサイコ	今後ビーンハーベスターが必要。
	㈱MFT	山鹿市	—	そば	今後も部会内において研修会や講習会を行い、技術及び収益力向上に努める。
	個人	宇土市	—	モリンガ	モリンガの面積が増加した。生薬のみでなく、加工品等新商品開発も検討中。
	(有)御立岬(第3セクター)	芦北町	—	オリーブ	オリーブの臨床栽培を実施。
	西安岐地区活性化協議会	国東市	16	大麦若葉	耕作放棄地戸等を活用し、地域産業の活性化を図る
	弁分営農組合	国東市	6	大麦若葉	後継者の育成
大分県	上治郎丸農地利用組合	国東市	42	ひまわり	—
	杵築市薬用植物栽培組合	杵築市	26	キキョウ	令和6年作付け継続

都道府 県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性
	杵築市カワラヨモギ部会	杵築市	2	カワラヨモギ	令和6年作付け継続
	(農)上詰アグリドリーム	大分市	21	ハトムギ	現状維持
	(農)ONOファーム	大分市	5	ハトムギ	廃止
	(有)豊後大分有機茶生産組合	臼杵市	1	大麦若葉	茶製造設備の閑散期の有効活用として生産している。今後も現在の生産規模を維持していく。
	都松振興協議会	臼杵市	28	えごま	地域特産物としての確立を目指している。今後、地域のできる範囲での生産拡大を予定している。
	農業のタカダ	湯布院町	1	トウキ、米	面積拡大予定
	農事組合法人ゆのきナチュラルファーム	庄内町	17	ハトムギ	現状維持～拡大
	農事組合法人南田代	挾間町	38	ハトムギ	現状維持
	農事組合法人なかえ	挾間町	24	ハトムギ	現状維持～拡大
	九州竹田市産ホップ研究会	竹田市	3	ホップ	栽培技術の確立、生産量の安定化
	(農)紫草の里営農組合	竹田市	39	ムラサキ	安定供給
	竹田市サフラン生産組合	竹田市	23	サフラン	後継者確保、生産量維持
	麦葉生産組合	宇佐市	12	大麦若葉	現状維持
	豊後高田市そば生産組合	豊後高田市	6	ハトムギ	乾燥調製施設の容量により、現状維持
	香々地ボタンボウフウ研究会	豊後高田市	3	ボタンボウフウ	栽培面積拡大する意向
	上後川内・川平営農組合	高原町	130	えごま	作付面積を維持していく。
	法人祓川	高原町	13	ミシマサイコ	作付面積を維持していく。
宮崎県	六車農園	川南町	55	しそ、大麦若葉	規模拡大を図る。
	アグリトピアおすず	川南町	17	しそ	規模拡大を図る。
	日向市オリーブ研究会	日向市	4	オリーブ	継続して栽培を行い、収穫増及び加工販売を目指す。
	(株)ひのかげアグリファーム	日之影町	4	白ウコン	生産を継続する。
	アロエ本舗(株)	鹿児島市	1戸(1法人)	キダチアロエ	現状維持(人で不足によりR5から指宿への作付けができていない。R6についても未定。)
鹿児島桑生産組合	鹿児島市	2	クワ	後々の競合を考え、機能性成分の高い品種の栽培を増やしていく。	
鹿児島県	日置市オリーブ部会	日置市	68	オリーブ	生産量の拡大を図る
	薬草日置栽培部会	日置市	13	ミシマサイコ	需要量の拡大により、面積拡大を図っていく
	社会福祉法人山川がんばろう館	指宿市	8	キダチアロエ、バンジロウ、クコ、ビワの葉	現状維持
	鹿児島県薬用作物生産組合(南さつま部会)	南さつま市	7	ミシマサイコ	栽培技術の向上に努め、収量と品質の安定化を図り、契約メーカーとの関係安定を目指す
	南さつまオリーブ共和国協議会	南さつま市	28	オリーブ	栽培技術の向上に努め、収量と品質の安定化に勤め、本市に適した栽培技術を実証・普及する。
	金峰キクイモ研究会	南さつま市	13	菊イモ	栽培技術の向上に努め、収量と品質の安定化を務める。
	グリーンベースちらん(株)	南九州市	1	ごま	現状維持
	農事組合法人松山茶生産組合	南九州市	13	大麦若葉	商品価値の高い有機栽培の拡充、品質(色・異物なし等)の管理向上、単収改善の為の耕作技術
	高槻電器興業(株)	南九州市	30	モリンガ	現状維持
	鹿児島県薬用作物生産組合南九州部会	南九州市	5	ミシマサイコ	生産戸数の増(5戸→6戸へ)

都道府 県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性	
	合同会社まくらざき桑本舗	枕崎市	2	桑茶	販売体制の確立と販路拡大	
	鹿児島県薬用作物生産組合大隅栽培部会鹿屋支部	鹿屋市	6	ミシマサイコ	洗浄機・種子収穫機の導入	
	ワダツミ農園(株)	錦江町	1	モリンガ	現状維持	
	(有)美土里	錦江町	1	モリンガ	現状維持	
	センリファーム(株)	曾於市	1	アスタバ、モリンガ、ケール、ボウフウ	現状維持	
	(有)勝目製茶園	曾於市	1	大麦若葉	現状維持	
	非	志布志市	9	大麦若葉	安定した生産を図る	
	さかうえ(株)	志布志市	1	ケール	安定した生産を図る	
	非	志布志市	1	モリンガ	安定した生産を図る	
	西之表市ガジュツ振興会	西之表市	34	ガジュツ	契約栽培のため、出荷先との調整になる。出荷先が面積の減反を希望する一方、栽培者においても高齢化が進み栽培者が減少傾向にあるため、全体的に減反せず、栽培者減で面積の調整を図っている。	
	中種子町ガジュツ振興会	中種子町	11	ガジュツ	現状維持	
	南種子町ガジュツ振興会	南種子町	48	ガジュツ	現状維持	
	榮農園	奄美市	1	コーヒー	現状維持	
	ウムイ(株)	奄美市	1	コーヒー	規模拡大	
	喜界町ごま生産振興協議会	喜界町	11	ごま	安定生産・集荷、品質向上に向けた取り組みを実施する。	
	向春草生産組合	徳之島町	1	アザミ	現状維持	
	徳之島コーヒー生産者会	伊仙町	29	コーヒー	規模拡大	
	沖永良部健康食品開発研究会	和泊町	1	クワ	縮小	
	知名町シマ桑生産組合	知名町	3	シマグワ	品質の良いシマグワ栽培を行い、安定的な生産体制の確立を目指す。	
	メローグリーンたかえ	東村	3	ハーブ	消費者ニーズに合致した加工品の開発と販売拡大	
	(株)眠り草本舗	今帰仁村	2	クワンソウ	—	
	沖縄県	琉球藍製造技術保存会	本部町	17	琉球藍	人材育成の強化や藍染め体験など普及活動に力を入れたい
		(株)沖縄還元フーズ	名護市	45	春ウコン、秋ウコン	栽培方法の指導の徹底による生産量の増加
個人		恩納村	1	コーヒー	—	
うるま市い草生産組合		うるま市	14	い草	—	
グァバ生産組合		うるま市	30	グァバ	—	
(株)沖縄美健販売		浦添市	—	シマグワ(葉、実)	一部生産性の上がらない畑を返還予定	
		糸満市	—	シマグワ(葉、実)	栽培面積拡大予定	
		西原町	—	シマグワ(葉)	現状維持	
農業生産法人株式会社仲善		南城市	3	クミスクチン	現状維持	
			5	ゴーヤー	若干拡大	
			4	ニシヨモギ	現状維持	
			3	バタフライピー	自社栽培を増やす	
			1	ウコン	自社栽培を増やす	
	30		ウコン類 他	コロナ明けの販売量が好調なため、ウコンが品薄状態にあり、栽培量拡大が急がれる。降雨頼み農業(灌漑施設不足)で収穫量が不安定な状態からの脱却を図りたい。当組合は、6次産業のため、ウコン製品などの増産加工のための機械更		

都道府 県名	生産組織等名称	所在地 (市町村名)	構成員数 (戸・人)	作物名	今後の方向性
					新・増設も急がれる。
	農事組合法人久米島コー ヒー生産組合	南城市	6	コーヒー	6次産業化に向けて商品開発 等への展開
	(株)琉球ハーベスト	久米島町	1	バナラビーンズ	6次産業化に向けて商品開発 等への展開
	多良間産島にんにく生産組合	多良間村	12	にんにく	作付面積の拡大、生産量増加
	多良間塩川地区農業用施 設利用組合	多良間村	4	とうがらし	作付面積の拡大、生産量増加
	ノニ生産組合	多良間村	6(9)	ノニ(ヤエヤマオ キ)	作付面積の拡大、生産量増加
	Chula Sya	石垣市	1	バナラビーンズ	同作物の生産者の増加
	農事組合法人うれしい農	竹富町	6	もちきび	栽培面積・生産量の維持

VI地域活性化の取り組み（令和5年度）

都道府県名	市町村名	作物名	取り組み主体	実施内容
北海道	月形町	カノコソウ	㈱月形町振興公社	薬用作物を輪作に取り入れることにより連作障害の軽減、農業所得の増に寄与することを目指す。
	北竜町	ひまわり	北竜町	北竜町のシンボルである「ひまわり」から油脂製品を生産し、その製造販売を通じて交流人口の増加を図る。
	千歳市	附子・当帰	JA 道央薬草生産部会	可能な限り機械作業化を進め地域輪作物としての定着を図る
	和寒町	ホップ	農業活性化センター「農想塾」	特産品振興のため、生産したホップを使ってクラフトビールの製造に取り組んでいる。
	下川町	カンゾウ	王子薬用植物研究所(株)	耕作整理予定地を活用し、製品化を図り地域の活性化を行う。
	置戸町	ヤーコン	置戸町ヤーコン生産組合	地元特産品として生産。R4 年度に置戸町ヤーコンを練りこんだ乾麺を置戸町観光協会で開催し、同協会で販売をはじめた。
	遠軽町	青シソ	遠軽町青しそ生産組合	生産した香料を使用した食品に地元の道の駅で販売することで、産地 PR 等を行っている。
	滝上町	和ハッカ	和ハッカラボ	和ハッカ（油）を活用した商品の開発・販売、国内における希少な和ハッカの生産地として、地域の PR 活動を展開している。
	和寒町	ホップ	農業活性化センター「農想塾」	特産品振興のため、生産したホップを使ってクラフトビールの製造に取り組んでいる。
	下川町	カンゾウ	王子薬用植物研究所(株)	耕作整理予定地を活用し、製品化を図り地域の活性化を行う。
岩手県	遠野市	ホップ	遠野ホップ収穫祭実行委員会（遠野市役所内）	ビールや遠野の旬の食材を味わいながらホップの収穫を祝うイベント「遠野ホップ収穫祭」の実施
	一関市	こうぞ、みつまた、とろろあおい	一関市	【東山和紙振興会】R6. 3. 5 福島県三春町で寄贈した楮の収穫、同町との意見交換
	野田村	カミツレ	野田村カモミール生産組合	カミツレ栽培出荷
	九戸村	アマチャ	九戸村	新植面積に応じて補助（村単）を実施
宮城県	加美町	ムラサキ	加美町ムラサキ6次産業化協議会	紫根の加工・販売に取り組む
	石巻市	オリーブ	石巻市	栽培指導、未収益期間助成、販売支援等
秋田県	横手市	ホップ	大雄ホップ農業協同組合	ホップ文化を継承していく為に、横手市、ビール会社、地元民間企業、大雄ホップ農業協同組合による官民連携の活動として、平成 30 年に「よこてホッププロジェクト」をスタートした。ホップ農協の改革、市民活動、地元産業との連携、広報活動など各部会制により、機能分化をしながら取り組んでいる。
	八峰町	カミツレ	八峰町	生薬原料を活用して町内特産品の開発を順次行っており、R3 からは食品原料として流通させている。特産品販売促進により食品原料増産を図る。
	八峰町	キキョウ	八峰町	生薬規格外品を活用して町内特産品の開発を行っており、今後は規格外品（食品原料）の流通量を増大させる。また、根の肥大を図るために切り落とす花や、廃棄している収穫根のひげ根や表皮等の有効活用を検討する。
山形県	中山町	紅花	NPO 法人黒塀の里山保存会	柏倉九左衛門家前の紅花畑を管理し、紅花祭りを開催・町内の小学校 2 校で紅花栽培・紅餅作り・紅花染めを指導・紅花を使用した商品の開発と販売、㈱DMC 天童温泉が企画した「紅花と柏倉家のストーリーを追う紅花染めツアー」への協力・運営をし、シルクのストールを使用した紅花染め体験を行った。

都道府県名	市町村名	作物名	取り組み主体	実施内容
	寒河江市	トリカブト	葉山村塾	地域の有志により、H28 から薬用植物の産地化による中山間地域の振興を目的に試験栽培を開始。これまで萌芽にも至らない状況であったが、国の研究機関に栽培方法を問い合わせる等して、一定の成果を得たことから、栽培を継続していくこととした。
	戸沢村	えごま	戸沢村エゴマの会	6次化製品の開発、地元雇用の創出、産直施設などでの出品
	鮭川村	ヨモギ	(有)新庄最上有機農業者協会	約15年前から県内食品製造会社を通じて全国の和菓子店などに販売。
福島県	二本松市	桑の葉	ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会	生産者より桑の葉を集め、ゆうきの里東和で荒茶とパウダー加工を行っている。
		えごま	阿武隈山麗グリーンファーム	生産者コミュニティ形成、健康維持
	伊達市	えごま	みらいアグリサービス(株)	6次化商品の開発・販売
	田村市	ホップ	(株)ホップジャパン	ホップ収穫体験
	棚倉町	菊いも	東日本薬草合同会社	ピクルス、ドレッシング、茶、チップス等に加工・販売。いずれも町のブランド認証製品となっている。
		えごま	(有)日本メグスリノキ本舗	ドレッシング、油等に加工・販売。ドレッシングが町のブランド認証製品となっている。
	塙町	えごま	道の駅はなわ	搾油機を使用してえごま油の生産
	三島町	えごま	桐の里産業(株)	耕作放棄地再生及び商品作物作付けによる農業振興や鳥獣害対策
	昭和村	からむし	昭和村	からむし織体験生制度の実施による後継者育成を推進していく
	下郷町	えごま	JA	えごま選別機導入による生産促進
	南会津町	藍	南会津町教育委員会	奥会津地方の自然や文化、歴史の魅力を総合的に展示している「奥会津博物館」では、伝統工芸である藍染体験を実施している。材料となる藍を町内で育て、染(すくも)作りを行い、南会津町産の藍を使用して本藍染を行うことができれば、さらに藍染体験をとおして地域の伝統や文化の継承と、地域資源を活かした地域活性化につながるため、試行錯誤しながら藍の栽培に取り組んでいる。
茨城県	常陸大宮市	えごま	岩崎えごま生産組合	生産組合と地元業者が連携した関連商品開発。
	神栖市	トウキ	(株)agri new winds	遊休農地の活用や農地集積等を図りたい。また、育苗や種取用として活用していく。
	行方市	トウキ	(株)マイファーム	有休農地の活用
	鹿嶋市	トウキ	(株)マイファーム	現状維持
		藍	個人	現状維持
	つくば市	ケール	(株)ベルファーム	採用人数を増やしていく。耕作放棄地を作らないようにする。
	石岡市	トウキ	常陸生薬栽培組合	後継者の確保及び新規参入者の確保に力を入れている。
		タマサキツツラフジ	常陸生薬栽培組合	後継者の確保及び新規参入者の確保に力を入れている。
		サイコ	常陸生薬栽培組合	後継者の確保及び新規参入者の確保に力を入れている。
		えごま	八郷えごまの会	ふるさと納税の返礼品として「えごま油」が指定されている。
龍ヶ崎市	えごま	おおつか農園	市内直売所での販売	
栃木県	茂木町	えごま	茂木エゴマの会	地域活性化のため、高齢でも作業負担や重量の軽いエゴマの栽培を推進している。エゴマは道の駅もてぎで買い取り、同加工所でエゴマ油やふりかけなど6次化製品を販売して人気がある。
	小山市	えごま	NPO 法人げんきフォ	地域に点在する休耕畑の活用をしながら、高齢

都道府県名	市町村名	作物名	取り組み主体	実施内容
			ーラム桑えごま部会	者の雇用を創出してきたが、販路開拓が難しいため、一定の収量を目指し安定した収益につなげていく。
		ハトムギ	小山はとむぎ生産組合	全国トップレベルの生産量を誇り、市の特産物であるハトムギの生産振興及びハトムギ関連商品を市の地域ブランドとして認定。
	高根沢町	ごま	高根沢胡麻生産組合	農福連携の一環として、社会福祉法人も会員となっており、障がい者の社会参画実現の一助となっている。
	大田原市	大麻（あさ）	個人	栃木県あさ振興連絡協議会に加入している。
群馬県	上野村	えごま	上野村	特産品開発のため。
埼玉県	鶴ヶ島市	サフラン	鶴ヶ島サフラン研究会	生産者団体の立ち上げ、普及活動の支援等
	熊谷市	ごま	ビーナスファーム	生産者グループ化を目指す
	秩父市	えごま	(有)モリシゲ物産	えごま油の製造時には原料の選別や加工の高度化などの高付加価値化を図っている。また、取組主体以外の地域農業者からも原料の買取を行うとともに、地元雇用の創出を図っている。
	東秩父村	こうぞ	東秩父村和紙の里	年明けに楮かきき作業をボランティアを募り実施
	嵐山町	ラベンダー	(一社)嵐山町観光協会	ラベンダーを蒸留し、オイルを抽出、香り商品を販売する。
千葉県	白井市	薬用作物	高橋植物園	生産農家への啓蒙活動
		搾油用ヒマワリ	とりや	景観。休耕地の維持。飼料としての利用。
神奈川県	小田原市	オリーブ	小田原オリーブ研究会	○栽培、加工に関する指導・分析 ○小田原オリーブのPR事業
	二宮町、山北町、小田原市、真鶴町、中井町	オリーブ	湘南オリーブ振興協議会	地元企業と農商工連携を推進し、製品化を実施。「湘南オリーブ」の地域ブランド化のため、地域団体商標の取得をめざし普及啓発を実施する。
	愛川町	ほうきもろこし	(株)まちづくり山上	—
山梨県	大月市	ひまわり、オリーブ、菊いも、和種はっか、ラベンダー、藍、紅花、ステビア、キクイモ、うこん、ナタマメ、ヒロハセネガ、ドクダミ、大麦、キビ、クコ、レモングラス、ブルーマロー、ローズマリー、カリン、カミツレ、ルバーブ、薬用桃、当帰、オウレン、薬用人参	野草のさと大月加工センター	耕作放棄地 7ha を農地に復元し活用中、国内トップ企業及び地元企業と連携して生産物出荷。更にハーブ&健康食品の市場開拓。結果地元の雇用の創出を図り地域経済力の底上げを図る。
		市川三郷町	クワ	(株)桑郷
	早川町	えごま	早川エコファーム	都市交流等
	甲府市	サフラン	(株)スリーピークス	新たな農産物として確立させる
		ホップ	帯那ホップ合同会社	地ビールを広めるため、地元産の原料を生産する。
長野県	佐久市	カミツレ	営農支援センター	圃場での体験収穫作業
	上田市	薬用人参	長興社信州人参センター協同組合	生産者募集のチラシ印刷の検討
	長和町	えごま	長和雑穀研究会	えごま油の特産化への取り組み（キヌア・アマランサスなどの機能性健康雑穀の栽培、商品加工はR4年度より一時休止）
	辰野町	えごま	町内任意団体等	えごまを主体とした6次産業化の推進。
	阿智村	菊芋	阿智村産業振興公社	生産指導、生産者の確保
		菊芋	阿智村	村内企業の加工原料となる場合、種苗費1/2を補助
	飯田市	こうぞ	ひさかた和紙の会	ひさかた和紙文化の継承、販路拡大、地域の

都道府県名	市町村名	作物名	取り組み主体	実施内容
				人々のつながり強化、交流人口の増加
	下條村	ごま	下條村	ごまの種子代補助
	上松町	えごま、大豆	上松町特産品開発センター利用組合	特産品開発 6次産業化 えごま普及活動
	木曽町	えごま	木曽町	奨励作物栽培奨励金として90円/kgの補助有
	大町市	ケール	農事組合法人北アルプス山麓わっぱら農園	ケール同様、地域住民が継続的に参加できる(共同作業)作物を取り入れたい。
	池田町	カミツレ、ラベンダー	池田町	池田町は「花とハーブの里づくり」を目指して地域活性化に取り組んでいる。6月1日～2日には「第36回いけだまちひろつ カミツレ花まつり」、6月1日～7月15日まで「夢農場ラベンダー祭り」が開催された。
	小谷村	キハダ	小谷村キハダ生産組合	小谷村保育園と連携し、収穫・出荷、染め物体験を実施している。
	山ノ内町	ホップ	榊玉村本店	自社生産ホップ使用ビールの増産
	飯山市	ほうきもろこし	小沼ほうき振興会	耕作放棄地の活用等
	木島平村	こうぞ	内山和紙体験の家	アーティストインレジデンスの取組、アートムーブメントと教育の融合
静岡県	松崎町	桜葉	伊豆松崎町桜葉振興会	生産者・漬け元・関係法人が協力し、生産量の拡大等のために活動している。
		桑	企業組合松崎桑葉ファーム	耕作放棄地を活用し、栽培面積を増加している。販路の拡大や収益アップに努めている。
新潟県	阿賀町	エゴマ	阿賀町エゴマ組合	エゴマの特産化を目指す
	魚沼市	こうぞ・とろろあねい	大沢和紙遠藤工房	イベント会場にて出張手漉き和紙体験
		こうぞ・とろろあねい	魚沼手すき和紙工房	和紙を使った工芸体験
富山県	朝日町	ハトムギ	朝日町ハトムギ協議会	ハトムギ茶、煮出し用茶葉、精白粒の生産、販売
	氷見市	柿	久目串柿生産組合	共同選果、メディアによるPR、地域雇用(正月飾り作成)
	朝日町	こうぞ、とろろあねい	蛭谷和紙伝承協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・蛭谷自治会館での和紙漉き体験 ・こうぞ芽つみとり体験 ・とろろあねい花の食材PR ・研修生2名に紙づくり技術を伝承する取組を開始(R5.12月頃から)
	南砺市	こうぞ、とろろあねい	一般財団法人五箇山和紙の里	<ul style="list-style-type: none"> ・紙すき体験、こうぞ芽摘み取り体験、草刈り、収穫体験(和紙の里) ・会社の工房と相倉集落での紙漉き体験館で和紙の紙漉き体験(五箇山和紙)
	富山市	—	(有)桂樹舎	・和紙紙すき体験(原料輸入による和紙を用いた体験)
石川県	白山市	コウゾ	白山工芸の里	鳥越、吉野谷で栽培されるコウゾや自生する様々な植物を使って地元で伝わる市原和紙、神子清水和紙、内尾紙の技法を取り入れた創作和紙を製作している。自然体験型紙すき教室を開催するほか、市内学校生徒の卒業証書制作体験の指導にも取り組んでいる。また、インテリア建築用和紙の製造・販売も行っている。
		トウキ	神子清水生産組合	「白山薬草の郷プロジェクト」として、大学や企業の協力のもと、白山市による事業支援(薬草産地化推進事業・市単)を受け、耕作放棄地の解消と地域活性化に取り組んでいる。
	羽咋市、宝達志水町	ハトムギ	JAはくいハトムギ部会	ハトムギ茶ペットボトルおよびティーパックの売上の一部を管内の市町へ寄付し、地域農業の振興と地域の活性化を支援。
福井県	福井市	オリーブ	福井市・三里浜砂丘地園芸振興協議会	三里浜砂丘地収穫祭&オリーブイベントの開催
	越前市	こうぞ	福井県和紙工業協同組合	生産農家に補助金を交付し地産を進めているとともに、この楮を使った紙漉き体験を行い、こ

都道府県名	市町村名	作物名	取り組み主体	実施内容
				の取り組みを地元へ伝え地域活性化に努めている。
	鯖江市	サフラン	かわだ種苗	地元住民と協力した朝市を実施。地元の農業実習体験施設と提携した企画を検討している。
	大野市	オウレン	五箇特殊林産物振興組合	生産技術の習得・向上のため研修会を実施している。また、広報活動として、林業遺産認定に関する資料を公民館や市主催のイベントで展示する、地元漢方薬局と共同で講座を開催する、県内の団体を招いて勉強会や草刈・収穫の体験会を開催する、さらにはインターン研修生を受け入れるなど積極的に行っている。その他に、林業遺産認定の看板を五箇地区内に設置し、市民や観光客等に対してPRに努めている。
岐阜県	大垣市	カミツレ	大垣市薬草組合	大垣市のカミツレ生産量が日本一であることを広く知ってもらう目的で「第7回大垣カミツレまつり」を開催
	揖斐川町	薬用作物	サンシャイン春日	「かすがモリモリ村リフレッシュ館」で薬草風呂や薬膳料理に活用
	瑞浪市	えごま	日吉機械化営農組合	えごま油を市の特産品としてPR
	下呂市	えごま	下呂市	ふるさと納税返礼品として「えごまオイル」の導入
	美濃市	こうぞ	こうぞ生産組合	美濃市産こうぞの生産販売を促進することで、市内の紙漉き職人に、適価で良質なこうぞを提供する
愛知県	岡崎市	ヨモギ	岡崎市ぬかたブランド協議会	ヨモギ湯用販売、ヨモギ茶、ティーバック販売
		こうぞ	岡崎市ぬかたブランド協議会	こうぞの試験栽培及び製品化試験
	豊田市	コウゾ、トロロアオイ	豊田市、小原コウゾ育成会	小原コウゾ育成会活動支援
	設楽町	えごま	エゴマ研究会（生産者の集団）設楽町アグリステーションなぐら（農産物直売所）	ほぼ全量をアグリステーションなぐら（直売所）で買取する。買い取りしたえごまは、直売所で販売する五平餅のタレ等へ加工し、販売している。小分けして直売所で販売する。水田農業経営所得安定対策、高収益作物へ位置づけし、作付を奨励する。※過去には、業者に依頼して、えごま油を絞って販売したこともある。
三重県	大台町	えごま	JA 多気郡奥伊勢えごま倶楽部 (JA 多気郡)	大台町の特産品として、エゴマの栽培を推進し、販売量の拡大及び商品力の向上を行うことにより、生産者の収益性の確保と地域の活性化を図る。
滋賀県	大津市	しそ（加工用）	（一社）比良里山クラブ	獣害に強い「しそ」の生産および加工品の製造・販売により、中山間地域における農地の維持、活性化を目指す。
	草津市	あおばな	草津あおばな会	草津市の花である「アオバナ」について、青花紙（花の液を染み込ませた和紙）や食品（お茶やクッキー等）への利用（茎葉や花をパウダー加工）、また、景観への活用等幅広くPRし、市の特産化を図っていく。
	甲賀市	かんぴょう	JA こうか水口かんぴょう部会	GI取得を受け、地域特産物としてイベント開催等を通じて地域活性化の起爆剤として活用を図る。
京都府	京田辺市	ホップ	京田辺農福観地域づくり協議会	クラフトビールの作製
	宮津市	オリーブ	由良オリーブを育てる会 日置オリーブを育てる会 MAEDA OLIVE FARM (株) (マエダオリーブファーム(株))	オリーブを植樹することによる耕作放棄地の解消。地域や他団体と協力・協働し、各種イベント等を行うことにより地域活性化に寄与する。 オリーブ栽培により地元の耕作放棄地化を解消。市民や市外のオリーブファン（オリーブ木のオーナー制を実施）を巻き込んだイベント等の開催や、オリーブの加工・販売などにより地域活性化に取り組むとともに、観光農園を目指す

都道府県名	市町村名	作物名	取り組み主体	実施内容
				している。
	与謝野町	ホップ	京都与謝野ホップ生産者組合	ホップ収穫体験を開催し、当町における交流人口の増加や移住定住に向けたPRを実施している。
大阪府	茨木市	しそ	見山の郷	赤しそ祭
兵庫県	佐用町	ひまわり	佐用町南光ひまわり祭り実行委員会	搾油用ひまわりの畑を観光資源として活用
	香美町	甘草	NPO 法人但馬薬用植物研究会	親株を養成中
		しょうが	NPO 法人但馬薬用植物研究会	生産量の増産に向け、活動中
	新温泉町	えごま	新温泉町えごま研究会	加工品も製造し、6次産業化にも取り組んでいる
	朝来市	ホップ	個人	地域おこし協力隊を中心とし、クラフトビールを商品開発して地域の魅力発信につなげる
奈良県	奈良市	エゴマ	NPO 法人奈良市東部エゴマの郷	奈良市東部地域及びその周辺住民に対して、エゴマ及び亜麻等の食物油採取植物の栽培を広め、耕作放棄地の利活用による農業の再生及び地域活性化と新たな特産品の創出に関する事業を行い、イベント等を通じて都市住民と農村住民の交流拡大、植物油を切り口とした六次産業化による雇用の拡大、エゴマ及び亜麻等の植物油の効能による地域住民の健康増進及び長寿の郷づくりに取り組む。
	王寺町	オリーブ	王寺町観光協会	オリーブ収穫祭
	天川村	キハダ	洞川財産区（20人）	キハダ圃場の管理
	明日香村	シャクヤク	明日香村、えいのうキトラ	シャクヤクの薬用作物としての栽培と観光農園化
	高取町	トウキ	高取町	遊休農地の解消、地域特産品づくり
	宇陀市	トウキ	宇陀市薬草協議会	トウキ葉の加工品開発にも取り組む。
	曽爾村	トウキ、ヨモギ	今井薬草生産組合	葉の収穫体験などを通じて、都市住民と交流。
和歌山県	紀美野町	山椒	—	山椒入りウインナー、供給拡大
	高野町	ホップ等	高野町クラフト般若協議会	耕作放棄地を活用し、農業法人と連携し新たな地域特産物（クラフトビール）の普及や高野町産の農作物の活躍の機会の創出と共に新規就農者の確保や規模拡大に取り組む。
	有田川町	山椒	有田川町	サンショウのブランド化に向けた取り組み
			しみず山椒の里活性化協議会	需要拡大の取り組みや、販売促進活動の展開
高野山・有田川流域世界遺産推進協議会	需要拡大の取り組みや、販売促進活動の展開			
鳥取県	鳥取市	ナタマメ	鳥取県薬農協同組合	耕作放棄地を活用し、地元企業と連携して、農家の収入アップを図る
	鳥取県一円	薬用、染色、製紙原料植物	自然生活（㈱エアーンドエフ）	原料植物種子の採取、苗の育成を地域へ外注
	倉吉市	ごま、えごま	個人	ふるさと納税返礼品にごま、えごまの加工品を加え、所得向上に繋げた。
	若桜町	エゴマ	若桜町エゴマ生産組合	①イベントに出店しエゴマPRを図る ②環境大学と協力し、商品開発等を行う。
	日野町	えごま	THA えごまのさいとう	日野町の特産品として、えごま製品（えごま油、パウダー、ミール）を販売しており、今年からはネットショップ運営にも力を入れている。
		エビスグサ	彌生ファーマー	エビスグサの種子を乾燥・調整し、「焙煎はぶ茶」として、町の特産品売場などで販売している。
	境港市	和綿（伯州綿）	（一財）境港市農業公社	行政主導で地域住民や企業と連携し、伝統的な地域資源の後世への継承に取り組む。
南部町	エゴマ	エゴマ販売促進協議会	エゴマ油の販売連携（楽天市場への共同出店）	
島根県	松江市	雲州人参	大根島雲州人蔘協議会	産地である大根島の良質なクロボク土壌のもと200年以上に渡って栽培されてきた伝統的的特

都道府県名	市町村名	作物名	取り組み主体	実施内容
岡山県				産農産物の一つ。同じ地域特産品である牡丹とともに、観光資源として活用されており、飲食店では食材としても使用されている。
	浜田市	楮	浜田市（三隅支所）	楮供給量過多のため、生産者への取り組みは特になし
	出雲市	しょうが	出西生姜組合	従来から取引のある菓子原料、道の駅の直売等を維持するため、栽培面積の拡大及び収量確保を図っている。
			㈱出雲生姜屋	近隣の福祉施設との農福連携を図るとともに、近隣農家に生産を委託するなど生産体制の確立を図っている。
			(社)喜和会障害者支援施設太陽の里	近隣の事業者のしょうが生産を請け負うとともに、自社で生産している加工品の原料としてもしょうがを生産している。
			個人	新たに生姜の栽培に取組出西生姜の生産販売に取り組んでいる
			農口屋(株)	新たに生姜の栽培に取組出西生姜の生産販売に取り組んでいる
江津市	えごま	江津市農業再生協議会	産地交付金の対象作物とし、水田の転作作物として推進している	
川本町	えごま	川本町	作付面積と生産量に応じた補助金を交付	
岡山県	和気町	サンシュユ	NPO 法人和気サンシュユの会	耕作放棄地の解消に向け植栽を進め、収穫されるものについて地域特産品としての開発検討を行っている。また、H30年2月に岡山県備前県民局より「地域づくり推進賞」を授賞している※生産流通には至っていない。
	井原市	シャクヤク	晴れの国岡山農業協同組合井原市薬用作物部会	薬用作物の産地化
	真庭市	みつまた	真庭市立檜呂小学校檜西和紙工房	小学生によるみつまたの栽培体験、紙すき和紙づくり
			岡山県北部みつまた生産組合	来場した小学生へみつまたについての講座を実施
	津山市	みつまた	上田手漉和紙工場	地元小学生の紙漉き体験（卒業証書制作）
新見市	ケール	三室農事組合法人	地域住民を雇用し、所得向上を図る。	
広島県	呉市	オリーブ	呉市オリーブ振興協議会	新たな農業振興策として、地域住民や事業者、行政等が一体となって、オリーブの栽培・加工・販売等を推進することにより、遊休農地の有効活用や呉産オリーブのブランド化の確立など、6次産業化を通じた地域の活性化を図る。
	広島市	トウキ、サイコ	(一社)百人邑	農福連携、放棄地活用
	安芸太田町	トチュウ	㈱ライフデザインマンボ（サボナーズカフェ）	耕作放棄地の解消対策
	大竹市	こうぞ等	おおたけ手すき和紙保存会	こうぞ、とろろあおいの作物が地元で生産できるように取り組んでいる
山口県	柳井市	しそ（加工用）	農事組合法人伊陸美味	6次産業梅干しによる地域おこし
香川県	まんのう町	ひまわり	ひまわり振興協議会	ひまわりの栽培技術・生産量の向上や製品開発・販売等
	三豊市	ミシマサイコ等	みとよ薬用作物栽培組合	ミシマサイコ、トウキ、枳実の栽培技術の情報交換等について、毎月開催。
高知県	越知町	ミシマサイコ、サンショウ、ダイダイ	農事組合法人ヒューマンライフ土佐	・「土佐ツムラの森」協働の森づくり事業により、農事組合法人ヒューマンライフ土佐、㈱ツムラ、高知県、越知町の5者でパートナーズ協定を結び、森林整備や交流活動を実施 ・地元の雇用の創出
	黒潮町	こうぞ	黒潮町佐賀北部活性化協議会	こうぞ栽培

都道府県名	市町村名	作物名	取り組み主体	実施内容
	大豊町	ミシマサイコ、サンショウ、ダイダイ	ドリームタウン大豊	農地の維持管理
福岡県	大任町	ニンニク	—	栽培面積の拡大や生産販路の拡大に伴う雇用の確保
佐賀県	佐賀市	モリンガ	個人	直場所・通信販売等
		菊いも	NPO 法人 個人	直売所等で販売 地域の農産物直売所・スーパー等で販売
長崎県	長与町	オリーブ	長与町オリーブ振興協議会	近隣企業と連携して搾油を行い、長与町産のオリーブオイルを販売。
熊本県	南阿蘇村	そば、エゴマ、ゴマ	南阿蘇村	村では農業者の高齢化や担い手不足による荒廃農地対策として比較的栽培管理が簡単な、そば作付け振興を進めている。加えて有害鳥獣被害に強いえごまやごま等の生産を継続、推進している。
	あさぎり町	ミシマサイコ、サンショウ	—	ミシマサイコの栽培面積や生産量については、あまり変化はないが、昨年「ブドウ山椒」の試験栽培を町内5軒の農家が取り組んでいる。
	甲佐町	サンショウ	—	今後、棚式乾燥機やプレハブ式製品保管庫が必要。
大分県	杵築市	キキョウほか	杵築市	平成 27 年度から東京生薬協会、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所との協定に基づき薬用作物の実証圃を設置、引き続き試験栽培及び栽培面積拡大に取り組む。
	臼杵市	大麦若葉	旬豊後大分有機茶生産組合	製品は原料として出荷しているため、製品を使った地域活性化の取り組みは望めないが、農地の有効活用に寄与している。
		えごま	都松振興協議会	えごまから油を搾取し、えごま油として製品を販売し、地域活性化の取組みを行っている。
宮崎県	宮崎市	大麦若葉	宮崎中央地域農業再生協議会	経営所得安定対策の産地交付金の品目に引き続き設定することで、さらなる推進を図る。
	高原町	えごま	上後川内・川平営農組合	地域の特産物生産
		ミシマサイコ	法人祓川	地域の特産物生産
	日向市	ジャーマンカモミール、ホーリーバジル	東郷まちづくり協議会	・地域の活性化と自主財源の確保を目的に、遊休農地を活用して「薬草の里づくり」を行っている。 ・バジルについては、業者に生鮮販売するほか、加工委託して密封処理による販売を行っている。 ・カモミールについては、加工委託して密封処理による販売を行うほか、カモミールティなどの加工品販売も行っている。
鹿児島県	日置市	オリーブ	日置市	新規需要作物として、雇用の創出や新規特産品として地域活性化に寄与している。
		ミシマサイコ	薬草日置栽培部会	雇用の創出や新規就農者の育成等
	枕崎市	桑茶	合同会社まくらざき桑本舗	耕作放棄地を利用した桑の栽培
	南さつま市	オリーブ	南さつまオリーブ共和国協議会	新たなまちづくりの一環として、平成 27 年度から、栽培・啓発普及・加工品開発を関係機関と協議会を設立し、一体的に推進している。
	志布志市	大麦若葉	非	農地の維持管理
		ケール	さかうえ(株)	地元採用を強化する。
		モリンガ	非	地元採用を強化する。
西之表市	ガジュツ	西之表市ガジュツ振興会	西之表市のガジュツ振興を図るため、会員相互で栽培技術の向上のための研修会等を実施している。	
喜界町	ごま	喜界町	○ごま機械購入費助成事業 ごまの生産に必要な播種機・管理機・収穫機・選別機の購入費助成 ○ごまの生産・加工体験学習 喜界町立喜界小学校の児童がごまの播種から収穫までを体験。（指導：役場、農業青年クラブ）収穫後は、ごまのお菓子づくりを実施。また、町内の給食にも使用。（指導：喜界町生	

都道府県名	市町村名	作物名	取り組み主体	実施内容
				活研究グループ) ○種子の配布 喜界町営農支援センターで栽培したごまの種子を希望者へ無料配布。
	知名町	シマグワ	知名町（えらぶ特産品加工場）、知名町シマ桑生産組合、サンジキ(株)	地域の健康促進を目指し、健康特産品として桑を原料とした食品を地域で販売している。長寿と健康の町として、引き続き生産、加工、販売を行っていく。
沖縄県	東村	ハーブ	東村	地域内外でイベントを実施することによって特産品のPRに努めている。（交通安全関連のイベント、ふるさと納税返礼品など）
	今帰仁村	クワンソウ	眠り草本舗	－
	本部町	琉球藍	琉球藍製造技術保存会	藍染め体験や藍農家の普及に努めている。
	恩納村	コーヒー	個人	特になし
	うるま市	い草	うるま市い草生産組合	現状維持
	うるま市	グアバ	グアバ生産組合	現状維持
	浦添市	シマグワ(葉、実)	浦添市	定年後の地域における高齢者の労働力と沖縄在来種のシマグワを活用した産業振興を行い、桑関連商品の販売額の増加を図る。
	南城市	バタフライピー	仲善	1) 南城市セレクション商品としての販売促進
				2) カフェくるくま ドリンクメニュー
				3) 遊休農地の解消
		ゴージャー クミスクチン ニシヨモギ	仲善	地元農家との連携強化
	宮古島市	蕎麦	(有)大新	特になし
	多良間村	にんにく	多良間産島にんにく生産組合	ブランド化への取り組み
とうがらし		多良間塩川地区農業用施設利用組合	地域特産物への取り組み	

Ⅶ ホップに関する現地情報

目 次

1 ホップに関する現地状況調査について（情報収集の方法等）

都道府県を通じて、ホップの生産に取り組む生産組織や産地にアンケート調査を実施した。

なお、アンケートにおいて、名称や所在地の記載がない場合や名称・所在地を非公表として回答があった場合及び名称に個人名が記載されていた場合は、すべて「－」と表記した。

2 調査結果

- (1) 和寒町農業活性化センター（北海道）
- (2) 個人（北海道）
- (3) 個人（北海道）
- (4) 個人（青森県）
- (5) 遠野ホップ農業協同組合（岩手県）
- (6) 大雄ホップ農業協同組合（秋田県）
- (7) 大雄ホップ農業協同組合 大館支部（秋田県）
- (8) 株式会社ホップジャパン（福島県）
- (9) 個人（福島県）
- (10) 合同会社オクトワン（群馬県）
- (11) かけわ株式会社（千葉県）
- (12) 帯名ホップス合同会社 オビナブルーイング（山梨県）
- (13) 株式会社グリーンフィールド（長野県）
- (14) 個人（新潟県）
- (15) 株式会社アグリたかの（新潟県）
- (16) 一般社団法人芦峯活性化協議会（富山県）
- (17) ルネッサ普賢寺（京都府）
- (18) 個人（兵庫県）
- (19) 株式会社 Agrisus（和歌山県）
- (20) 個人（岡山県）
- (21) 障害福祉サービス事業所グリーンファーム（山口県）
- (22) 久万高原ホップ部（愛媛県）
- (23) 宮崎ひでじビール株式会社（宮崎県）

※回答のうち公表不可とされた部分や記載のなかった部分は、記載されていない。

（参考）調査票様式

和寒町農業活性化センター

所在地 北海道上川郡和寒町
ホームページ

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	0.56	a
収穫面積	0.56	a
収穫量	46.1	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
ビール	主要ビール会社（※）	● その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
● 鞠花	● 生	● 冷凍	乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他（具体的に	）		

【4 栽培の経緯・目的】

（1）ホップ栽培に取り組んだ経緯

新規作物としての可能性の確認

（2）ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

特になし、虫害対策として防除を実施

（3）棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

ハウスの直管パイプを利用して棚を組んでいる。専用の集出荷施設、加工施設等はない。収穫後は真空冷凍して販売している。

（4）ホップを活用した「地域おこし」の取組など

特産品振興のため、生産したホップを使ってクラフトビールの製造に取り組んでいる。

【5 今後の栽培の意向、方針】

（3）現状維持

【6 主な課題と対応方向】

（1）栽培面の課題と対応方向

収穫機械と、乾燥施設導入経費が大きい。

（2）加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

販売先が限られる。

（3）その他の課題と対応方向

--

個人（北海道）

所在地

ホームページ

【1 栽培面積（令和5年現在）】

（1）栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	94	a
収穫面積	94	a
収穫量	1,900	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	●主要ビール会社（※）	その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	●生	冷凍	●乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	（具体的に）		

【4 栽培の経緯・目的】

（1）ホップ栽培に取り組んだ経緯

先々代が昭和28年前後に栽培を始め、70年以上続けています。収入は2番目に多い作物。

（2）ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

手作業が多い為、面積が一番多い時の半分。機械化出来ないのが難点。あっても外国製で高価。常に省力化を模索中。

（3）棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

棚は建てた当時のままで、柱は毎年変更（10本程度）なので老朽化が進んでいる。機械・施設等は50年前のそのままなので整備修理はしているが、これもまた老朽化が進んでいる現状。

（4）ホップを活用した「地域おこし」の取組など

なし。（学校、サッポロビール会社よりの視察、教育取材などには対応）

【5 今後の栽培の意向、方針】

（3）現状維持

現状より人手が足りなくなれば減らさざるを得ない。経営面積が増えれば省力化出来る作物に変えざるを得ない。

【6 主な課題と対応方向】

（1）栽培面の課題と対応方向

手作業が多いので省力化の栽培方法の確立と人手の確保、機械の推進、棚施設の更新が負担大。労力的にも金銭的にもなにか良い方策は無い。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

収穫作業、乾燥作業は各農家で行っているので労働時間が多い。共同で出来れば負担も減るかも。

(3) その他の課題と対応方向

歴史ある特殊作物ホップは出来れば栽培を続けたい。労働時間が掛からない様な方向に今後なれば担い手も確保出来るのではないか。

個人（北海道）

所在地

ホームページ

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	5	a
収穫面積	.5	a
収穫量	20	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	その他ビール会社	●自ら利用
●香料・化粧品	●化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	生	●冷凍	乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	（具体的に）		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

地域おこし協力隊として着任し、「ホップ栽培の復活」のミッションとして取り組んでいる。三戸町では以前サッポロビール向けにホップの契約栽培農家が営農していたが、現在はすべて途絶しておりこれを復活させる為、移住し農業を行なっている。着任と同時期に国産ホップを用いて香料原料を製造したい三戸町役場に問い合わせた企業と出会い、香料原料に向けた試験栽培を行うと共に独自にホップの6次化として、クラフトビールの製造も目指している。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

■経過
現在は試験栽培として取り組んでいる。
協力隊の任期満了した後、70a程の広さのホップ営農を計画している。

■機械化等
現在は単管パイプで小規模ホップ棚を敷設し、収穫は手積みで収まる為機械化はしておらず、将来的に必要なため、小規模の摘花機をアメリカに問い合わせている。安全対策として高所作業を減らす為、ホップ棚上部に這わせるワイヤーをウィンチでたわませる事で、収穫時に高所作業をなくす構想をしている。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

- ホップ棚
小規模用のホップ棚を単管パイプにて敷設し、栽培を行っている。
- 出荷施設
現在所有していない。
- 加工施設
現在所有していない。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

--

【5 今後の栽培の意向、方針】

(1) 栽培を増やす方針・予定・計画がある
(方針・計画・予定の内容(目標、面積、時期、方法等))

- 協力隊任期満了後、次年度より栽培面積を拡大
- 面積：70a
 - 目標：800株植栽 / 反収180kg(乾燥換算)
 - 時期：2025年～
 - 方法：ホップ棚資材は岩手県北ホップ組合より中古で調達し、ホップ専用農機を山形県のホップ機械工業に調達の交渉中。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

- 高所作業のリスク
ホップは6m程伸びる為、高所作業車が必須となるが、現在この高さまで昇降可能な製品が製造されていない事、トラクターにゴンドラを備えつける等対策はあるが、コストがかかる為現在の規模では現実的ではない。
- 機械化のリスク
ホップ用農機の市場が限られており、市場にほぼ出回っていない。小規模ホップ栽培用に向けた農機を海外農機具メーカーに問い合わせ、発注予定である。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

- 出荷
大手ビールメーカーとの契約栽培は全数買取りではあるが、価格交渉力が強く単価が横這いである。昨今肥料価格の高騰もあり、農家へのしわ寄せが大きい。以前の三戸町ホップ農家は契約栽培が主であったが、独自で価格交渉できる香料メーカーを筆頭とし、独自販路で営業していく。

(3) その他の課題と対応方向

--

個人(青森県)

所在地
ホームページ

【1 栽培面積(令和5年現在)】
栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	170	a
収穫面積	170	a
収穫量	1,500	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先
----	-----

●ビール	●主要ビール会社（※）	その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
鞠花	生	冷凍	●乾燥
ペレット			
ルブリン			
その他	(具体的に)		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

収益性が高いため

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

全て整備済み

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

ホップ畑でのランチ会

【4 今後の栽培の意向、方針】

(3) 現状維持

【5 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

(3) その他の課題と対応方向

遠野ホップ農業協同組合

所在地 遠野市

ホームページ

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	2,150	a	遠野市(1763a) 北上市(323a) 奥州市(64a)
収穫面積	同上	a	同上

収 穫 量	28, 808.7	kg	遠野市(21.7t) 北上市(5.6t) 奥州市(1.5t)
-------	-----------	----	--------------------------------------

【2 用途及び出荷先】

用 途	出 荷 先		
●ビール	●主要ビール会社(※)	その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出 荷 形 態	出 荷 形 態 の 詳 細		
● 鞠 花	● 生	冷凍	● 乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	(具体的に)		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

換金作物として導入、複合経営の柱として普及拡大した

(2) ホップ栽培上の工夫(経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組)など

水田転作を機に面積の拡大を図り、同時に大型収穫処理センターを建設し作業の共同化を推進し収穫作業の省力化並びに低コスト化を図る
その後ドイツ製収穫機を導入し作業の効率化を推進

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

ホップ棚の増設に際しては県単補助事業等を利用して整備
収穫センター(大型共同収穫センター)に関しても補助事業を利用して整備

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

遠野市に於いては「ホップの里」構想を推進しており、地域おこし協力隊の募集により新規ホップ生産者の拡大につながっている

【5 今後の栽培の意向、方針】

(1) 栽培を増やす方針・予定・計画がある

(方針・計画・予定の内容(目標、面積、時期、方法等))

○生産者の高齢化に伴い面積は減少傾向にあるが、新規生産者を取り入れ、面積の現状維持(R5年遠野市:1763a)から増反を計画している
・増反は遠野市と相談しながら畑を確保し、新規棚架設を諮る計画

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

・新規棚架設(面積拡大)に相当の経費を要するので、資材代の補助が必要
・新規栽培者の農作業機械(トラクター・スピードスプレーヤー・高所作業機など)導入に対する助成が必要

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

・大型共同収穫センターは稼働(s51年)から相当の期間が経過しており老朽化しており改修が必要であるが、相当の経費を要する為難しいが、遠野市による助成事業により年次計画による改修を実施

(3) その他の課題と対応方向

・収穫作業従事者の確保が課題（ホップ栽培者以外の収穫作業者の確保が年々困難になってきている）

大雄ホップ農業協同組合

所在地 秋田県横手市
ホームページ

【1 栽培面積（令和5年現在）】

(2) 栽培面積・収穫面積・収穫量（大館支部分を含む）

栽培面積	2,018	a
収穫面積	2,018	a
収穫量	34,427.1	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	●主要ビール会社（※）	その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	生	冷凍	●乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	（具体的に）		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

昭和46年に、稲作転換政策が行われる中で、旧大雄村としてホップを重点転換作物とすることを決定し、村をあげて転作を推奨したことが始まり。
収益性の高さ、稲作との分業、契約栽培による全数買い上げ、団地化による省力化などのメリットを確認しながら、大雄村ホップ組合を立ち上げ、51名・13.78haで栽培を開始。
現在当組合の大館支部の前身である秋田県北部ホップ農業組合は、昭和39年に設立。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

秋田県におけるホップ生産者数は、昭和62年の326戸をピークに減少を続け、令和5年には26戸にまで減少。
また、生産量も、昭和63年の398,200kgをピークに減少を続け、令和5年には34,427kgと最盛期の8.6%の規模にまで縮小している。
栽培においては、技術の高いベテラン農家の知見を共有しながら、組織的な技術向上に向けて取り組んできたことで、平均生産量は全国平均よりも常に高いスコアを維持している。
防除・収穫・乾燥については、支部（生産組合）ごとの協同作業とすることで、安定的な生産を継続してきたが、近年では生産者の高齢化による廃業、新規の担い手不足により、支部運営も常に不安を抱えている状況にある。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

【栽培】

高さ約5mの棚を敷設して、7～8mまで伸長する作物の栽培ということで、50年を超える知見により、最善の栽培技術を蓄積しながら組織として継承してきた。
ただ、露地・高所ということから、効率化・省力化が飛躍的に進む様な改革は進んでおらず、人手による作業時間の多さは解消されていない。

また、新規就農に際しては、棚の敷設費用負担の大きさが、参入に向けた大きな障壁となっており、既存農家の生産性向上と合わせた、産業全体の大きな課題。

【収穫】

収穫及び収穫乾燥センターまでの移送についても、資材・手法を含めて40年来の形態を踏襲していることもあり、近年のスマート農業に見られる省力化・効率化は進められていない。

【収穫乾燥センター】

新農業構造改革事業など、稲作転換政策の推進と合わせた国の補助や資金を受けることで、収穫に欠かせない摘花・選別機及び乾燥機などを備える、収穫乾燥センターを各支部（生産組合）ごとに敷設することで、団地化・機会化・省力化を進めてきた。ただ、設備も40年を超えるものが多く、建屋を含めて老朽化が激しい中、部品調達にも苦労しながら利用している状況。特に、建屋の破損は施設の廃止に直結するものであり、事業の継続及び安全面においても、建屋の維持に向けた修繕は急務となっているが、支部単位での積極的な投資が出来ない状況にある。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

地元の「宝」であるホップ文化を継承していく為に、横手市、キリンビール、地元民間企業、大雄ホップ農業協同組合による官民連携の活動として、平成30年に「よこてホッププロジェクト」をスタート。ホップ農協の改革、市民活動、地元産業との連携、広報活動など各部会制により、機能分化をしながら取り組んできたが、各組織の人事異動やコロナ禍の影響による活動制限もあり、全体としての活気が薄れている事は否めない。

意識を新たに再スタートを切るべく、プロジェクトの課題を共有して改善するべく取組んでいる。

横手に限らず、国産ホップ文化を絶やさないためにも、国や都道府県とも課題意識を共有しながら支援して頂ける様に、声を上げていく。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(2) できれば栽培を増やしたい希望はある

(増やせるかどうかの課題、条件、増やしたい目標や程度等)

当組合としては、収量・面積ともに増やしたい意思はあるが、現状ではあらゆる課題を解決しながら現状維持をしていくことが当面の目標。(2,000ha、40,000kg)

並行して、生産農家の新規就農における障壁を解消する中で、若手や法人の新規参入を促進していく。現在、よこてホッププロジェクトの中でも解消に向けて模索中。

新規就農における敷設負担、協同作業のための支部活動継続、収穫乾燥センター設備の維持・発展など、具体的に解消しながら収量・面積ともに増やしたい。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

【栽培】

高さ約5mの棚を敷設して、7~8mまで伸長する作物の栽培ということで、50年を超える知見により、最善の栽培技術を蓄積しながら組織として継承してきた。

ただ、露地・高所ということから、効率化・省力化が飛躍的に進む様な改革は進んでおらず、人手による作業時間の多さは解消されていない。

また、新規就農に際しては、棚の敷設費用負担の大きさが、参入に向けた大きな障壁となっており、既存農家の生産性向上と合わせた、産業全体の大きな課題。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

【収穫】

収穫及び収穫乾燥センターまでの移送についても、資材・手法を含めて40年来の形態を踏襲していることもあり、近年のスマート農業に見られる省力化・効率化は進められていない。

【収穫乾燥センター】

新農業構造改革事業など、稲作転換政策の推進と合わせた国の補助や資金を受けることで、収穫に欠かせない摘花・選別機及び乾燥機などを備える、収穫乾燥センターを各支部（生産組合）ごとに敷設することで、団地化・機会化・省力化を進めてきた。ただ、設備も40年を超えるものが多く、建屋を含めて老朽化が激しい中、部品調達にも苦労しながら利用している状況。特に、建

屋の破損は施設の廃止に直結するものであり、事業の継続及び安全面においても、建屋の維持に向けた修繕は急務となっているが、支部単位での積極的な投資が出来ない状況にある。
 また、収穫が8月17日～約2週間での集中作業になるが、収穫・摘花選別・乾燥と、支部ごとの人口集めに苦勞しており、知縁に頼らないスポットでの広範囲からの応援システムを模索中。

(3) その他の課題と対応方向

国産のホップ栽培自体は、60年を超える歴史があり、各方面の先人たちの努力により産業として確立されたものであるが、今現在は存続の危機にあると感じている。
 食品として直接消費するものではなく、メーカーとの契約栽培という形態からも、一般消費者からすると作物自体が遠い存在であることは否めない事実。一部のビールファンや醸造関係者のみが認識している「ホップ文化」を、もっとポピュラーなものにしていくための啓蒙活動が必要だと感じています。
 稲作転換政策から生まれた「ホップ文化」ですが、この貴重な文化を国全体として維持・発展させていける様に、取り組んで参ります。
 産地生産基盤パワーアップ事業などの活用を含め、未来に向けた組織的な投資も模索していきたいと考えます。

大雄ホップ農業協同組合 大館支部

所在地 秋田県大館市
 ホームページ

【1 栽培面積（令和5年現在）】

(3) 栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	337	a
収穫面積	337	a
収穫量	4,898	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	●主要ビール会社（※）	その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	生	●冷凍	●乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	(具体的に)		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

契約作物として高収益が期待されていたので導入した。
 当地域での栽培農家の減少により、平成29年「秋田北部ホップ農業協同組合」の解散後、「大雄ホップ農業協同組合」の大館支部として活動している。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など
 高所作業台、ステレオスプレーヤー等の導入で効率化を図ってきた。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

栽培管理は各個人が行うが、収穫作業は共同で行うため、収穫センターを維持管理している。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

--

【5 今後の栽培の意向、方針】

(4) 現状維持

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

古い株の更新は、随時行っている。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

国産ホップ減少が続いている中で、出荷契約会社が製品の購入価格を値上げしてくれていることは評価したい。
--

(3) その他の課題と対応方向

収穫作業には、多くの労力が必要とするが、近年は作業者の確保に苦労している。シルバー人材センターの活用が多くなってきている。

株式会社ホップジャパン

所在地 福島県田村市

ホームページ <https://hopjapan.com/>

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	40	a	自社栽培分のみ
収穫面積	40	a	
収穫量	23	kg	

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	その他ビール会社	●自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
● 鞠花	生	● 冷凍	乾燥
	ペレット		
	ルプリン		
	その他（具体的に		）

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

当時は大手ビール会社専用の品種・ホップ生産組合しかなかったため国産ホップは全て大手ビール会社を買取ることになっていた。 そのため、アメリカで人気だった乾燥加工せず生のままビールに使用するフレッシュホップビールを日本で生産することが出来なかったため、日本でも醸造できるように自らホップを栽培することとなった。
--

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

生のままホップを使うため、従来の機械による摘み取りは品質が落ちることから手摘みで収穫することとしたが、作業が大変な高所作業をしなくてもいいようにウィンチをつけて誘引線を弛ませ、地面でも手が届くように工夫した。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

地元電気工事会社協力の元、電柱や関連する部材を利用してホップ専用の棚を設置し、収穫したホップは通年で生のまま使えるように脱気シーラー、冷凍庫を設置、冷凍保存を可能にした。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

ホップ収穫体験&BBQなどのイベントを開催。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(2) できれば栽培を増やしたい希望はある

(増やせるかどうかの課題、条件、増やしたい目標や程度等)

近隣農家に委託し、ホップを生産しているが、クラフトビール造りに必要な種類のホップが日本種ほど生産量が上がらず、加えて肥料の高騰など現状の生産者を維持するのにも苦勞している状況である。

欧米のように機械化を進めないと継続していくことは難しいため、アメリカの収穫機械を安く手に入れる方法を模索している。

機械化が出来なければ減らすしかない状況である。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

前述した通り。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

収穫後の工程については現状のままでも問題はなく、最終的に当社で全て使用するため販売の課題もない。

(3) その他の課題と対応方向

個人（福島県）

所在地

ホームページ

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	8	a
収穫面積	3	a
収穫量	8	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	●その他ビール会社	●自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	●生	●冷凍	乾燥
ペレット			

ルプリン
その他 (具体的に)

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

川前町は、少子高齢化の影響で、担い手の不足や休耕作放棄地などの増加が課題となっている。そのような中、地域おこし協力隊として川前町に就任し、地域おこしのミッションとして、クラフトビールを新しい特産品として地域おこしを行いたいとの意見に賛同し、地域課題の一つだった、休耕作放棄地を活用して、ビールの原料「ホップ」「二条大麦」を栽培。それらを使った、川前町の新しい特産品としてのクラフトビールを産み出す、というプロジェクトが始まり、町内の賛同いただける方が中心となった任意団体を結成し、現在もホップの栽培に取り組んでいる。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

・栽培面において、現在設置しているホップ棚は、ワイヤーをウィンチで上げ下げできる機構となっており、それによる収穫や作業の容易さや、ツルを高くまで伸ばせるため、品質向上と高所での作業が不要という安全性を確保している。
また、近隣のホップ農家や、精力的に活動されている国内のホップ農家に栽培方法の技術指導や情報共有をいただきながら行っている。
・川前町に住む地域住民の団体メンバーや、取組みに賛同いただけた方々と協働し、栽培している。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

ホップ棚は、畑内に2基設置してあり、対となる柱に電線のようにワイヤーを張り、ホップのツルが伝い登るための誘導ヒモをワイヤーに多数取付け、栽培を行います。柱にはウィンチが取り付けられており、ワイヤーを上げ下げできる機構となっている。
加工においては、収穫したホップを冷凍にし、クラフトビールの仕込みの際に使用する。仕込みにおいては、川前町で整備中のクラフトビールの醸造所で行う予定。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

(1)に記載した通り、川前町の課題である旧耕作地の活用と、町の新しい特産品としてPRを行っていくと共に、原料の栽培や収穫の体験ができる催しや、地域振興のための取組み事例としての紹介・案内活動などを不定期に開催している。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(1) 栽培を増やす方針・予定・計画がある

(方針・計画・予定の内容(目標、面積、時期、方法等))

栽培を増やす予定あり。
ホップについては、ホップ棚の増設を行い、収穫スペースの拡大・収穫量の増加を検討中。時期としてはまだ未定であるが、予算確保出来次第、棚の工事を行う予定。また、大麦の栽培に関しては、条件に見合った土地の選定と、マンパワーの確保ができ次第拡大を行う。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

現在の課題としては、資金面とマンパワーの確保は必要である。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

加工部分についての課題としては、冷凍保存の必要性があるため冷凍庫の確保と保管コスト、長期間保管するための加工として乾燥機の確保などが挙げられる。販売面に関しては、PR・販促の強化をし、販売を促す必要がある。

(3) その他の課題と対応方向

毎年異なった気候や、害虫対策などに対応するための栽培技術を有識者などとの交流を行って情報共有することをもっと多くしたいと考えている。

合同会社オクトワン

所在地 群馬県みなかみ町
ホームページ <https://oct-1.com/>

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	15	a
収穫面積	5	a
収穫量	10	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	その他ビール会社	●自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	生	冷凍	●乾燥
ペレット			
ルブリン			
その他	（具体的に）		

【4 栽培の経緯・目的】

（1）ホップ栽培に取り組んだ経緯

Uターンで7年前に湯原でクラフトビール醸造工場を設立し、かねてより希望であった自家栽培ホップを4年前より実家近くの農地を利用し栽培を開始した。

（2）ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

無農薬・無化学肥料での栽培

（3）棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

棚は単管パイプにて自作。
倉庫にて扇風機等を利用し乾燥させ、真空冷凍。

（4）ホップを活用した「地域おこし」の取組など

【5 今後の栽培の意向、方針】

（6）方針は未定・その他

「その他」の場合は、具体的に

地域にあった品種がわかってきたので、農地の拡大はせず、品種の入れ替えにより増産を目指す。

【6 主な課題と対応方向】

（1）栽培面の課題と対応方向

人手不足

（2）加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

下処理に手間を取られるので、外注にて請け負ってもらえる加工施設等があると助かる。

(3) その他の課題と対応方向

かけわ株式会社

所在地 千葉県香取市
ホームページ <https://kakewa.stores.jp/>

【1 栽培面積（令和5年現在）】
栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	2	a
収穫面積	2	a
収穫量	10	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	その他ビール会社	●自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	生	冷凍	乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	（具体的に）		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

ホップ栽培を始める以前から、耕作放棄地を利用して、野菜を栽培していました。その畑で、ビールに使う物も何か作れないかと思い、ホップの栽培を始めました。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

風の影響を受けて倒れてしまわないよう、棚の高さは高くしすぎず、棚の強度も丈夫な物を使用しました。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

畑の一面で栽培しており集出荷施設、加工施設はありません。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

毎年収穫の時期に地元産ホップの限定ビールを作ることにより、自社の取り組みや、ビール造りに興味を持ってもらい、このビールを飲みたいというファンを作っていきたいと思っています。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(1) 栽培を増やす方針・予定・計画がある
(方針・計画・予定の内容（目標、面積、時期、方法等）

株分けをして1年ごとに1.5倍ずつ栽培面積を増やしていく予定です。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

台風などの自然災害が起きた時に、全てがダメになってしまう可能性が高いので、引き続き棚の強度や栽培方法の研究を行っていく予定です。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

収穫時の人手不足が課題なので、収穫体験などのツアー的要素を入れつつ、ビール好きのお客様にも一緒に収穫をお手伝いいただける工夫をしていきたいと思っています。

(3) その他の課題と対応方向

現在ホップは1種類のみを育てているので、今後違う種類のホップ栽培にも挑戦していきたいと思っています。

帯名ホップス合同会社 オビナブルーイング

所在地 山梨県甲府市

ホームページ <https://obinabrewing.com>

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	1,700	m ²
収穫面積	1,700	m ²
収穫量	150	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	その他ビール会社	●自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
● 鞠花	● 生	冷凍	乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	(具体的に)		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

I started growing mostly American hops in Obina, Kofu, in Yamanashi Prefecture mainly because there were few hop growers in Japan and I wanted to see if American hops could be grown successfully here. Also, I wanted to build a brewery in Obina to showcase locally-crafted beer, and I hoped that my hops could provide a solid link between locally-sourced ingredients and branding a successful beer.

私は山梨県甲府市帯那で主にアメリカのホップを栽培し始めました。その理由は、日本にはホップ栽培者が少なく、アメリカのホップがここで成功裡に栽培できるかどうかを確かめたかったからです。また、帯那に醸造所を建て、地元で作られたビールを紹介したいと思っており、私のホップが地元の原材料と成功したビールのブランド作りの間に強固なつながりを提供できることを期待していました。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

Because I had no prior knowledge or experience growing hops, I had to research and apply ‘trial and error’ approach. In the first year, cutting the leaves from the ground to approximately one meter above the ground to provide wind flow was painstaking. I had enclosed the original two hop yards with animal nets because of fear of deer and wild boar damage. However, leaving the entrance open one night, deer entered the hop yard and ate the leaves up to the 1.5m height of the stem of each hop. So I allowed deer to freely enter and reduce the leafy foliage of the bottom section of hops, reducing labor and providing excellent wind flow under the hops. I also built a small hop-heating Ost House and successfully extracted up to 80% of water during the drying phase.

ホップ栽培に関する知識や経験が全くなかったため、私は調査を行い、「試行錯誤」のアプローチを適用する必要がありました。1年目には、風通しを良くするために地面から約1メートルまでの葉を切り取る作業は非常に骨が折れました。鹿やイノシシによる被害を恐れて、最初の2つのホップ畑を動物ネットで囲いましたが、一晚入口を開けたままにしていたところ、鹿がホップ畑に入り込み、各ホップの茎の1.5メートルの高さまで葉を食べてしまいました。そこで、鹿が自由に入り込んでホップの下部の葉を食べることを許可し、労力を減らしつつ、ホップの下に優れた風通しを提供することができました。また、小さなホップ乾燥用のオストハウス（乾燥小屋）を建設し、乾燥工程で水分を最大80%まで抽出することに成功しました。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

By 2022, I had built four hop yards, including trellises reaching between 4 and 5 meters. Several other hop trellis areas were abandoned because of excessive water run-off. I built and used my workshop to hand-pick the best hops for use in beers. I bought equipment for processing hops after drying them, in order to produce pellets which are best for use in the beer making process.

2022年までに、私は4～5メートルの高さの棚を備えた4つのホップ畑を建設しました。しかし、いくつかの他のホップ棚エリアは過剰な水の流出のために放棄されました。私は作業場を作り、ビールに使用するための最高のホップを手作業で選びました。ホップを乾燥させた後に処理し、ビール製造に最適なペレットを生産するための設備も購入しました。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

I have enjoyed full support from the Obina Community as well as the Kofu City Office and local media. Starting in 2022, I collaborated with Yamanashi Kotsu to do hop and craft beer tasting tours. We were able to bring inbound tourists to Obina to get my lectures on the challenges and rewards of growing hops, create beers with hops and local fruits, and I was able to bring my university seminar students to Obina to teach them about hop cultivation, record the progress, and we used hop-growing and DIY projects which helped highlight the benefits of producing beer in the Obina area. My students and I were able to reach our goal to crowdfund part of the project, and this included giving private hop and beer-tasting tours to donors from all over Japan. We have since hired several Obina residents who continue working for us in the Beer Café, newly opened Obina Ale House in downtown Kofu, and in the hop fields.

おびな（帯那）コミュニティや甲府市役所、地元メディアからの全面的なサポートを受けてきました。2022年からは、山梨交通と協力して、ホップとクラフトビールのテイastingツアーを実施しました。このツアーでは、インバウンド観光客をおびなに招き、ホップ栽培の課題と成果についての講義を行い、ホップと地元の果物を使ってビールを作り、また、大学のセミナーの学生たちをおびなに連れて行き、ホップ栽培について教え、進捗を記録しました。さらに、ホップ栽培やDIYプロジェクトを活用して、おびな地域でビールを生産することの利点を強調することができました。私と学生たちは、プロジェクトの一部をクラウドファンディングで支援するという目標を達成し、これには日本全国からの寄付者に対してプライベートなホップとビールのテイastingツアーを提供することが含まれていました。その後、ビアカフェや甲府市中心部に新しくオープンしたおびなエールハウス、ホップ畑で働くために、数名のおびな住民を雇用しました。

【5 今後の栽培の意向、方針】

- (1) 栽培を増やす方針・予定・計画がある
(方針・計画・予定の内容(目標、面積、時期、方法等))

Starting in 2022, I was able to purchase additional fields with the hope of cultivating more hops. At the same time, I finished building the brewery and received a license to produce craft beer in Obina. Because of Covid, I was not able to secure an overseas expert to help teach me how to make beer, so I had to learn myself. However, because I studied and designed the brewery myself with the help of manufacturing engineers, learning how to make beer on my system did not take long. I also hired American and Japanese Master Brewers to help guide and teach me in the early days. But because of these time-consuming efforts, limited cash-flow, and little available manpower aside from my pregnant wife, it became very difficult to manage the hops. The biggest challenge in growing hops in Japan is the dreaded mildew disease called 'beto-byo' which infects hops in June when humidity, precipitation and heat increase. In the 2nd year we lost all of our hops in one week. After the initial infection, it became necessary to spray every hops plant on both sides of the leaf and cones, all the way to the top of the trellis. And the medicine needed to be changed to a different type each spray because the beto-byo adapts to various medicines, rendering them less effective. I bought larger equipment to spray the hops, but more time and work to control mildew disease ((beto-byo) became necessary, so during Covid, we had to accept a smaller yield. Another great challenge is to secure manpower to help with hop cultivation. We tried to find help, but we didn't get many people to try it, especially young people. Many people were afraid of heights, so I still had to string the trellises every season myself. Most people gave up after a few hours citing 'heat-stroke' concerns or more-than-expected difficulty. Weeds also grow very rapidly and it is difficult to keep them from competing with the hop growth. Typhoons and insects also reduce yield by up to 20%. Given the many challenges in growing American hops in Japan, we can currently only use the hops we can harvest by hand for use in seasonal 'fresh hop' ales, which can usually be made around late August or early September. While these 'fresh' beers have proven popular, they are not without risk. For example, I have not found any way to test the lupulin alpha/beta levels in Japan. I contacted some testing and research centers in Japan, but they are not at liberty to share their equipment. Without knowing the oil levels in hops, there is little way to predict the amount of bittering taking place during the boil process of beer making. This makes producing a beer within the taste requirements of that beer unpredictable. I found it helps to market such beer as historic 'wild beer' that is similar to beers made many years ago before testing was available. On a commercial level, it is difficult to sell this type of beer to anyone other than regular customers willing to try something new or, B2C customers. Although we have successfully grown, harvested, dried, pelletized, packaged and used our hops in some beers, a lack of manpower to confront and overcome the time-consuming challenges listed above, it will be difficult to expand at this time. Depending on the success of the brewery, our current plan for our hops is that once our beer sales reach a consistent level and we can afford it, we aim to use our remaining hops to increase production.

2022年から、より多くのホップを栽培することを目指して、追加の畑を購入することができました。同時に、醸造所の建設を終え、おびな(帯那)でクラフトビールを製造するためのライセンスを取得しました。しかし、コロナ禍の影響で、ビールの製造方法を教えてくれる海外の専門家を確保することができなかったため、自分で学ぶ必要がありました。ただし、製造エンジニアの助けを借りて自分で醸造所を設計し学んだので、自分のシステムでビールを作ることを学ぶのに時間はかかりませんでした。初期の段階では、アメリカ人と日本人のマスターブルワーを雇い、指導を受けました。しかし、これらの時間のかかる努力、限られた資金繰り、妊娠中の妻を除いてほとんど人手がない状況で、ホップの管理は非常に困難になりました。日本でホップを栽培する上で最大の課題は、湿度、降水量、気温が上昇する6月にホップに感染する「べと病」という恐ろしい病気です。2年目には、1週間でホップが全滅してしまいました。初期感染後は、葉の両面やコーン、そして棚の頂上までのすべてのホップ植物にスプレーをかける必要がありました。また、「べと病」がさまざまな葉に適応し、それらの効果を弱めてしまうため、毎回異なる種類の薬を使用する必要がありました。より大き

なスプレー装置を購入しましたが、べと病を防ぐためにはさらに多くの時間と労力が必要となり、コロナ禍の中で収穫量を減らさざるを得ませんでした。もう一つの大きな課題は、ホップ栽培を手伝ってくれる人材を確保することです。手助けを探しましたが、特に若い人たちにとっては挑戦してみようという人は多くありませんでした。多くの人が高所恐怖症で、毎シーズン自分で棚を張らなければなりません。ほとんどの人は、数時間後に「熱中症の懸念」や「予想以上の難しさ」を理由に辞めてしまいました。雑草も非常に速く成長し、ホップの成長と競り合うのを防ぐのは難しいです。台風や虫も収穫量を最大 20%まで減らします。日本でアメリカのホップを栽培するには多くの課題があるため、手作業で収穫したホップは、主に 8 月下旬から 9 月初旬に作られる季節限定の「フレッシュホップエール」に使用することしかできません。これらの「フレッシュ」ビールは人気がありますが、リスクもあります。例えば、日本国内でルプリンのアルファ/ベータレベルをテストする方法が見つかりませんでした。いくつかのテストや研究機関に連絡しましたが、彼らはその機器を共有することができないと伝えられました。ホップの油分のレベルがわからないと、ビールの製造過程での煮沸中に生じる苦味の量を予測することは難しいです。これにより、そのビールの味の要件に合ったビールを作ることが予測しづらくなります。このようなビールは、テストができるようになる以前の昔の「野生のビール」として歴史的にマーケットするのが効果的であることがわかりました。商業レベルでは、この種のビールを、何か新しいものを試してみたい定期的な顧客や B2C 顧客以外に販売するのは難しいです。私たちはホップの栽培、収穫、乾燥、ペレット化、パッケージング、そして一部のビールに使用することに成功しましたが、上記の時間のかかる課題に対処し克服するための人材不足により、現時点では拡大するのは難しいでしょう。醸造所の成功に応じて、私たちの現在のホップに対する計画は、ビールの販売が安定したレベルに達し、余裕ができれば、残りのホップを使って生産を増やしていくことです。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

Same as 【4】(1) .
【4】(1) に同じ。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

Same as 【4】(1) .
【4】(1) に同じ。

(3) その他の課題と対応方向

株式会社 グリーンフィールド

所在地 長野県佐久市
ホームページ

【1 栽培面積（令和 5 年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	2	a
収穫面積	2	a
収穫量	80	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
● ビール	主要ビール会社 (※)	● その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
● 鞠花	● 生	冷凍	乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	(具体的に)		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

元々、ヤッホーブルーイングに小麦を出荷したころ、ヤッホーブルーイングから地元産のホップを作れないか相談があり、平成28年頃からホップの栽培に取り組んで来た。当初は2品種を栽培していたが、栽培環境が合わなかった1品種は収穫まで至らなかった。環境にあったカスケード(アメリカの品種)を現在も栽培。

(2) ホップ栽培上の工夫(経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組)など

基本的に機械はグリーンフィールドにない。収穫だけで行い、選別は委託で行っている。(山梨の業者)

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

幅4m、高さ約6mの棚を2つある程度。集出荷・加工施設はない。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

特に行っていない

【5 今後の栽培の意向、方針】

(3) 現状維持

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

人員不足。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

施設が周辺にない。コストの割に収益性が低い。

(3) その他の課題と対応方向

個人(新潟県)

所在地

ホームページ

【1 栽培面積(令和5年現在)】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	10	a
収穫面積	10	a
収穫量	50	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
● ビール	主要ビール会社(※)	● その他ビール会社	自ら利用

●香料・化粧品	●化粧品会社等	自ら利用
●その他	具体的に Web 販売	

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
● 鞠花	生	● 冷凍	● 乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	(具体的に)		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

当初はブルワリー開業を目標に先にホップ栽培を始めようと思いスタートした。現在市議として働いており、ホップの売上はそこまで多くない状況にある。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

基本的には自分が全作業を行い、スポットでシルバー人材を頼んだりしている。摘果機を3年目に導入したことでなんとか小規模でやっている。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

ホップ棚は畑周りの木と単管で作成、選別、包装、保存などは自分の倉庫で個人で行っている。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

ホップサイダーを開発し販売している。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(3) 現状維持

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

紐つけや収穫などに手間が掛かっている。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

ブルワリー向けのホップの販売が少ないので営業に出向くなどして増やしたい。

(3) その他の課題と対応方向

とくになし。

株式会社アグリたかの

所在地 新潟県小千谷市

ホームページ

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	2	反
収穫面積	2	反
収穫量	0	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	その他ビール会社	●自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	生	●冷凍	乾燥
ペレット			
ルブリン			
その他	(具体的に)		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

2022年の年末に小千谷市内でクラフトビール施設の建設の話が持ち上がり、農業法人の特性を生かしてホップの栽培をしてそのホップを利用したクラフトビールを製造する計画が始まった。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

京都の与謝野ホップ様と相談させていただき、より良いホップを栽培できるように勉強を行なっている。初年度の令和5年については、取り組みの開始が遅れたり夏場の2か月間の日照りがあったため、成長せず失敗をしてしまったが、今年度は問題なく成長している。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

小千谷市山本山に6mの単管で組んだホップ棚を整備している。フレッシュホップとしての保管については関連会社株式会社たかのに持ち込み脱気包装と冷凍保存が可能になっている。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

小千谷市本町の図書館等複合施設「ホントカ」の最寄りの空き店舗を活用し、自社でクラフトビールの醸造設備を整備した。中心街活の活性化と地域の産物を活用したビールの製造を行い、地域の魅力アピールに寄与したいと考えている。また、景観の良い場所にホップ棚を作成したので、夏場の観光スポットになればよいと考えている。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(1) 栽培を増やす方針・予定・計画がある

(方針・計画・予定の内容（目標、面積、時期、方法等）

今年度よりも作付け間隔を狭めて、大規模なグリーンカーテンのような栽培を行い、市内への夏場の観光目的になるように整備を行いたい。また、クラフトビール事業で大々的に使用できるよう収量確保に臨む計画でいる。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

農作業を地域のみならずに見てもらいたいため、当面は手摘みでの収穫を行なおうと思っているが、今後は機械化も考えていかなければならないと思う。そうした場合に初期投資がかなりかかってしまうことが想定されるので、それに対する備えをしなければならない。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

加工と利用については協力していただいている方のアドバイスを受けているので心配はないが、実際にはホップの収穫とビールの製造を同一事業所で行うので価格についてどういう計算をしているかが今後の課題と考えている。

(3) その他の課題と対応方向

--

一般社団法人芦峯活性化協議会

所在地 富山県立山町

ホームページ https://instagram.com/ashikura_enjoy2023

【1 栽培面積（令和5年現在）】

(5) 栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	300	m ²
収穫面積	300	m ²
収穫量	10.7	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	その他ビール会社	●自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	生	冷凍	●乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	（具体的に）		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

- ・芦峯寺地区の活性化を目的として、芦峯寺特産品づくりを進めています。
- ・特産品のコンセプトは、芦峯寺にあるもの及び、芦峯寺で採れるものを使用して作ることです。
- ・芦峯寺で作物を栽培するにあたり、問題となるのが「獣害」です。特に猿被害は著しく、猿に食べられない作物として、「ホップ」に着目しました。その「ホップ」と、芦峯寺の奥山から湧出る「湧水」を使用した「クラフトビール」の開発を試行錯誤しながら進めてまいりました。
- ・R5年度から、芦峯寺特産品として販売しており、交流人口の増加に寄与しています。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

- ・栽培は、協議会員のみならず、地区の高齢者にも協力をいただきながら進めています。高齢者の生きがいつくりと収入増にも少ないながら貢献しています。
- ・将来は、村の耕作放棄地に広げたいと考えており、放棄地の削減にも貢献したいと考えています。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

- ・棚・・・高さ5m、延長10m、6列
- ・乾燥機 1台
- ・真空パック機 1台
- ・冷凍庫 1台

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

- ・(1)で記載のとおり
- ・現在、ビールの醸造は、他会社へ委託していますが、将来は、自家醸造したいと考えています。芦峯寺に、醸造所を建設し、そこに雇用を創出したいと考えています。雇用を生み出すことで、芦峯寺の住民数の増加にも寄与できると考えています。

【5 今後の栽培の意向、方針】

- (1) 栽培を増やす方針・予定・計画がある
(方針・計画・予定の内容(目標、面積、時期、方法等))

- ・栽培面積 R5 300 m²、R6 600 m²、R16 1200 m²
- ・収穫量 R5 11 k g、R6 20 k g、R16 100 k g

【6 主な課題と対応方向】

- (1) 栽培面の課題と対応方向

課題：人手不足(現在、協議会員数名、地区高齢者のみで行っている)
対応：協力者の増及び機械化

- (2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

- ・加工：脱穀機の新規導入。乾燥機の増。
- ・利用：ビールの自家醸造所を建設し、製造数を劇的に増やす。また、醸造所で雇用を創出したい。
- ・販売面：芦峯寺クラフトビールのマーケットを創出することが課題。卸先を順次開拓しています。

- (3) その他の課題と対応方向

ルネッサ普賢寺

所在地

ホームページ

【1 栽培面積(令和5年現在)】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	500	m ²
収穫面積	300	m ²
収穫量	1.3	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社(※)	●その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	生	●冷凍	乾燥
	ペレット		
	ルプリン		
	その他(具体的に)

【4 栽培の経緯・目的】

- (1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

米よりも反収が良いことに着目していたところ、
京田辺農福観地域づくり協議会とも協力し、地ビールづくりの企画が始まった。

(2) ホップ栽培上の工夫(経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組)など
栽培技術に長けた方が市内には存在しないので、府内(亀岡市)や近隣県(和歌山県)への視察
を行いながら栽培している。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

なし

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

京田辺農福観地域づくり協議会とも協力し、地ビールづくりを行う。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(2) できれば栽培を増やしたい希望はある
(増やせるかどうかの課題、条件、増やしたい目標や程度等)

苗が高いので、資金的に難しい部分がある。
また、日々の管理をする人もおらず、専任の従事者が見つかれば増やしていきたい。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

0 専任の耕作者がいないため、ビール造りを通し、収益が見込めれば担い手が見つかるかと考える。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

(3) その他の課題と対応方向

個人(兵庫県)

所在地

ホームページ

【1 栽培面積(令和5年現在)】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	24	m ²
収穫面積	16	m ²
収穫量	0.5	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社(※)	その他ビール会社	●自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
●その他	具体的に ハーブティーやクラフトジュースにしていきたいと開発中		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	生	●冷凍	乾燥
ペレット			

ルプリン
その他 (具体的に)

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

和田山地区ではなく他の地域(朝来市内)の地域おこし協力隊員が朝来市でも地ビールを作れたらよいのにとホップの苗を植えたところ、思いのほか育ったのでホップ栽培に取り組んでこられたことが始まりである。それぞれの自治協議会のある地域で地ビールができたなら地域活性化にも繋がるのではないかと「TAJIMA HOP PROJECT」が立ち上がった。そのプロジェクトのうちの1つとして、この春に「和田山魂」というビールを完成することができた。

(2) ホップ栽培上の工夫(経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組)など

今のところ、試験段階なので工夫は特にないが、2年目を経て、土が重要だという事は分かってきた。(本人談)

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

ホップを収穫したものは食品圧縮袋に入れて冷凍保存している。それを委託している醸造所へ持って行き、醸造してもらっている。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

当朝来市、または和田山地区においては人口減少、少子高齢化などにより地域の活力低下がうかがえるようになってきており、加えて社会変化による人と人とのつながり、コミュニティの希薄化が地域の低迷により拍車をかける事態となっている。そこで和田山地区地域自治協議会(以下、「和田山自治協」という。)に配属された地域おこし協力隊員が中心となり、地ビールを地域づくりの一つの軸として地域を盛り上げていきたいと考え、令和5年の春から和田山地区でホップの栽培、収穫、醸造所への製造委託、完成に向けて取り組んできた。

特に令和5年度においては和田山自治協が地区内の児童の栽培・収穫体験のために運営する農園「えがお」でメロンを栽培、収穫し、その果肉もホップと一緒に混ぜ込んで制作した。

この試験段階を経て、「和田山のビール(正確には、リキュール類としての取り扱い。)」が完成させることで、今後、地域の方々と一緒に地ビールづくりを行っていくという社会性の高い活動ができると考えている。

朝来市内の他のそれぞれの地域の中で、生産・製造・販売という第一次産業から第六次産業までを組み合わせた地産地消につながる活動と、併せて教育の場としての活用により、持続可能な地域の活性化を目指す第1歩になると考え取り組んでいる。

令和6年度 4/8(月)朝来市本庁での「和田山魂」完成時 記者発表の資料抜粋

【5 今後の栽培の意向、方針】

(1) 栽培を増やす方針・予定・計画がある

(方針・計画・予定の内容(目標、面積、時期、方法等))

今のところ、今後の計画・目標としてはこのように挙げている。

(1) でき上がったビールを朝来市内や但馬地域等の酒屋、道の駅などの観光施設等で委託販売するほか、飲食店などでサーバーでも提供できる店舗を増やして、観光の振興、播但線の利用拡大にもつなげる。

(2) 地域の農地を持つ方々にホップを生産してもらい、一般住民の方にも1軒1株、1軒1鉢運動的に多くの方に関わっていただき、ビールづくりという共通の話題で地域のアイデンティティを創出させる。

(3) 販路確保及びPRのため、国内EC(国内向けのネット通信販売)の実施のほか、越境EC(海外に向けたネット通信販売)などにも取り組み、インターネットを通じた販売網を確立するための多言語サイトの立ち上げなどを行い、このビールだけでなく、朝来市の特産品や製品のPRや販売、また観光PRも併せて行う。

(4) 今回はメロンとのコラボを行ったが、第2弾、第3弾のコラボ製品を研究、検討し、新商品の開発・拡販体制を構築する。

- (5) この活動を他の自治協議会のある地域(糸井・粟鹿・東河・竹田・朝来・生野・奥銀谷・黒川・梁瀬・与布土)にも理解や賛同をいただき、各地域でホップを生産してもらい、それぞれの地域の特徴あるビールとして、酒販業者に販売してもらうという、朝来市全体の大きな取組みを目指す。
- (6) ホップを育てるにあたり、市民農園などで地域の子も達や地域外の親子にも水やりや収穫体験ができるような体験イベントを行い、教育の場の提供・関係人口増加につなげる。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

この取組みを理解してもらえるようにPRすることは勿論、ホップ栽培に携わってくれる方々を増やすことも必要である。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

販売面では「TAJIMA HOP PROJECT」のメンバー、もしくは地域おこし協力隊員が一般酒類小売業免許を取得しないと販売できないので、その課題がある。

また、今後この活動を持続するには協力隊の活動費だけでは経営していけないので、経営できる仕組みを考えていく必要がある。

(3) その他の課題と対応方向

地域の子も達も一緒にホップを栽培してくれているので、クラフトビール以外の活用法として子ども達も飲むことのできるホップ入りのジュース(クラフトコーラ等)が出来るようにも考えていきたい。

株式会社Agrisus

所在地 和歌山県橋本市

ホームページ <http://www.mitsuboshi-farm2019.com>

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	10	a
収穫面積	10	a
収穫量	40	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社(※)	●その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
●鞠花	●生	●冷凍	乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	(具体的に)		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

耕作放棄地を活用した農作物の栽培を考えたところ、夏期冷涼な気候にホップが適しているのではと試験栽培を行った。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

昇降可能な棚の設置により、成熟したホップのみを手摘みで収穫することで高品質化に取り組む。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

昇降可能な棚の整備を行っている。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

クラフトビール天空般若を商品化し、高野山の宿坊と飲食店で限定的に提供、地場農産品として地域の消費拡大や活性化に寄与する。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(3) 現状維持

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

昨年は、長雨や春期の温度不足、本年は、雨が少なく高温で、気象条件が年々栽培に難しい状況だ。雨や暑さに耐性のある大麦が開発中のようなので、ホップにも新たな品種ができないか期待するところ。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

現状は、円滑に進んでいる。

(3) その他の課題と対応方向

個人（岡山県）

所在地

ホームページ

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	5	a
収穫面積	5	a
収穫量	30	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	● その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
● 鞠花	生	● 冷凍	乾燥
	ペレット		
	ルプリン		
その他	（具体的に）		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

中山間地域における農業の課題はコールドチェーンと鳥獣害であり、一般的な青果品目での経営は難しいと考え、酒類製造・販売まで含めた6次化により生計確保を目指して取り組みを始めた。気候的にも高地にあたる岡山県新庄村はホップの主産地である東北の作物が根付いた例が多く（ヒメノモチ、サルナシ）、気候的にも栽培に適しているのではないかと考えた。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

現状は1人役、兼業のため小規模、手摘み収穫で栽培管理している。自社ブルワリーで消費する程度の量が採れば現状は問題なく、原材料出荷をするつもりもないため大規模化、合理化は考えていない。水稲からの転作地であり、基盤整備により排水機能が低いため病害に苦しめられており、現状は手掘り明渠で対応している状況である。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

ホップ棚は単管パイプ（6m）と4mmステンレスワイヤーで自作で組んだ簡易なもの。集出荷施設、加工施設はない。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

地元産ホップを使ったシーズナルビールを毎年秋にリリースしている。ホップツーリズムも検討したいが、現状栽培上の課題の克服が優先であり、実施できていない。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(2) できれば栽培を増やしたい希望はある

（増やせるかどうかの課題、条件、増やしたい目標や程度等）

現状は単位面積の収量アップに集中したいが、将来的には10a、収量200kg程度には増やしたい。品種の選定も進め、できれば最新の品種も導入していきたい。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

水田転作地での栽培を行っているため、排水が悪い箇所です生育が悪い。薬剤による防除は未実施のため、虫害が一定発生している。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

ホップ個性がより製品に反映できるように、冷凍破碎もしくはルプリン抽出に取り組みたい。

(3) その他の課題と対応方向

ほぼ手探りで取りくんでおり、トライ&エラーの道半ばである。圃場の排水改善、収穫後の後加工について取組、安定的な生産方法の確立を目指す。

障害福祉サービス事業所グリーンファーム

所在地 山口県下関市
ホームページ <https://utsuifukushikai.com/>

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	2	a
収穫面積	0.7	a
収穫量	4	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	その他ビール会社	●自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用

その他	具体的に
-----	------

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
● 鞠花	生	● 冷凍	乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	(具体的に)		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

元々農作業を主として障害のある方たちの就労支援を行っていたが、工賃の向上に向けて新たな取り組みを検討していた。地域に無いもの、希少性の高いもので考えたところホップ栽培について知る機会に恵まれた。当初は栽培したものをそのまま販売しようと考えたが、収量や販路を検討したところ売り上げを上げるのは難しいと判断し、ホップの出口として自社使用可能なクラフトビールの製造に向け動き出した。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

障害のある方でも安全に作業できるよう、昇降式にして高所での作業をなくしている。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

栽培棚は自社で設置、既存の作業場で選別等行っている。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

ブルワリー横に圃場を設け、収穫時期にはホップの見学や摘み取りをしてもらい、摘んだホップをビールに浮かべて飲めるようにし集客に努めている。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(3) 現状維持

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

他の作業や製造に時間をとられ手入れ等に時間をかけていない

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

(3) その他の課題と対応方向

久万高原ホップ部

所在地 愛媛県久万高原町

ホームページ <https://www.instagram.com/kumkougenhop/>

【1 栽培面積（令和5年現在）】

栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	538	m ²	8名分合計
収穫面積	250	m ²	8名中回答1名分

収 穫 量	28	kg	令和4年度
-------	----	----	-------

【2 用途及び出荷先】

用 途	出 荷 先		
●ビール	主要ビール会社（※）	● その他ビール会社	自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
● 鞠 花	生	● 冷凍	乾燥
ペレット			
ルプリン			
その他	(具体的に)		

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

【久万高原町ホップ栽培の経緯】

地域おこし協力隊同士の連携事業。①起案者は、地域おこし協力隊として久万高原町に移住したが、昔は町に多数酒蔵があったが、全て廃業してしまっていることを残念に思っていた。同じように思う地元の人達がいた。②久万高原町は観光地であり、観光客は地元のお酒を楽しみたいのではないかと思った。③起案者自身が地酒文化を好きで取り組みたいと思った。→クラフトビールは委託醸造できると知り、地域の特産品を副原料にして地ビールを作りたいと思ったが、主原料を地元産にできたら、より地ビールと言えろと思った。→農業ミッションの地域おこし協力隊に栽培依頼すると面白そうだと快諾してもらえた。栽培でき、1年後に更に「面白そう」と3人の地元農家さんが栽培に加わった。数回クラフトビールを委託醸造で造った後、松山市の醸造所が地産の材料を使いたい、ホップ生産が安定するまで高値で全量買い取りすると、申し出があり、ホップの販売先が見つかったことで、更に5人地元農家さんが増えた。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

(8人農家の回答があった方の意見)

- ・水はけの改善に縦穴暗渠や高畝、排水明渠の取り組み
 - ・安全な収穫に課題があり、滑車をつけて収穫する、足場を作り収穫する。
- (代表者の工夫)
- ・ライングループを作り、悩み相談や状況共有する。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

(8人農家の回答があった方の意見)

- ・柵を鉄パイプとワイヤーで組んで5mの高さまで誘引可能なように工事している。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

- ・獣害が多い野菜栽培、身体への負担が大きい果樹栽培をしていた農家が、獣害が少なく、重さが軽く、売り先のあるホップで収入を得られている。
- ・愛媛県の複数のメディアに取り上げられ、地域のPRになっている。これを目当てに道の駅に来たと言う人もいた。
- ・愛媛県で観光客がまず訪れる道後との連携になり、愛媛県を訪れる観光客にも久万高原町のPRに繋がっていると考える。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(1) 栽培を増やす方針・予定・計画がある

(方針・計画・予定の内容(目標、面積、時期、方法等))

数値化した目標はないが、道後以外の醸造所からも地元産ホップに興味をもってくれている所があり、それぞれが栽培数を増やしている。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

・水捌けの改善、肥料の過不足の見極めがよく分からない、収穫の手間
 ・苗の販売店に質問しながら栽培していますが、上記のような課題に対する栽培指針などがあれば共有いただけると助かります。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

(代表者の意見)
 ・ホップの栽培には柵作りなど設備面で費用がかかり、収穫には危険が伴う。農家が収入を得られるような金額設定をしたいが、外国産ホップが安いため通常高価格をつけにくい。

(3) その他の課題と対応方向

・ホップの販路確保と格設定。高いと他の栽培地に流れるが、安いと生活できない。

宮崎ひでじビール株式会社

所在地 宮崎県延岡市
 ホームページ <https://hideji-beer.jp/>

【1 栽培面積（令和5年現在）】
 栽培面積・収穫面積・収穫量

栽培面積	15	a
収穫面積	15	a
収穫量	54	kg

【2 用途及び出荷先】

用途	出荷先		
●ビール	主要ビール会社（※）	その他ビール会社	●自ら利用
香料・化粧品	化粧品会社等		自ら利用
その他	具体的に		

※ 主要ビール会社：キリン、アサヒ、サントリー、サッポロ、オリオン

【3 出荷形態】

出荷形態	出荷形態の詳細		
鞠花	生	冷凍	乾燥
ペレット			
ルプリン			
●その他（具体的に	自ら利用		）

【4 栽培の経緯・目的】

(1) ホップ栽培に取り組んだ経緯

弊社は「地域と共に」を掲げ、地域の素材を積極的に使用したビール造りを行っている。その中で「ホップ」は「大麦」「水」「酵母」と共にビールの主原料であり、弊社が目指す「オール宮崎産ビール」を進めるうえで避けられない原料であり、2016年より研究・栽培を開始した。とはいえホップ生産の主産地は寒冷な東北、北海道であり、南国宮崎でのホップ栽培は難易度が高いが、「地元産原材料の確保」という視点以外にも「地域との連携」「九州のビール文化を盛り上げる」「クラフトビールの魅力を広げる」「メーカとしての独自性」「ファンとの繋がり」といった多くの可能性ある取り組みとして、栽培を継続している。

(2) ホップ栽培上の工夫（経営発展の経過、機械化、省力化、高品質化、安全面の取組）など

現在まだまだ試行錯誤の段階ではあるが、「宮崎県総合農業試験場薬草・地域作物センター」と連携するとともに「ホップ生産者協議会」を設立。弊社、委託農家、センターと共に栽培方法の研究・情報共有などを行っており、土壌分析、地域に合わせた栽培スケジュール・方法等、年々経験を蓄積させ栽培方法の改善を行うと共に、栽培棚（自社製作）のカスタマイズや効率化等にも取り組んでいる。

経営上の工夫としては独自の「ホップオーナー制度」を立上げ、ホップ株のオーナーを全国から募り、ホップの生産量に左右されず一定の収入確保が見込める取り組みを行っている。

(3) 棚等の栽培施設、集出荷施設、加工施設等の整備状況

建築資材の単管を使用して棚づくりを実施。

収穫期には、誘因紐を切断し蔓を自社工場に持ち込み手摘みにて収穫。

自社製麦で使用している乾燥機にて温度コントロールを施しながら乾燥している。

地元鉄工所にて製作していただいた粉砕機にてホップを粉砕し、真空パック処理している。

(4) ホップを活用した「地域おこし」の取組など

収穫したホップを使った「フレッシュホップエール」を年に一度販売。さらに全国でも珍しい「ホップオーナー制度」を立上げ、地域のみならず全国に向け「ホップ株オーナー」を募集（R5 約230名）。

オーナー様とのSNSを使った交流や、収穫体験などのリアルイベントを通じて弊社だけでなく「宮崎」と全国のオーナー様が繋がり、またそれぞれのオーナー様が「宮崎産ホップ」を発信することで、「ビール醸造を通じて地域を盛り上げる」弊社の取り組みの一角となっている。

【5 今後の栽培の意向、方針】

(1) 栽培を増やす方針・予定・計画がある

(方針・計画・予定の内容（目標、面積、時期、方法等）

R6には新しく9アールのホップ圃場を新整備。収量増とリスク分散の取り組みを行っている。

【6 主な課題と対応方向】

(1) 栽培面の課題と対応方向

収量増が一番の課題。

前出の「ホップ生産者会議」「県薬草センター」と共に栽培方法のブラッシュアップを行っている。

また栽培を行うにあたり人的負担が大きく、栽培の効率化は課題。

(2) 加工、利用、出荷、販売面の課題と対応方向

収穫～摘み取り～乾燥粉砕～パッキングまで人力で行っており、人的負担が大きい。販売に関しては全量自社にて使用するため問題は無し。

(3) その他の課題と対応方向

別紙2 調査票（現地状況調査）

令和5年産地域特産作物に関する調査－現地状況調査票

【ご協力をお願い】

- 1)本調査は、農林水産省の事業の下で、(公財)日本特産農産物協会による「地域特産作物に関する調査」の一環として実施しているものです。お忙しい中、恐縮ですが、調査票への記入のご協力をお願いします。

- 2)記載内容について、後日、(公財)日本特産農産物協会または調査結果の整理を依頼した外部事業者から、電話やメール等で確認・問合せ等をさせていただくこともありますので、ご協力をお願いします。
- 3)貴生産組織・産地等における取組みを紹介したパンフレットや紹介記事等がございましたら、あわせてご提供ください。(参考情報のウェブサイトの URL 等でも結構です。)
- 4)調査結果は、公表可能な部分を日本特産農産物協会のホームページで公開させていただきます。記載内容の一部、公開不可の部分がある場合は、公開できない部分がわかるように記載をお願いします。
- 5)記載方法についてご不明な点等があれば、日本特産農産物協会まで直接お問合せ下さい。
電話 03-6689-9428 担当:寺田、吉川
- 6)提出期限及び提出先 貴県ご担当者あてに期限までにご提出下さい。

記載内容の公開について該当する□に✓を入れて下さい

 可

 不可

法人経営の場合

名称		
所在地		〒
代表者名		
ホームページアドレス		
※公開可能な場合でも公表しません。	「」担当者名	お 名 前
		役 職
		電 話 番 号
		メールアドレス

個人経営の場合 ※公開可能でも所在地・お名前は公表しません。

所在地	〒
お名前	
電話番号	
メールアドレス	

【1 栽培面積(令和5年現在)】

(1)栽培面積・収穫面積・収穫量(該当する項目に✓をいれてください)

栽培面積		<input type="checkbox"/> 反
		<input type="checkbox"/> a
		<input type="checkbox"/> m ²
収穫面積		<input type="checkbox"/> 反
		<input type="checkbox"/> a
		<input type="checkbox"/> m ²
収穫量		<input type="checkbox"/> kg
		<input type="checkbox"/> t

【2 用途及び出荷先】

該当する口に✓を入れて下さい。複数が該当する場合、複数にチェック・記載して下さい。

用途	出荷先		
<input type="checkbox"/> ビール	<input type="checkbox"/> キリン・アサヒ・サントリー・サッポロ・オリオンビール会社	<input type="checkbox"/> その他のビール会社	<input type="checkbox"/> 自ら利用
<input type="checkbox"/> 香料・化粧品	<input type="checkbox"/> 化粧品会社等		<input type="checkbox"/> 自ら利用
<input type="checkbox"/> その他 (具体的に)			

薬用作物及び和紙原料等に関する資料

印刷・発行 令和7年3月

発行者 公益財団法人日本特産農産物協会

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二丁目15番1号
フジタ人形町ビル7階

電話 03-6689-9428

FAX 03-3663-7525

URL <http://www.jsapa.or.jp>

